夕刊
滿洲日報
七月二十七日
發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社

東支鐵の赤系現業員が一齊に同盟辭職決行
八月一日赤色デーを期して
支那側探知し警戒中

【ハルビン特電二十七日發】モスコー政府の命によると傳へらる、東支鐵道全線に渉る赤系現業員の同盟辭職は其後一部に裏切り者が生じたると、支那側の嚴戒とにより一時喰止められた模樣であつたが、二十六日確聞する所によれば該計畫は、嚴重を極むる支那側の取締の裏を潜りハルビンを中心として極秘裏に進行し、八月一日の赤色デーを期して全線一齊に辭職を決行し、列車其他の現業を全く停止すべき具體案が出來た。此計畫は偶然の機會から支那側の探知する所となり、特別區警察及路警署は二十六日一大活動を開始し、リストにより、赤系現業員の家宅を臨檢し、いやしくも武器と名のつく物は空氣銃に至るまで押收し威嚇を加へてゐる、支那警察が彼等を直に檢束せぬのはその結果が直に東支鐵道の現業に支障を來すからである

支那讓歩し、露都で直接交渉を提議
勞農側まだ承認せず

【北平二十六日發電】確實なる消息によれば支那側は獨逸を仲介としてロシアが露支單獨交渉を承認せば、朱紹陽氏を全權代表としてモスコーに派遣すべき旨を通じたが、ロシアはまだ承認の回答を與へて居らぬと、支那が單獨交渉をモスコーにてなすべく指定したのは大なる讓歩であると

東鐵舊態に復歸は不能
孫科氏、天羽書記官に言明す

【北平二十六日發電】天羽書記官は今朝八時半北平ホテルに孫科氏を訪ひ約一時間會談した、天羽書記官は東鐵問題は露支直接交渉にて解決するを最善とし日本の希望するところである、又滿鐵が支那軍隊の輸送を拒否するとの説は全く事實無根なるを述べた、之に對し孫科氏は支那の欲するは只ロシアの支那に對する赤化宣傳を停止せしむるにあるから直接交渉を望むが、ロシアが主張するが如く事件以前の狀態に歸ることは不可能であると思はれると語つた

烏鐵從業員引揚

【ハルビン特電二十六日發】ボクラニチナヤ駐在の烏鐵從業員約六

勞農、外蒙兵を煽動
東鐵西部を脅かす
大部隊庫倫より北行

【ハルビン特電二十六日發】傳ふる所によれば數日前外蒙兵約三千名が庫倫附近に突然姿を現はし北方へ向つて行動を開始したとの噂がある、右は時局に乘じて勞農が右外蒙兵を煽動して東支鐵道西部沿線を脅やかし露支開戰の場合は直に支那側の西部連絡を遮斷せんと計畫してゐるものではないかと觀られ時局柄頗る重大視されてゐる

十名は最初國境を迂廻して浦鹽方面に向ふ豫定であつたが、國境越が困難な爲二十五日夜列車にてハルビンへ引揚げて來た

滿洲里の邦人は廿日間籠城可能
露支人の半數は避難

【ハルビン特電二十六日發】廿六日十八時十五分着列車で滿洲里田中領事夫人ほか二名の婦人が第二回引揚者として着哈したが、同地實情調査を了り同夜歸任した當地警察署白仁警部が二十五日露支衝突の眞相こして語る所によれば同日午前七時頃勞農軍飛行機十數臺が國境の上空に姿を現はすや突然砲聲が殷々として響いたので不安に脅え切つてゐる在住者は兩軍の戰鬪が開始されたので一時は大騷ぎを演じ、少康を得てゐた同地は再び混亂を來したもので、今まで比較的暢氣に構へ込んでゐた支那人も一度砲聲を聞くや顏色を變へて右往左往慌てふためいてゐたが、程なく右勞農飛行機に對する支那側の空砲發射であつたらしいことが判明し且つ梁忠甲警備司令は勞農側が積極行動に出でざる限り決して

戰端を開かないと布告

を發したので市民は稍安堵するに至つた、目下日本領事館内に避難してゐる邦人は全部で百七十名あり今の處約二十日間籠城し得る食糧品があるが漸次引揚しむる方針である、尚同地露支人約一萬三千人の內、各地に引揚たものは其半數に達した、市中は全く火の消えたやうに今や漸く食糧品、飲料水の缺乏を來し同地は死の巷とならんとしつゝあると

張學良氏が張宗昌氏起用説
白系露人利用のため

露支間の雲行險惡となり白系露人の再起を見るに至つたが、張學良氏は是等白露人が張宗昌氏の舊部下なるを利用し此際宗昌を起用せんと企て、十二日程前奉天電報局長にして宗昌氏に緣故の深い某氏を密使として別府に派したが、數日前奉天に歸り何事か學良氏に復命したと傳へられてゐるが學良氏が之によつて宗昌氏と或種の氣脈を通ぜんとせるは疑ひ無き事實であると某消息通は語つた

綏芬方面平靜

【ハルビン特電二十六日發】滿洲里方面の物情騷然たるに反し東部ボクラ國境は其後引續き露支兩軍對峙中なるも平靜であると

齊々哈爾附近警備決定

【ハルビン特電二十六日發】齊々哈爾の萬黑龍江省主席は廿四日軍事會議を開き同地附近警備に關する軍の配置を決定したが、右によれば齊々哈爾省城には一團の兵を配し、又フラルド鐵道には一營の守備兵を派遣し嚴重なる警備を行ふことになつたと

東鐵回收は單なる地方問題
李外交部宣傳員談

【武田特派員ハルビン二十七日發】時局急轉と同時に南京政府から特派された外交部國際宣傳員李仲豪氏は傅家甸中華棧に投宿活動中であるが、往訪の記者に語る

朱紹陽氏は十八日出發の電報を受けたが何日來るか不明である、中央では今回の事件は單なる地方問題と觀てゐる、從つて干戈に訴へるが如きことは考へてゐない、然しロシア側が積極的に出れば應戰を辭するものではない、ロシアは其建國の意義から言つても進んで戰ふ意思はないものと觀られるのみならず、實際今のロシアは極度に疲弊し戰ふべく餘りに實力が足りない、若し攻勢に出て來ても支那は一戰にして擊破する自信は充分ある、今度の責任は總て奉露協定を破つたロシアが負ふべきでヱムシャノフ氏を罷免し范其光氏を任命したのは一見奉露協定を支那側が破つたやうに見へるかも知れないが、非常時の應急處置に過ぎず、若しロシアが協定を遵守し赤化宣傳をなさぬ人物を派遣すれば支那として之を認めるのは勿論である日本の一部に本事件に關しロシア側に同情するが如き所論あるは支那側に非常な惡感を以て見られてゐる

我等の引揚げに支那側は驚いた
尾行程度で監禁はしない
けふ着連の勞農代理大使談

露支關係の形勢が日と共に險惡を傳へられ北平における勞農代理大使スピルバーナー總領事外館員一同が天津に引揚げ長江丸によつて渡日せんとしたが支那官憲の監視嚴しく塘沽よりの乘船を阻まれたので已むなく一同は天津より長平丸に乘船し一應大連近く便船によつて渡日、浦鹽へ向ふ事となつたが、長平丸は廿七日午前九時過ぎ入港、一行はス總領事、副領事スチミツチ氏夫人令息令孃等十名にて、ス領事等は船室深く入つて人目を避けてゐたが、往訪の記者に語つた所を綜合すると

自分達が今回斷然引揚げた事に對しては支那側も大變面食つたやうだつた、從つて自分等は正々堂々と引揚げたもので、領事館は封鎖してこれを獨逸領事に賴んで來た、監禁されたやうに傳へられてゐたが、尾行の程度で大した事はなかつたが、天津より塘沽までの通行を阻止されたは意外であつた、一行は東鐵を經由し早く歸りたいんだが、時局柄まづ一度御國に行つて敦賀から浦鹽に向ふつもりでゐる

今日は一先づ東公園町の領事館に落つく

備一行は着哈と共に自動車を驅つて領事館に向つた

勞農總領事滿洲里を通過

【ハルビン特電二十六日發】廿六日ハルビンを出發した勞農總領事メリニコフ氏、副理事長チルキン同理事イズマイロフ氏らの一行は廿六日二十一時廿五分滿洲里發モスコーへ向つたが同地勞農領事スミロノフ氏を呼び其家族も同列車で出發した

濱口首相の時局諸問題方針
露支斷交居中調停未定
建艦中止と我意思表示
實行豫算緊縮は上出來

【東京二十七日發電】六日間關西旅行の濱口首相は昨夜八時半歸京したが當面の問題につき語る

滿洲里の露支衝突説については公報も情報も當局には來てゐない、米が露支直接交渉を希望してゐるといふが帝國としても然り、然し斷交關係の兩國にそれが出來るかどうか、出來ない場合帝國が居中調停するか否か決つてゐぬ

◇

不戰條約效力發生日に英、米の建艦計畫中止説あるが這は將來の軍縮會議まで模樣を見やうといふのであらう、建艦中止は問題の重點である、之に關し帝國も意志表示するか否か、當局と談合の上決める

◇

實行豫算の緊縮については本年は既に三分の一經過し居り充分の事は困難なるべく先づ八千萬圓以上なら大出來と思ふ、然し來年度豫算の基準となるから愼重にやる、植民地長官の人事は統治上成るべく早くする必要があるが親任官の更迭はさう簡單に行かぬ、關西遊説に當つては施政方針を示し諒解を求めしに大に反響あり、國民も覺醒して來た更に政府を督勵して目的通成のため努める、國民も自發的に緊縮を望む

本年度實行豫算
愈八月一日より實施

【東京二十七日發電】大藏省は本年度實行豫算編成につき各省と復活要求に就いての交渉を終へたので、二十六日より計數整理に着手したが、來る二十九日臨時閣議に井上藏相より各省との折衝經過を報告して同意を求める筈である、而して同豫算は屢報の如く愈八月一日より實行されるに內定してゐる

各省實行豫算削減額

【東京廿七日發電】實行豫算削減額は二千五百七十八萬三千三百圓の處、廿六日陸、海、遞信三省分增加の結果九千百萬圓となり、內三千萬圓は節約、六千萬圓は繰延にして本年度豫算より之を差引けば實行豫算十六億八千二百萬圓となる、各省削減額左の如し(單位千圓)

外務三〇〇△內務一七、〇〇〇△大藏一四、〇〇〇△陸軍一三、〇〇〇△海軍八、〇〇〇△司法六、〇〇〇△文部九、六〇〇△農林六、〇〇〇△商工一、三〇〇△遞信二〇、〇〇〇△拓務六〇〇

三大審議會初會議
來月初旬開催

【東京二十七日發電】政府は三大政策審議會諮問原案を鈴木翰長、川崎法制局長官、各審議會幹事長等をして研究せしめてゐる、而して其第一回會合は今月中に行ふ筈であつたが、實行豫算編成其他の爲め開會し難きにより來月五、六日の地方長官會議終了後開會されることゝなつた

拓省節約額
六十三萬圓決定

【東京廿七日發電】拓務省實行豫算に對して大藏省は九十五萬五千圓を削減し來つたに對し同省は更に復活要求を交渉した結果三十二萬五千圓の復活が承認された、主なるものは(單位千圓)

一、海外企業調査費　六三
一、移民保護奬勵費　一三四
一、神戸移民收容所改築及び貯費　一二八

で同省の削減額は六十三萬圓となつた

臺灣總督
石塚氏に確定

【東京二十七日發電】臺灣總督の後任は樺山氏固辭せるよりお鉢は再度石塚氏に廻り昨夜十一時まで安達內相、松田拓相は首相邸で協議の結果愈々氏に決定、明後二十九日の臨時閣議で正式決定即日奏請官記傳達のはず

支那側が諒解し形勢漸やく好轉
札免公司權益繫爭

支那側は特權回收を標榜して、滿鐵が十數年前ロシア人シエフチェンコより合法的に讓り受けし興安嶺札免公司の森林伐採權を支那側が否認せんとして一時不穩なる形勢を傳へられつゝあつた同公司に關する繫爭問題は其後滿鐵[illegible]哈爾濱事務所長が主として支那側との交渉に當り哈爾濱において數次の商議を續行し、わが權益の合法的基礎を有すること並に北滿における森林伐採事業の正當は發展を期する見地から從來支那側の誤解せる點を指摘して之が諒解を得るに努めたる結果支那側に於ても漸次從來の態度を改めるに至り問題は最近著しく好轉しつゝあるものゝ如く觀測されてゐる

楯の半面
辭める山本滿鐵總裁 (三)

見縊びられる日本人

三井が初めて上海に支店を設けたのは明治十四年と云ふから隨分舊い、日本領事館の設置はそれより更に二年舊く同十二年だつた、山本氏が三井の支店長として初めて上海に赴任した頃の領事は高平小五郎氏であつた。その後豪傑公使と謳はれた山座圓次郎氏なども、上海領事として在任したことがある、何しろ日露戰爭前後ごろの上海と云へば居留日本人の數僅かに五百を超えず、したがつて在留西洋人の眼中殆ど日本人なく、ジャツプの地位を彼等と對等視することなどは、思ひも依らなかつたらしい、それはその筈で肝腎の領事館の如きも、壁は煤け軒は傾くと云つた體の、頗るお粗末な家屋であつたし、殿裏の煖房具の如きも歐米諸國の連中のやうにストウブを使ふ豫算がなく內地同樣に火鉢で我慢すると云ふいぢらしさだつた。

▽——△

だから驕傲な西歐人の間に在つて三井の山本氏のみが一人、傲然と構へて居たとは、假令本人は威張るつもりでなかつたとしても、彼等と對等の交際をして居たと云ふその一事のみを以ても、そのころの日本人として誠に異數だつたのに相違ない。

ところで日本人が如何に見縊びられて居たかと云ふ實例に就て話好きの松岡副總裁は語る

▽——△

「面白い話があるよ、或日僕が倶樂部で紅茶を飲んで居ると一人の毛唐がいやに馴れ〱しく而も頗る叮嚀な態度で話かける、ヘテな不審しなこともあるものだと思つて居ると、その毛唐の言草が癪に觸つた、何でもこの僕に日本人の洋妾を世話して與れと云ふのだ、何しろまだやつと廿四五歳の若い僕だつた、思はず噓つとしたね。其の男が某國の領事館員であるのを幸ひ「女の世話なら貴國の總領事に相談しろツ——」と言つて遣つたら、道にその男も面喰つたと見え、狐鼠々々と逃出してしまつたね、其時分僕が如何に小僧ツ子だつたか知らぬが苟くも一國の官吏と知り乍ら平氣で斯んな事を持ちかける彼等だつたのだ。そこへ行くと山本氏は何と云つても偉かつたものだよ、そのころの慘めな日本人の間にあつて、山本氏のみは斷然と光つて居たからね」

と話は例に依つて山本總裁禮讃に落ちて來る。

生きた銅像と死物の銅像

山本氏の郷里は福井縣であるが各種の織物で名高い福井縣からはまだ高名な人物は餘り多く出て居ない、そこで先年、滿鐵社長に就任して間もなくのこと、山本氏の生れた村を中心に「銅像建設の議」が持ち上つた、所がその話を聞いた山本氏が「眞ツ平々々」と手を振つて曰く「これから大に働かうと云ふ俺に銅像などの必要はない、若し強て銅像が建て度いと云ふならば、生きた銅像を見て與れるがよい、直接俺の家に來て、死物の銅像など俺は大嫌ひだ」

成程あの山本氏の風貌で自ら「生きた銅像」とはよく言つたものだ、蓋し己を知る尤なるものか、その山本氏の風貌についてはまた面白い話がある。

亞米利加印度人ヤマモト

「生きた銅像」の山本氏が曾て在米時代、その風貌の點から亞米利加印度人と間違はれた話――これを汽車中の御本人の口から聽く。

我輩が或日紐育の街を歩いて居ると、甚だ尾籠な話だが急に用便を催して來た、そこでこんな場合誰れもがするやうに、直通り掛りの藥屋に飛び込んだ、そして用便を濟ました上店へ出て、サテ何か一品買はうつもりで考へて居ると、店の主人「お客サン君は何時オクラハマから出て來たのか?」と話かけたものだ。

▽——△

で我輩も初めは妙なこと聞くものだと思つて居たが、ダン〱話合ふ裡に彼が我輩を東洋人と氣づかず、純粹の亞米利加印度人と間違へて居ることを知つた。亞米利加印度人ならば同じ米國人である。黑奴などとは違つて——少數の先住民族だと云ふので、彼等も親みを持つてゐる、成程いやに氣易く話かけたわけだと思つたので、我輩もそこは抜からず「ツイ昨日田舍から出て來たばかりだ、少し買ひ物をし度いと思つてね」と遣ると奴さんスツカリそれを信じて疑はなかつたね、そこで我輩は更めて考へた——

山本氏の話はなほつゞく。

大觀小觀

◇ 臺灣總督の辭表督促、されたのが政府で、したのが川村氏はチヨツト皮肉。

◇ 不戰條約最初の實行者たる名譽?は支那が負ふ。

◇ 王正廷君が然う言つて威張つて居る、ア、然うですか。

◇ 前內閣だつたら今頃は長春邊まで出兵してるだらう、と幣原外交禮美者ども云ふ。

◇ 此の聲、南京事件が再發してもいゝと云ふ氣か。

◇ 地方事業緊縮、勞働者五百萬人失業、コレも現內閣お手柄の一ツゝ賞める勇氣ありや。

◇ 理由は兎に角、それに驚いて土木事業を起す、は緊縮內閣の誇りでなし。

人事

▲小玉與一氏(第三高等學校教官步兵中佐)廿七日アメリカ丸にて來連

木下關東長官
けさ東京到着

關東廳秘書課への入電によれば木下長官は廿七日朝東京に到着した

滿鐵社員會幹事會

滿鐵社員會定例幹事會は廿七日午後三時より社員倶樂部に於いて開會、富永常任幹事提案の「消費節約の目的達成の一手段として日常生活用品の現金買を勵行せんとする件」其他を附議した

日英航海條約
補足條約を公布

【東京二十七日發電】日英通商航海條約補足條約は去る六月七日附を以て英國大使チリー氏から我政府に通告して來た、即ち右條約は英國植民地保護領委任統治地域に適用されることゝなつたもので政府は二十七日官報を以て之を公布する筈、而して同條約適用範圍は香港、ジヤマイカ、マレー諸島、マルタ其他二十數ケ所に擴張されてゐる

川村總督辭表
執奏督促

【東京二十七日發電】川村臺灣總督は二十六日鈴木書記官長に對して提出中の辭表執奏方を督促して濱口首相に其の意を傳へん事を求めた、濱口首相は二十六日夜歸京二十七日後任總督を內奏して辭表を執奏する筈

天氣豫報

廿八日晴れ一時曇り 東西の風
日出四時四十九分 日沒七時十分
滿潮前一時五十五分 午後二時十分
干潮前八時十五分 後八時五十五分

各地の溫度

	十一日	昨日最高
大連	二九、四	三〇、四
旅順	三〇、六	三二、二
營口	二七、二	三〇、八
奉天	三〇、四	三二、三
長春	二六、七	三二、一

失業者救濟のため地方土木を起す

緊縮政策から失業者五百萬人 安達内相の應急策

【東京二十七日發電】財界不況と緊縮政策のため全國的に多數の失業者を出しさなきだに深刻化しつゝある失業問題をますく惡化せしめん傾向あり、殊に土木事業千六百萬圓の節減、之に伴ふ地方事業緊縮は勞働者五百萬人を失職せしむることゝなり、社會的大問題なるより安達内相は應急策として地方の事情に應じ救濟的土木事業を起す外なしとし各地方に必要事業の範圍金額等の調査を命じた

けさ東京に激震襲來す 宮内省で宮家御見舞

【東京廿七日發電】今朝午前七時五十分東京地方に激震あり、宮内省よりは直に直通電話を以て青山東御所をはじめ各宮家に御被害無きやを確めたる處、御異狀なきこと判明し、宮内省からは宮家に御見舞奉伺中である

教專軍再び勝つ 對廣島高師陸上競技

【廣島特電二十七日發】此程東京理文科大學(舊高師)と戰つて大勝した滿洲教育專門學校陸上部選手一行は更に廿六日廣島高師と同校グラウンドにおいて華々しく對抗競技を行ひ白熱戰を演じた結果五十七對四十でまたも教專軍の大勝に歸した、教專軍は本年から初めての内地遠征に必勝を期しての意氣物凄く、その必死的奮闘には流石の强敵兩高師軍の努力も及ばず遂に教專軍に名を成さしめたことは滿洲における競技界に歷史的名を殘した譯である

東京大連線 豪雨で不通

東京大連線は廿六日午後一時より廣島附近に於て豪雨の爲斷線不通となつたが同地方通過電信電話線は殆ど全部不通の爲代用の途無く南滿洲から東京方面に發着する電報は午後七時三十分同線恢復迄臨時に佐世保大連及長崎大連兩海底線を經由せしめたので電報は幾分遲延を免れなかつたと

簡閲點呼始まる けふ常盤小學校で

訪日佛機 漢口到着

【漢口廿五日發電】訪日佛飛行機ブレゲー機はリニョー少佐、アラシャートル大尉の操縱で二十四日南京から漢口に到着した、同機は二十七日漢口發北平に向ひ滿洲經由東京に向ふはずであると

夏家河子行 臨時列車 あすの日曜日

暑さが本調子となるにつれ海へ海へと海濱を慕つて繰出す人の昨今日一日と激增するに鑑み滿鐵々道部ではそれら海水浴客の交通便宜を圖る爲め夏家河子行列車を普通列車の間に左の如く配給運轉しゐるがこれは何れも三等臨時列車で天候不良の際は運轉せぬ事になつてゐる

大連發	沙河口發
七時二十分	同 二十九分
八時二十五分	同 三十五分
九時〇五分	同九時十五分
九時五十分	同九時五十九分
十二時	同 九分
夏家河子發	大連着
十四時十三分	同 四十分
十五時三十分	同 十六時五分
十六時十五分	同 五十分
十六時四十五分	同 十七時二十分

尚大連及沙河口よりの割引往復賃金は大人二等一回券六十錢同十回券六圓三等一回券三十錢同十回券三圓である

白河遡江の船舶廻航 近く大連入港

市内駿河町五番地昭利盛はさきに吳軍港よりライター七隻、曳船四隻を購入し白河航用に使ふ事となり去る十日吳を出帆、ライター曳船を黄海の波浪と戰ひ乍ら仁川まで廻航したが、更に廿五日仁川を出發大連に向つた由で兩三日中に入港の豫定であると、尚入港のあかつきにライターにマスト、ウインチ等を造作して修理終了後は再び天津まで廻航させる筈である

水先案内規則

水先案内人に對する關東廳規則は八月一日より愈實施されるがその處理案につき廿九日海務局にて滿鐵、水先案内人等集まつて打合せをなすと

涼しい遊び 眞砂浦の甜瓜取 星ケ浦老虎灘から海上輸送 あす滿日浴場の催し

青々と澄んだ海の上に眞夏の日がきらくと輝く、眞ツ黒に焦げた裸體美を誇る海の子たちが喜々として群集ふ波の上、滿潮の午前十時を期して二十八日の日曜の傅家庄眞砂浦海岸で「まくわ瓜」取り競技を開始することゝなつた、白綠、或は青綠色の甜瓜が七百個餘りぽかりくと波間に浮いて、海の子等が自由に取るに任せる、歡聲隨所に湧いて拍手盛に起るであらう、尚星ケ浦及び老虎灘方面から傅家庄に行く人のために二十五馬力の發動汽船を準備し一人金二十錢で運搬することになつてゐる、また傅家庄海岸に於てハエ繩或は曳網の注文に應ずることゝなつたが、その料金は低廉を旨としてゐる

日本婦人相手に風紀をみだす不良外人

上流家庭の婦女子もまじる 大連署で近く痛棒

大連にも最近はいかにも港街らしく多數の外國人が入り込んでゐるが、カバレーのダンサーは別としても相當紳士として素養もあり交際もある者の中に織に善良なる風俗を紊しつゝある者あるので大連署では密かに内偵の眼を光らしてゐる

彼等の相手となる多くの婦人は日本婦人で中には貴婦人あり、淑女あり、女給あり常にダンスホールやカフエーを根據とし紅い灯に群集ふ夏虫の如く近代的惱みと虛榮と慾求とから蒐まつて來るモダンワイフやモダンガールに接近しそのスマートな容姿やコケツトな言葉で巧に彼女等の空虛な心を魅了し惡魔のごとくその毒牙を弄するのである、某教授夫人と混血兒の浮名、某會社重役夫人と某外人との戀は世間周知の事實で、この外にも某家令孃と外人、某女給と某外人……等々目下の酷暑にも增して灼熱的であり爛れた腐肉の情痴は當人等の名譽のみならず純眞な公序良俗を紊す虞あるので嚴重取締らうと云ふのである

第二勝戰に入り興味加はる けふの大商對安中戰 滿洲豫選大會第二日

全國中等學校優勝野球大會出場の滿洲豫選野球大會も愈油が乘切つて來た、大會第三日大連商業對安東中學の戰ひは一つは歷史の力に永の榮を保持する古豪、一つは新進の意氣潑剌たる精鋭で、安東軍が第一日に示した鐵桶の守備を奈邊迄に大連軍が打破るであらうか勝敗の決は全く其處に存するのである、安東の守備さへ破れが來なかつたならば戰ひは面白い白熱戰を演ずるであらう共に明日の決勝戰を控えた大切な前哨戰は大連商業軍は第一投手因藤を休めて第二投手で喰ひ止めんとするのではあるまいか、何れにしても明日の優勝戰を目前に控えた今日の戰ひこそ兩軍のベンチが最も苦心を拂ふ戰ひである

大相撲一行 今夕乘込 初日取組

常の花、大の里一行の日本大相撲滿鮮巡業隊一行は今二十七日旅順を打揚後直に同地發列車にて今夕七時五十五分着大連に乘込み夫々市内定めの旅館に分宿するが明二十八日を初日に八月一日まで五日間常盤町電園下廣場にて晴天五日間を興行の筈で明初日の取組は左の通り

（綾櫻）藤の里（栃の森）高の花
（石山）大島（諏訪錦）駒錦
（常陸嶽）出羽嶽（玉錦）天龍
（常野）信夫山（若常陸）玉龍
（常陸島）若葉山（常陸岩）新海
（山錦）外ケ濱（武藏山）大の里
（常の花）和歌島

近海航路安全のため燈臺及び標識增設

來年度には實現せしめたいと 關東廳で調査研究

旅順沿岸から大連其他の近海に於ける燈臺、航行標識等に關し大連海運聯合會其他から各種の設備方を關東廳に請願して來たので水谷地方課長は十河屬とこれが調査研究中であるが、老鐵山の霧砲を霧笛信號に改善し、大連、旅順、龍口、ニューチャン(牛莊)の航路に關係ある帽島の燈臺は從來監視人を要しなかつたものを巡視人を設けて點火の方法を講ずること、普蘭店に煤竈及び耐火煉瓦用粘土積込み其他のため入港する船舶の航行安全として標識の建設、貔子窩、安東、長山列島への航路北三山島に燈臺を設置、海洋島に無電の羅針局建設の諸件に關して既に關東廳當局としてはこれが實施に就き十二分の考慮を有し昭和五年度には海洋島の無電信號は別として其他は全部實現せしめる意嚮で豫算は地方費として計上されてゐるものであるから其可能性は充分あり近く地方課で具體的の方法を構づる筈である、普蘭店入港船舶のために設ける標識は同方面の地域的關係から測量が困難で海務局技師の斡旋により何とか研究される模樣で航路標識ブイ及燈臺、其他の新設事業に要する經費は約三、四萬圓を要するであらうと

鮮人酌婦と心中未遂 解雇された氣の弱い店員

小崗子平和街一番地朝鮮料理店美孝方に同家酌婦光子事李今仙(二一)を馴染として泊り込んで居る男の擧動が不審なので屆出に依り小崗子署員が取調べた處男は大分縣生れ市内浪速町三丁目日吉靴店々員石克巳(二九)と稱し本年五月以來前記光子に馴染主人に知られ解雇される事になり無情な主人の仕打に光子と相談の上各自遺書を認め星ケ浦で心中せんと夜になるのを待つて居たもので廿七日再び行方不明となり自殺のおそれあり目下手配中

ニキビ吹出物

水虫、イボ、濕疹、あせぼ、タムシ、トビヒ等が不思議によく療る民間藥が婦人俱樂部八月號に發表これこそ萬人の大福音!ぜひ御覽

レヴユウ臍繰金 高速度間借女の愛慾

沙河口京町三三古賀友市(四二)内縁の妻高橋ルテ(二〇)は本年五月末前記古賀方に間借して居る間に夫婦關係を結び同棲してゐたが、古賀は元來素人相撲でもとる酒癖の惡い男で日々虐待を加へるので逃げ出さうとしたがルテの臍繰に貯めてゐた六十圓の金を取つて返さず是が無ければ離緣しても明日から路頭に迷ふから古賀に返濟方說諭してくれと二十七日沙河口署に願出た

道路に寢た支那人轢殺さる 今曉旅大道路の椿事 旅順歸りのタクシーの爲に

市外臺山屯一番戶梆行商人劉元倉(三二)は二十七日午前一時屋内の暑さを逃れて旅大自動車道路に出で良い氣持で眠つて居た處を折から大連へ歸る市内攝津町一〇四毎日タクシー運轉手渡邊某(二二)の自動車に頭部を轢かれ即死した

事業不振で職工解雇 三菱航空會社

【東京二十七日發】東京市芝區三菱航空株式會社芝浦工場は事業不振を名として二十五日從業員七十名を解雇したので從業員側は直に大會を開き對策を講じ會社側と折衝したが爭議に移る模樣がある

聖德殿の事務所建築決定す

社團法人聖德會は二十六日午後八時より同會事務所に於て役員總會を開き倉井理事以下二十五名出席永年の懸案たる聖德殿事務所建築に關して種々協議したが愈工費二萬圓建坪百二十四坪の社屋を新築する事に決定費用は全部一般の寄附に依ると

育成劍道勝つ

京都武德殿に於ける全國中等學校劍道大會に出場せる育成學校劍道部選手は奮闘の結果第一回戰に奈良郡山中學を四對一、和歌山耐久中學を四對一にて何れも大勝した

戎克舢舨の船體消毒 防疫員を採用

水上署では夏期流行病の傳染時を警戒するため入港船舶の方は主として海務局がその衝にあたつて居るところから、海務局の手の屆き兼る戎克舢舨等の船體消毒等を勵行する事となり廿七日附で新に四名の防疫員を臨時採用した防疫員は主として北大山海西海岸通り一帶の戎克舢舨の防疫に從事する筈で廿七日早朝よりこれが經營方法等に就き松岡部長より一々指示をうけた

……るから近く關係に依り逸達さる事になるものと思はれる

明大辯論部

明大辯論部一行八名は二十七日來連したが、二十八日午後六時から滿鐵社員俱樂部に於て講演會を開く

自動車事故二つ 相變らず人を傷つく

二十六日午前十時二十分ごろ大連向陽臺五四療病院入口路上に於て沙河口元町三九圓太郎タクシー運轉手村芳雄(二二)の操縱する自動車と大山通一六實用タクシー運轉手白石二三夫(二七)の操縱する自動車と衝突し白石の自動車は水道工事中の溝に落ち込んだが幸ひ双方共損害なし

◇同日午後七時四十分ごろには西廣場三河町入口に於て沙河口元町二五第一タクシー運轉手增澤増雄(二二)の運轉する自動車はその直前を橫切らんとした西通り六三無職龍澤政子(二八)に衝突し同女の右足大腿部ほか一ケ所に治療十日間を要する挫傷を負はした

笠井勅選逝去

【東京二十七日發電】貴族院勅選議員笠井信一氏は二十五日逝去した、氏は靜岡に元治元年に生れ岩手、岡山各縣知事、北海道長官等に歷任してゐる

三高見學團

第三高等學校滿蒙見學團一行三十五名は同校教官陸軍步兵中佐小玉與一氏に引率されて廿七日入港あめりか丸にて來連直に市中見學、關東倉庫に宿泊するが旅大戰蹟その他視察の後は沿線を視察、約廿日の豫定であると

相撲中繼放送

大連放送局では電氣遊園下に於て興行される日本大相撲協會の取組を五日間に亘り毎日午後五時から七時三十分頃迄中繼放送する豫定である

露國行郵便物

支那及歐洲宛の郵便物は日本の媒介に依り亞米利加經由送達の事となつたのは既報の通であるがソウエート聯邦宛郵便物は敦賀浦鹽間郵便を利用したき旨支那側から申出あり日本としては異存はないが一應露國に電報照會中との事である

ガソリン引火

二十六日午後八時四十五分ごろ大連春日町四五平和タクシー運轉助手楠原好一(二〇)が同タクシー前路上に於て注油器に「ガソリン」一罐を移し之れを自動車に移さんと兩手で支へ上げた際引火したので急報に接し消防隊驅け付け逸早く消し止めたが、損害一圓七十錢原因は煙草の火らしいと

禺岩燈臺消燈

廿七日早朝入港の福壽丸、公濟丸、利生丸船長が語るところによると禺岩燈臺の燈が消えてゐた由で、海務局では直ちに圓島事務所に修理方を命じたと

事務長交代

あめりか丸鈴木事務長は今回陸上勤務となり代つて武昌丸事務長岡田足穗氏が就任廿七日入港と共に夫々挨拶するところあつた

三高生歡迎會

三高學生滿鮮視察團一行四十名は廿七日入港あめりか丸にて來連したが在連の三高出身者發起となり同日午後六時より聚仙樓に於いて一行の歡迎晩餐會を催す筈

山梨縣人會

大連山梨縣人會では目下來連中の山梨縣師範學校生徒一行の歡迎會を廿七日午後六時より市内浪速町浪速ホテルにて開催すると會費三圓當日持參されたいと

佐方家不幸

東拓大連支店長佐方文次郎氏母堂は本月初旬病を得東京本郷森川町自邸で加療中のところ廿五日遂に死去した、葬儀は來る卅日自邸に於て執行されるが悲報に接した佐方氏は廿五日急遽上京した

日曜の催し

▲中等學校選拔野球優勝戰 午後三時半より滿俱球場
▲日本大相撲 第一日目電氣遊園下廣場
▲陽粹會 午前十時より演奏浴衣會ラジウム溫泉にて
▲梅若綠葉會 第十九回謠曲囃子例會を午前九時より西公園町梅若流滿洲支部に於いて
▲遠泳會 滿鐵水泳部にて正午より黑石礁にて

◇……あすから電氣遊園下で晴天五日間の大相撲、今夕から觸れ太鼓が廻る

◇……かたい枕を好み石枕を愛用する鮮人が鐵道線路を枕に寢ながら納涼と洒落れて去る廿三日午後九時四十分大田發列車のため忠淸南道の羅州府附近で申德均(二三)と梁翠述(二七)が轢き殺された【京城】

◇……キラウエヤ火山は二十五日噴火を始め四の噴火口から百五十尺の高さに噴火を始めた【ホノル、二十五日發電】

平安異香（62）

葉多默太郎作　中一彌畫

陷穽（一四）

時が時だけに、その叫び聲はハツと師輔の全身の血を凍らせた。たゞならぬ叫びだつた。胸を咄嗟に擊かれたやうな悲鳴だつた。しかも方角は北の方お蘭の方の湯殿、聲はそのお蘭の方自身の聲らしいので──ハツとなつて師輔は三左衛門と顔を合す。と、

「殿」

と呼びかけておいて三左衛門は馳け出す。師輔も夢中で後を追つた。が、

「五平次、部屋を離れるでないぞ娘を衛つてをれ。幸を、いゝか」

若侍の五平次に、幸の護衛を命ずることは忘れなかつた。

トンくトンく、叩きつけるやうに長廊下を飛んで行つて、それから海殿を走つて西の對の屋のお蘭の方を湯殿──。

そこでは既に侍女や童達が立騒いでゐる。

「御方様は……」

と、いきなり三左衛門が息切の聲で叫ぶ。

「御無事か！御無事か！」

丸高坏に湯呑を載せて小走りに馳しつてゐた侍童、走りながらに目禮をして、

「御方様は昏絶遊ばされて……」

「昏絶──？してお怪我はなかつたか」

「いさゝかも……」

「なかつたと云ふのか──それで一體どうなさつたのだ」

「一向に私存じません。御免を」

そのまゝ廊下を走つて湯殿の化粧の間へはいる侍童。

三左衛門はほつとした。で、師輔の顔を仰ぐやうにして

「御聞きの通りでございます。御安堵遊ばしませ」

さう云つてだんまりしたが。

「うな」

と云つたばかりで、師輔の面は猶晴れない。何か脅えたやうな不安らしい色が膠のやうにしつこくその面に殘つてゐるのだつた。

「とにかく一應御見舞になりますか」

「うむ、さうしよう」

三左衛門が先に立つて化粧の間の前に來る。そして妻戸に手をかけると、中から妻戸が靜かに開いて、

「暫く、暫くお待ち下さいまし」

元老女の筆頭格の相模といふのが顔を出して、師輔にしとやかな會釋をして再び妻戸を閉めた。

その時簾越しにちらと見えたのは白いお蘭の肌を手拭を持つた侍女の手──お蘭の方の體を侍女が拭つてゐる最中らしかつた。

少時廊下に立たされて後、部屋に入れられると、お蘭の方は褥から顔だけ出して眼を開けてゐた。顔はまだ蒼白だつたが、頬にはもう幾分の紅味が返つてゐる。

「氣絶をしたと聞いたが、もうよい按配らしいな」

枕頭に坐つて、童の差出す火桶を抱きこみながら師輔はさう云つて微笑んで見せた。

「えゝ、もういゝのでございますすつかり──びつくりしました。私馬鹿ですね」

お蘭の、目は、一瞥しただけで直その顔の何處かに不釣合な所があると思はせる位に、かなり酷い不揃の目だつた。が、それが決して醜くないばかりか、却つて妖しい色つぽさになつて、この女性を淫獸の化身かと思はせるばかりの魅力となつてゐるのだつた。

師輔は微笑むこの不揃の目に微笑み返しながら訊ねる。

「何綺殺されてもあれ程ではあるまいやうな悲鳴をたてたが、どうしたのだ」

するとお蘭の方、湯氣に濡れた髪を額から撫上げながら、困つたやうに眉をよせて、

「何んでもないのでございます。たゞ變な幻を見て──恰度湯にしたつて、うつくとしてゐたものですから、夢を見たのかも知れませぬ。そのまゝ氣絶してしまつたりして……」

今年竹」清水監督、高田稔・井上正夫主演「アメリカ航路」△阪妻映畫、大佛次郎原作、山口哲平監督、阪東妻三郎主演「からす組」△マキノ映畫、マキノ正博監督、澤村國太郎主演「浪人街（第三話）」平山蘆江原作、中島寶三監督、オールスターキャスト「西南戰爭」△東亞映畫、仁科熊彦監督、雲井龍之介主演「維新鐵街面」△直木三十五原作、後藤岱山監督、嵐寛壽郎主演「明暦風流陣」△帝キネ映畫、土師清二原作、渡邊新太郎監督、市川百々之助主演「傳奇刀葉林」江後監督百々之助主演「血染めの殿中」

映畫界東西

◇松竹キネマでは創立十周年記念事業としてレヴュウ劇團を組織したが新入社の脚線美女優が加入

◇蒲田では小唄を挿入した「陽氣な唄」と「山の凱歌」を製作

◇殺人的な京都の暑さに下加茂で「斬人斬馬劍」を製作中の伊藤月形唐澤の三人が揃つて倒れた

◇スタヂオの女優連が毎日水泳に出掛けるので八瀬のプールや嵐山がファンで大賑はひ

◇高島愛子が月末に來連するといふ話であつたが、どうやら噂だけに終つたらしい

◇マキノのトーキー「屋檣」と獨逸のトーキーが近く大連で封切される豫定である

◇最近歐洲映畫の輸入が次第に增加し四月の如きは米國物の約半數に達してゐる

◇グロリア、スワンソンがトーキーに出演し科白だけでなく獨唱すると、相手役はロバート、アメス

映畫と演藝

初秋日本映畫

お盆も過ぎ今夏に於ける映畫戰は閉ざされた、來るは今秋の映畫戰初秋第一陣の邦畫呼物は何かはファンの興味ある事であるが略左の如きものが出る模樣である

△日活映畫移動派同人合作村田實監督、中野、小杉英、入江主演「摩天樓」（その一社會篇）中村武羅夫原作、阿部豊監督、島南部、夏川、澤その他オールスター・キャスト「蒼白き薔薇」大河内傳次郎の作品は近日發表される△松竹映畫里見弴原作、重宗監督オールスターキャスト「

協和會館映畫「東京行進曲」

大連滿鐵社員倶樂部主催で來る廿九日午後七時半から協和會館に於て目下浪速館に上映好評を博してゐる日活現代劇菊池寛原作、木村千疋男脚色、溝口健二監督のオールスターキャスト「東京行進曲」を上映するが會費は大人四十錢、小人廿錢、會員外七十錢であると

滿洲日報

植民 八月第一理想鄉號

アルゼンチンの眞の姿……渥美春吉 石井忠男
綿作の第一アルゼンチン……八重野松男
▽列傳中伯同胞の事業と人物……尾敬一
▽アマゾン河コビハ市に發展せる邦人
コロノの語る眞のブラジル……在伯 平井裕次
歐伯耕地生活と年限問題……一記者

婦人海外發展煩悶解決（最困難な問題解決の答を相談所長が苦心執筆）

◇拓務省の新使命……拓務次官 小村欣一
◇政治上より見た拓務省新設……代議士 津崎尙武
◇新店拓務省に拓望む……代議士 東郷實
▼ブラジル植民の衞生と健康……在伯 高岡專太郎
▼海外移住組合の植民地と渡航……本誌記者
▼南米ペルー國植民地理講話……橋本賢康
▼南洋第一の發展地ヒリツピン……一記者
◇新篇植民小說 大植民旗……永見七郎
◆以上の他世界の植民地事情海外趣味讀物滿載
◇本號前金五千名限「南米移住便覽」無代呈
定價五十錢 稅二錢 振替東京三三五一 東京市麴町區下六番町五〇 日本植民通信社

皆樣にキツト御氣に召す
御寫眞……
吉野町の內田へ……
大連市吉野町三丁目
內田寫眞館
電話四五一七番

資本金 壹億圓（全額拂込濟）
積立金 壹億五百五十萬圓
本店 橫濱市
支店出張所（東京、東京丸ノ內出張所、名古屋、大阪、神戶、下ノ關、長崎、青島、濟南、天津、北京、漢口、上海、香港、廣東、牛莊、奉天、開原、長春、哈爾賓、浦鹽（一時閉鎖中）西貢、新嘉坡、蘭貢、カルカツタ、孟買、カラチ、マニラ、スウラバヤ、スマラン、バタビヤ、シドニー、倫敦、里昂、漢堡、アレキサンドリア、布哇、桑港、ロスアンゼルス、シヤートル、紐育、リオデジヤネイロ、ブエノスアイレス）
橫濱正金銀行 大連支店
大連市大山通二番地
電話 代表番號 三一六一番 海關取扱所 四七六二番 宿直專用 六〇一五番

世界第一、良品廉價
振つても落しても止らぬ時計
ハフィス振動不感時計
特徵 振動不感 指示正確 機械堅牢 日章印極厚側
滿洲關東 安東 撫順 營口 長春 旅順 大連
滿洲特約店 大連 營口 近江洋行 大連販賣所 奉天 森洋行 哈爾賓 前田時計店 鐵嶺 天土時計店
平間時計店 櫻井時計店 石原洋行 近江洋行 金泰洋行 奧田時計店

撰 特許登錄商標 都菊
1.800cc（一升）￥3.00

餅は……餅屋へ
煖房衞生工事の御用命は
大連市監部通一〇九番地
㊅ 高石商會
電話三五〇二番へ

珊瑚と紫檀細工
大連市信濃町市場正門前は
國光公司
電話四五六〇番

圖案
表圖○ポスター○菓子及罐詰類のレベル
チラシ廣告ウインドーバツクツ外一般圖案
大連圖案社
大連市岩代町八 西廣場下右橫道
呼出し電 七〇六九

新フオード特價提供

聞いて極樂見て地獄とでも云ふべき現今のタクシー界に多少でも合理的の經營をなさる人士は必ず經濟的のフオード車を御選びになる事は必然の結果であります。
繫商會は此度フオード會社と談合の上或る期間左の如き特別値段を提供致しました之は何時元の値段に復すか知れませんから此の際一日も早く御豫約を願ひます。

フオアドアーセダン（四枚扉）	大連渡	貳千百八拾五圓也
ツードアーセダン（二枚扉）	同	壹千九百七十圓也
フエートン	同	壹千七百圓也
トラツクシヤシー	同	壹千七百八拾圓也

昭和四年七月二十六日

フオード自動車特約販賣店
大連市大山通一五四番地
合資會社 大連モーターセールス商會
電話（七八 六五 九四 六六 六番）

滿洲之社會改題 社會研究 八月號

□唯心か唯物か……山田武吉
□兒童に對する宗教々育……海老川良一
□日本の現在及び將來……松本蒸治
□阿片中毒者救療事業……千賀義彥
□滿洲の庶民金融機關……田原豐
□面目一新せし慈惠病院……菅野一
□創作―乘馬石……山口海旋風
發行所 大連市松山臺ノ五（電話五四二六番）滿洲社會事業研究會

日露丸

健胃・強肺
到る所の藥店にあり
定價 四百五十入 二圓 二百入 一圓 百入 五十五錢 五十入 三十錢
は諸先生御推奬で最早皆樣御存じ
傳染病豫防藥として第一等なる事
最適品なる事
不時の急救藥として
缺ぐからざるものです
それ程本劑は旅行に
旅行と日露丸
本舖 東京 山田責生堂
發賣元 大連 日本賣藥會社

花柳病科、內科、小兒科
光畑醫院
大連市紀伊町電車通
電話七〇六四番

煙草と洋酒！
珍しいものなら
お土產物にふさわしいものなら
ナニワ町とイセ町角
和盛洋行
電話五〇〇〇番

安田經營
海上 火災 保險
滿洲總代理店
國際運輸 保險部
大連市山縣通り 電三一五一
沿線各地ノ御用命ハ最寄店所へ

エレクトラ裝置 ジユラツシア蓄音器

御客樣本位
十ヶ月月賦
（絕對肉聲）第一同金御拂込と同時に現品先渡致します

通鎖申込所
大連 浪速町角 榮商會 電話八三九〇番

モンドロスミシンとビクター蓄音器は
文化的生活に必要なる二重奏
ミシン界の革命兒「モンドロス」は貴家のお裁縫を操作し時間の經減と被服の經濟化を採り「ビクター蓄音器」は古今の名曲を吹奏して慰安の一家團欒の急先鋒となります。
弊店は此の二重奏の最も秀れ品を最も御便利に提供する事に努力して居ります是非弊店を御利用下さいます
ミシンと蓄音器の御用は
大連市常盤橋電車交叉點角
河島ミシン店
電話六六八四番

入院隨意
西田內科醫院
大連市若狹町（越後町角）
西田英雄
電話七五七五番

蜂ブドー酒

たゞ一杯！
毎食前の一杯で保健に充分
近藤利兵衞商店

最新刊

西比利亞から滿蒙へ 鳥居龍藏著 實價三圓六十七錢送料十四錢
娘煙術師 羽柴史郎著 實價一圓五十七錢送料十錢
詩集 煙 古賀政男著 實價一圓五十七錢送料八錢
日本少年の聲 宇垣一成著 實價一圓八十錢送料十二錢
女優情史 石上欣哉著 實價一圓九十八錢送料十錢
外交十年史 エムタツソン著 實價二圓六十錢送料十錢
滿洲の地方色 田口稔著 實價一圓二十錢送料八錢
帝國之前途 大谷光瑞著 實價六十錢送料六錢
善き隣人 村島歸之著 實價一圓五十七錢送料十錢
幕末百話 篠田鑛造著 實價二圓十錢送料十四錢
西洋十夜 シユニツツレル著 實價一圓七十八錢送料六錢
ナポレオン物語 石井蓉年著 實價九十四錢送料八錢
少年理料物語 木村小舟著 實價八十九錢送料八錢
農產製造學 佐藤寬次著 實價一圓五錢送料六錢
新ロビンソン漂流記 齋藤佐次郎著 實價一圓三十六錢送料十四錢

大阪屋號書店

最新刊

批評論 レージネフ著 マルクス主義 實價一圓五十七錢送料六錢
答案 高田德佐著 受驗參考 實價一圓八十九錢送料八錢
ナポレオン秘史 榎本秋村著 實價一圓五十七錢送料八錢
三十種 主婦之友社著 パンの作り方 實價六十三錢送料四錢
判斷論 久保虎賀壽著 エーミル・ラスク 實價二圓七十三錢送料十四錢
天下の人物 古谷不二著 實價二圓六十二錢送料十八錢
議會と革命 マグドナルド著 實價一圓五錢送料六錢
世界經濟年報 ヴアルガ著 實價一圓五錢送料八錢
日本名寶物語 讀賣新聞社著 實價一圓十錢送料十錢
新選西條八十集 西條八十著 實價一圓五十錢送料八錢
東洋教育史 三浦藤作著 實價三圓六十七錢送料十四錢
戀愛の神秘 永島直雄著 實價一圓五十七錢送料四錢
平凡 二葉亭四迷著
新聞と新聞記者 第十 藤原勘治著 實價五十二錢送料四錢
土佐の勤王 藤原徳富一郎著 實價六十三錢送料四錢
神道の批判 一條太一著 實價一圓七十八錢送料六錢

大連市大山通 滿書堂書店

滿洲里方面の勞農軍は愈よ近く攻勢に出るか

廿七日迄に官民全部引揚げ 名實共に斷交の狀態

【滿洲里二十七日發電】ハルビン總領事メリニコフ氏一行は海拉爾、滿洲里兩勞農領事と共に二十六日午後九時滿洲里發歸國の途に就き、又ザバイカル鐵道滿洲里出張員及滿洲里地方ロシア人全部廿七日引揚げ之で露支兩國は名實共に斷交狀態となつたので之を轉機として勞農軍が攻勢に出づるは今明日中とされ人心恟々としてゐる

の形勢では急に哈爾賓に出動しないといはれてゐる

滿洲里は小康狀態 勞農積極行動は風說

【ハルビン特電二十七日發】廿七日滿洲里より引揚げた信ずべき邦人官吏の談によれば同地では廿五日勞農飛行機砲擊以來兩軍とも何等の行動に出でず殊に二十六日は降雨のため支那側では折角の塹壕を放棄して鳴りを鎭め勞農側も亦示威飛行を中止した、市中は尚戒嚴狀態に在るもボツ／＼店舗を開く向もあつて再び小康狀態に復した、尚廿六日十九時廿五分到着したメリニコフ總領事等の搭乘せる列車が國境通過と共に勞農側が積極的行動を起すべしとの噂があつたが當地に何等の報道が無いとすればそれも單なる風說に過ぎなかつたものと見えると、東部國境も何等異變無し

斷交に因る失業者 救濟に苦心する勞農

【ハルビン特電二十七日發】時局に伴ふ東部國境交通杜絕により烏蘇里鐵道の直接蒙る損害は一日五萬圓（貨物三萬二千、旅客其他一萬八千圓）であるが、ロシア側の最も苦痛とする處は寧ろ社會問題として取扱ふべき失職勞働者の措置であつて、信ずべき筋への情報によれば、此等失職者の數は浦鹽エゲリセルド埠頭の人夫のみでも三千人に上り其他全線を合せて五千人を超えるが、國境交通復活の豫測つかぬ今日彼等失業勞働者は沿海州職業同盟及び交通人民委員會に對し直に職を與へよと恐慌談判を開始した由で、彼等は政府が今回支那側より被りたる高壓手段に何等の抗爭を爲す能はざりし結果、良民を苦めるに至つたことを極論して止まないので政府當路者は之が鎭壓に苦心中である

東鐵問題を調査し勞農の態度監視 朱氏急遽哈市へ向ふ

【南京二十七日發電】新任勞蘭公使朱紹陽氏は二十六日夕南京發奉天經由ハルビンへ向つた、其任務はハルビン紛糾の實地調査を行ひ勞農の態度を監視するにあり、右につき王正廷氏は左の如く語つた

朱氏北上の目的は勞農が交渉開始を希望せば直に彼をモスコーに派遣し其任に當らしめる然し勞農が態度を改めなければ海路赴任せしむる筈である

外蒙政府が 多數自動車差押

外蒙政府當局は露支抗爭事件に關し先頃來頻りに策動してゐると傳へられてゐるが、奉天支那當局に達した情報によれば外蒙政府は去る廿一日張家口、庫倫間に使用してゐる自動車八十臺を差押へたとつゝあることは事實である、しかし急に積極行動を起す模樣も見えないが決して油斷が出來ない故に國境防備に關しては萬全の策を講じてゐると、なほ張氏は露軍目下

露人勞働者 動員に不平

【ハルビン二十六日發電】勞農官憲は曩に沿海州にて十六歲以上三十五歲迄の壯丁に動員令を下したが不況の折柄勞働者の反感を買ひ成績豫期に反せるより今回在露領鮮人にて補充すべく一戶一人宛の鮮人を徵募しつゝあり應募者は既に五百に及んだ

支那側が哈市で宣傳戰開始 米記者の歡心を買ふ

【ハルビン二十七日發電】支那側は對內的には輿論統一を圖り對外的には一流の宣傳により其態度の合法的なるを宣傳し列國の同情を買ふべく、其手始めとして張學良氏の秘書沈氏は來哈中の米國有力記者六名を料亭に招待盛宴を張り米國の歡心を買ひ又國民政府外交部派遣宣傳員二名も來哈し邦人方面の意見を聞くと共に宣傳戰を開始した

京津の赤系露人 大連に引揚來る

京津方面の赤系露人廿一名が廿七日入港盛京丸で大連に引揚げて來た、主なる者は東鐵北平代表イヤロフ氏夫妻、アベル氏夫妻、北平大使館員ロック氏夫妻、張家口領事ミハイロフ氏夫妻等で勞農領事館に落ついた（寫眞は大連上陸の一行）

支那軍隊は絕對に射擊せず 勞農軍侵入せぬ限り

【滿洲里二十六日發電】西部國境から歸來せる支那將校の談によれば、勞農軍は演習と稱して發砲したが、支那軍隊は之に應ぜず、之は支那司令官から勞農軍が支那領に侵入發砲せぬ限り絕對に射擊すべからずと嚴命されてゐるためで兩國は絕對に交戰してゐない、勞農軍の發砲により人心動搖せるより軍司令部は布告を出し鎭靜に努めてゐる

陸軍異動 一部決定の分

【東京二十七日發電】八月一日發表陸軍異動決定の分左の如し

任主計總監（各通）　主計監　佐野會輔
醫務局長　軍醫監　合田平
朝鮮軍々醫部長　軍醫監　石川清人
任軍醫總監（各通）
近衛師團軍醫部長　軍醫監　倉林香三
補朝鮮軍々醫部長
經理局長　主計監　中村精一
經理學校長

英露修交 正式發表 駐佛露大使赴英

【ロンドン二十六日發電】英國下院公式發表によると英國政府はパリー駐在勞農大使ドブガンフスキー氏が倫敦を訪問英露國交恢復に關し二十九日外務長官と會見するやう案內電報を受けたと

植民地實行豫算 八月上旬に完了 廿七日査定に着手

【東京二十七日發電】大藏省では更に二十七日午前九時より永田町首相官邸にて特別會計實行豫算の査定に着手し、先づ朝鮮總督府特別會計豫算審議に入つた朝鮮の本年度豫算額は二億四千二百四十萬圓で中新規事業は二千二百餘萬圓であるが、一般會計と同樣新規事業の中未着手のものは全部中止又は繰延べを行ひ既定費も極力繰延べをなす方針である、而して今日引續き植民地各會計鐵道等につき審議を進める筈であるが全部の完了は八月十日頃の模樣である

實行豫算節約額 大藏省の原案發表

【東京二十七日發電】二十九日の臨時閣議に附議し八月一日より施行すべき一般會計本年度實行豫算節約額に關する大藏省原案は二十七日左の如く發表された

昭和四年度實行豫算節約額內譯（單位千圓）

項目	金額
外務省節減額	二八六
繰延額	〇
計	二八六
內務省節減額	三、六五二
繰延額	一三、〇五二
計	一六、七〇四
大藏省節減額	五、〇〇六
繰延額	八、七二二
計	一三、七二八
陸軍省節約額	五、二六三
繰延額	八、一六八
計	一三、四三一
海軍省節約額	一、八六一
繰延額	六、一四六
計	八、〇〇七
司法省節約額	四二三
繰延額	二〇七
計	六三〇
文部省節約額	一、九七二
繰延額	七、七〇一
計	九、六七三
農林省節約額	四、九一三
繰延額	九九九
計	五、九一二
商工省節約額	一、二〇〇
繰延額	一一七
計	一、三一七
遞信省節約額	三、〇四五
繰延額	一七、一〇一
計	二〇、一四六
拓務省節約額	六三〇
繰延額	〇
計	六三〇

御挨拶

謹啓小生等滿洲日報在社中は大方各位の御引立御援助を辱うし大過なく任務を果し得たる段難有御禮申上候今回都合に依り退社歸京する事と相成候に就ては一々拜趨御挨拶申上可きの處行李匆々其意を果し得ず乍失禮紙上を以て右申上度如斯に御座候　敬白

昭和四年七月廿七日

米野豐實　扇谷亮　白井龜雄　繩田養造

辱知各位

山梨總督は未だ辭表を提出せず 廿七日濱口首相訪問

【東京二十七日發電】山梨總督は二十七日午後二時永田町首相官邸に濱口首相を訪問し會談約一時間にして三時十分辭去したが總督は語る

今日は朝鮮に於ける統治の現狀を詳細に亘つて報告した首相には會見の初めに自分から今日は朝鮮統治の狀況を話すと冒頭して報告したのであるからそれ以上の事は何も話題に上らなかつた、從つて自分の進退に關する問題に就ては何も話はなかつた譯である

即ち今日の會見に於ては總督より辭表を提出した模樣はなかつた

松田拓相曰く

【東京二十七日發電】濱口首相は二十七日山梨總督と會見の際總督より辭表を提出するものと見てゐた處、何等之に觸れず單に朝鮮統治の現狀を報告したのみであつたので總督と會見後安達、松田兩相を招き協議するところあつた、右につき松田拓相語る

首相と山梨總督の會見に於ては何等總督の進退問題に觸れなかつた、自分との會見は何時になるか判らぬが總督が此のまゝ朝鮮に歸ることはあるまいと思ふ

石塚臺灣總督 卅日親任式

【東京二十七日發電】臺灣總督後任は石塚英藏氏と決定、二十九日の閣議にて正式決定の上三十日宮中の御都合を伺ひ奏し同日中に左の如く親任式を擧行さるゝ事となつた

任臺灣總督　從三位勳一等　石塚英藏

臺北高女生見學團

臺北高等學校滿蒙見學團一行二十五名は曾根出教官に引率されて二十七日入港の盛京丸にて天津より來滿關東廳倉庫に一泊、朝鮮經由歸國の豫定であると

公共團體補助

財團法人爲仁會に千五百圓、大連市（彌生高女）に四萬二千圓、海務協會に千五百圓補助の件は廿五日附で指令があつた

鞍山の上京委員 製鋼所設置陳情 きのふ拓相を訪問し

【鞍山特電二十七日發】製鋼所設置問題に關し政府要路に陳情のため上京中の鞍山實業協會長加藤政人氏より廿七日午後三時左の如き入電があつた

今朝松田拓相と會見、諒解を得た、後任總裁は片岡直溫氏に決定の由、沿線各地に人を派し極力運動せられたし、滿洲の輿論によりて大なる力あり、宜しく頼む

右により實業協會では廿七日夜經濟研究會議を開き運動の實行方法につき協議した

佛首相辭職 留任勸告に應ぜねば 現外相後繼內閣を組織か

【パリー二十七日發電】ポアンカレー總理辭表提出說につき確めし處によると右は眞實にして昨夜十時內閣會議の結果當分安靜を保ちつゝ留任せんことを勸告したがポ氏は本日中に何分の回答をなさん而して同氏の病氣引退は佛國內政外交に甚大なる面倒を起すものとして一般に憂慮されてゐるが、若しポアンカレー氏引留不可能となれば外相ブリアン氏は出來るだけ多數の急進社會黨員を傘下に集め新內閣組織を企てるであらうと

梅雨空の北滿

『模擬戰』の火蓋を切つた 支那の眞意や如何

廿四日東鐵南部線車中にて

第一信　武田南陽

◇メリニコフ氏が哈爾賓を脱出して來るといふのである、けふ—二十四日朝の長春驛頭は物々しい警戒振、吉長鐵守使李桂林旅長までが未明から多數者特有の青白い顏でプラットホームをあちこちと落ちつかず指圖してゐる、やがて七時一行を乘せた列車が構內に入つて來る、昨日こゝと寛城子との赤の從業員が總へられたり總辭職したりした直後だけに支那側の緊張振は馬鹿々しい程だ、神藏支局長にメ氏ゝ瀋す、氏は入時半で南下大連に向ふといふことで神藏君は公主嶺あたりまで箱乘りをする譯だ、メ氏の乘つた箱は前後の列車をひき放して一輛だけほり出したやうに回避線に置かれ黄色の支那兵が一杯それを取りまいてゐる、金筋の將校巡官などがその列車へ入つたり出たり、何うせクダラぬ同じやうなことを喋つてメ氏から報告の材料をとつてゐるのだらう

◇吉林から來てくれた藤井支局長と神藏君とそして私との三人は東と南と北との三方へ何れも二三十分の差で別れ各任務につくことゝなつた、神藏君は亡命の客を送つて日本の滿鐵列車で、藤井君は勤員の空元氣一杯な支那の吉長線で、そして私は七時四十五分一番の早だちで係爭渦中の東支線に、一寸面白い袂別である。

◇金州生れといふ東省鐵路第六段警察署の巡官文鍾仁なる男が私の寢臺を訪れる、この男公學堂出身で日本語で話しかける、これも赤報告材料とりである、盛に對露問題の辯明をやるが公學堂出の巡官の話では一向話だよりが無いばかりか面倒臭くてたまらない、で、高飛車に「一體戰爭をやるのか」と切り出して呂榮寰氏の聲明について聞いてまくしたてゝやると返事の出來ないむづかしさにアタフタと寛城子驛で逃げてしまふ、こんな連中の情報をあつめて居たのでは後方總司令張作相さんも可成り心もとないものである。」

◇さて、これから乘り込もうとする東支東西兩線の風雲だが、今南部線上を走る列車の上での豫感は何うも「觀紅白模擬戰記」とでも名づけて書きたいやうな煮え切らなさである、只に局面の今までの推移が梅雨空のやうであるばかりでなく、この「模擬戰」の火蓋を切つた支那側の眞意が何處にあるかさへ明瞭でない、支那側は用ふるに他の手もあつたであらうになぜあんなクーデターを斷行したのだらうか、往年北京の大使館襲擊をやつた張國忱教育廳長だつて、向う意氣の強いとで二世常陰槐だと言はれる、呂榮寰氏だつて將又雨亭將軍の兄弟分張景惠氏だつて、あれだけのことをやるために肚を決める何かの基點がなければならなかつた筈だ、即ち氏等哈爾賓在勤の東鐵關係幹部だけの相談で決行するには餘りに事が大きい、そこで東北國防司令長官張學良氏の命令だが、張長官だつて南京政府との現在の關係でこれを專行しやうとは考へられない、そこで到達するのは南京政府即ち蔣介石氏たが結果の今日になることを氏が豫想し得ない筈のないクーデターの斷行を、學良氏に電命しやうとも思はれない、奉天側からの陳情に對して或る種の諒解を與へたものを「武力回收認可」と早合點して北京衞戍司令時代の昔にかへつて張國忱氏が腕を見せたものではないかとさへ考へられる。

◇北戴河から歸つた張學良氏が東北四省幹部會議の席上で「誰が武力回收せよと命じたのだ」と力んだことや、南京政府及び東北幹部の其後の腰が出鼻の強さに比べて餘りに軟化したやうに見えることなどを思ひ合すとどうも實行者と計畫者と命令者（或は諒解者）との間に十分具體的の話が無かつたやうに見られてならない。

◇事件直後呂榮寰督辦が南京政府、中央黨部、各院部署、各省政府、各特別市政府、省市黨部、各師旅長、各機關、各法團、各新聞社宛に發表した通電には本督辦は職責の所在上忍んで忍ぶべき無く支那側に有るべき權利を保護せんがために政府の命令あるを奉じ協定に遵照して執行したと明瞭に政府の命令の有つたことが記してあるが、果して何の程度の命令であつたかはこれを知るに由もない、若し假りに政府の命令が「クーデター斷行」にあつたとしたならばその下命の基點に二樣の觀察が下し得る。

◇すなはち「露西亞の實力を見くびつて弱きものには飽くまでも強くといふ支那一流の國民性から回收を斷行し國民政府統一後の對外威力を國民に示さうとする冒險ではなかつたか」といふのがその一、「易幟しても猶中央とは不即不離の特殊の立場を保持し事實上一敵國を形成する奉天派をして中央服從の實を表示せしめ且其勢力の源泉である財力を浪費せしむべく好箇の問題であるとにらんでの煽動では無かつたか」といふのがその二である

◇總ては時が解決を與へるであらう

松岡副總裁 昨日午後吉林へ

【長春特電二十七日發】松岡滿鐵副總裁、藤根滿鐵理事一行は二十七日十三時十分長春着、官民多數の出迎へを受け、十四時發にて吉林へ向つた、一行は吉林に一泊敦化に赴く豫定

安樂椅子

露支斷交は我日本にとり重大影響があるだけに、在滿邦人間にも色んな觀測や批評があるが、その一つにこんなのがある▲日本野球軍は今露支兩軍の試合を見てゐるが何處までも紳士的であるのは好い▲然し日本軍は敵失を利用して得點するのまでも火事泥と同一視してホームに進んで來ない▲ファンは濱口マネージャー、幣原選手以下大公使總領事等のランナーやバッターの愚拙さを見るに耐へ兼ねて居る▲日本軍は疾くから支那と試合中で鐵道問題、商租問題、通商問題、鮮人問題、排日問題等でフールベースであり又ロシヤとは漁業問題でランナーはサードベースまで進んで居る▲得點するには今が絕好のチャーンスで、若し之が過ぎて攻守チエンヂでもしたら支那は又排日運動を繰返すだらうが▲子供の支那から大人の日本が飜弄されるのがファンは癪にさわつて耐まらぬといふのだ。

神戸特產物（廿七日）

品目	値
大豆現物	七四五
先物	六四五
豆粕現物	二一八
先物	四六七
滿洲小麥	七一〇
豆油現物	二二〇〇

大阪期米

限	後場寄	後場引
七月	二七七三	二七五三
八月	二七九三	二七六四
九月	二七四二	二七一一

神戸期米

限	後場寄	後場引
七月	二八〇〇	二七七二
八月	二七九八	二七七四
九月	二七四六	二七一八

東京期米

限	後場寄	後場引
七月	二八六五	二八六二
八月	二七四六	二七二〇
九月	二七一一	二六八〇

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
八月	二四四七〇	二四五四〇
九月	二三八五〇	二三九三〇
十月	二三九九〇	二三〇三〇
十一月	二三二六〇	二三二七〇
十二月	二一九九〇	二一九七〇
一月	二一七〇〇	二一七〇〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	八〇八〇	八〇七〇
新	六七〇〇	六六六〇
大紡	二四八九〇	二四九九〇
鐘新	一一七四〇	一一七四〇
日糖	六七七〇	六八二〇
郵船	六三二〇	不申
東新	一〇六九〇	一〇六五〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	一一八四〇	一一八四〇
東新	一〇五四〇	一〇五五〇
五品	一一八〇	一一六〇

東京株式（短期）

銘柄	後場寄	後場引
東新中	不申	一一七〇
東新先	一一九〇	一一九〇
豆信中	不申	不申
豆信先	一三七〇	一三六〇
豆新中	不申	不申
豆新先	一三九〇	一三八〇

東新	寄値	引値	高値	安値
前場	一一九〇	不申	一一九〇	一一九〇
後場	一〇五九〇	一〇四九〇	一〇六九〇	一〇四〇〇

（第三種郵便物認可）

滿洲日報

海外への積極的進取政策

日本の現在は經濟的難境に立てるを以て、整理節約の必要がないとは言はないが、曩にも論ぜし如く、程度を越へての緊縮政策は宜しくない。國策上緊要なる事業でも中止又は繰延べるが如きは、事業界を沈衰せしめ不景氣を增大し、失業者の數を增加し、國民生活を不安に導き興國の元氣と進取の意氣を阻喪する事になる。若しそれ國策上最も必要なる海外の事業までも緊縮政策の下に中止又は繰延べるに至らば、資源貧弱にして工業原料に乏しき我國に打擊を與へ、却つて經濟難を增進する事になるだらう。

◇

何故に今日の日本が經濟的に行詰まつた乎といへば、その根本原因は、國土狹小にして生產資源の貧弱なる日本々國民だけでは、到底立つて行けないと云ふところにある。故に現在における日本の經濟的難境を眞に打開せんとするには、新領土、屬領地、租借地、委任統治地又は特殊地域等に向つて先づ我が經濟線を擴大し、是等の地域における生產資源を開發し、食糧及び工業原料を此の方面に求むる事にせねばならぬ。謂ゆる產業立國策は日本々國を中心として是等の地域を經濟的に聯結する事によつて始めて意義あるものと成るのである。日本々國には緊縮政策の必要があるかも知れないが、此の方面の事業には飽くまで積極的進取政策を執るべきであつて、然らざれば謂ふところの財政經濟の立直しも結局は不可能となるであらう。

◇

經濟難の一原因たる輸入超過と正貨流出を防止するには、國民生活殊にブルジョア生活の自墮落より生ずる奢侈品の輸入を防ぐことも一策なるべく、そこに節約的緊縮政策の必要もあらうが、工業原料の多くを他國より輸入してゐる事、それを改めるのが第一の要務である。而して此事は日本々國における經濟資源の貧弱より發生する現象であるから、經濟難に直面せる現在の日本としては、海外への積極的進取政策を確立し、差當り先づ新領土、租借地、委任統治地、特殊地域、屬領地等への經濟的發展に努力し、この方面における拓殖事業を進める事にせねばならぬ。特殊地域たる滿蒙は租借地關東州と相俟つて此上に最も重要なる地位を占むるところで、滿蒙の經濟的開發が日本の生存上殊に重大なる意義を有するは此故である。

◇

滿蒙の經濟的開發は、資源開發を中心とする拓殖事業の振興に待たねばならず、それには又日本の生存又は繁榮に缺くべからざる權益を保持し、進んで土地商租、鐵道敷設その他の權益を活用せねばならぬ。然るにそれが今日に至るも何一つ實現されないのは、支那の反日熱と支那時局の眼まぐるしい變化に基づくとは云ひながら、吾等の常に遺憾とする所であるが、この間に在りて、今回滿洲を去りたる山本滿鐵總裁が滿鐵の事業を中心として積極的に種々の事業を考案し、實現し、又そのプランを樹てた事は、即ち國策上最も緊要なる事業の一端を擧げたものであつて、啻に吾等のみならず、在滿邦人の皆等しく多とする所であらうと思ふ。

◇

或る程度まで消極的緊縮政策の要を認むるとしても、現在における日本の經濟的難境なるものは、人口增加、食糧不足、本國の資源貧弱より生ずる工業原料の缺乏といふ處に胚胎してゐるから、先づ之を打破し改善することが經濟難救治の第一義である。それには海外への積極的進取政策を確立し、資源開發を中心とする滿蒙方面の拓殖事業に對しては、如何なる難關もこれを突破してその實現に努むるといふ旺盛なる氣力を持たねばならぬ。緊縮政策に沒頭して興國の元氣と進取の意氣を阻喪するが如きは、邦家の爲め、吾等の取らざる所である。

各國別々に嚴重な抗議的警告を發す
東部沿線停滯の貨車處置に就き東支鐵道に對して

【哈爾賓】目下問題となつてゐる東支東部沿線に停滯中の特產品積貨車の處置に關しては初め各國領事から東支鐵道當局に對し共同的警告を發する筈であつたが、その後各種の事情を研究した結果各國の特產商の利害が互ひに相異つてゐて一致の行動をとり難いことが解つたので、協議の上各國ともそれぞれ單獨的行動に出で各別に嚴重なる抗議的警告を發することになつたと

滿烏兩鐵道の數量協定は存續
滿鐵に破棄の意志なし

【哈爾賓】滿烏兩鐵道數量協定は本春協定を終つたのみで調節實施の實行に入らんとする矢先今回の時局が勃發し、ポクラ國境が閉鎖され東行貨物の輸送が全然不能に陷つたのみならずその回復期さへ今のところ全く豫想がつかない狀態なので、協定の存續如何につき疑惑をもつてゐるものがあるが、右につき當地滿鐵事務所運輸課では次の如き意見である

滿烏兩鐵道新協定には東南何れか一方の經路が不可抗力のため遮斷され十日以上繼續して貨物の輸送が不可能となつた場合は右十日以上の兩路貨物數量は計算數量に入れないことが規定してあるのみで、事故によつて協約を廢棄するなどのことは別に定めてないから當然協定は存續するものであつて規定により事件發生當日から十日を經過した二十四日以後の輸送數量は兩路とも計算しないのである

浦鹽の支那領事
海路上海へ

【哈爾賓】露國側の態度が强硬のため一時出境を氣遣はれてゐた浦鹽支那領事は二十四日伏木丸で海路上海に向ひ、又莫斯科の支那代表夏維松氏は芬蘭經由出國多分伯林に向ふべしと、尙極東露領のうちハバロフスク及びブラゴエスチエンスク支那領事の消息はいま尙不明である

滿鐵としても數量に入れないが、滿鐵としても今回の事件により協定を破棄する意志も亦理由も持つてゐないのである

密談を遂げたる上吉長へ

【哈爾賓】蘇聯總領事メリニコフ氏と約二時間に亘り東支列車內に於て臨時列車にて午後十二時五十分吉林驛に到着し、張作相氏は中山服を着し頗る身輕の服裝で下車した驛頭には省政府委員等を首め各機關團體の首腦者多數が出迎へた外驛より副司令部間の沿道には例により軍隊警察を堵列せしめて水も洩らさぬ警戒振りであつた、張作相氏は副司令部に落着くや文武大官等の挨拶を受け引續き對露問題に就き秘密會議を行つたが、仄聞する所に依れば張作相氏は奉天に於て張學良氏と協議の結果、今回の對露臨時軍事費として現大洋八百萬元を計上したること及該臨時費負擔辦法は奉天三百萬元、吉林二百萬元、黑龍江百五十萬元東省特別區五十萬元其他南京政府より百萬元の補助を受くることに決定したと報告した由である、因に張作相氏の後方總司令として哈爾賓に出動するのは數日後になるであらうと　司令部　幕僚等は語つてゐた

對露軍事費八百萬元を計上
後方總司令として張作相氏近く赴哈

【吉林】張學良總司令長官赴京後の留守を預かり奉天に滯在中であつた吉林副司令張作相氏は、二十四日朝長長着同地に待ち合せた哈

吉林大洋の維持訓令
省政府から

【吉林】吉林省政府は永衡官銀號の申請に依り管內各縣知事及吉林財政廳宛吉林大洋券維持に關する訓令を發した其大意は

吉林大洋券は本省の本位貨幣にして稅捐の收入及軍政各費支出は悉く本券を以て標準として居る、故に近年來極力之れが維持に努めた結果現下其價格は哈爾賓大洋を超越し頗る人民の信用を得て居る、然るに最近錢莊等にして其取引に當り吉林大洋を市價以下に計算するもの ある爲め信用上に非常な影響を及ぼすに至つた、故に各縣長は同地方商會と協力して斯る奸商の取締りを勵行し若し公平なる市價に依らずして取引を爲し市價を動搖せしむる者は嚴罰に處すべし

歐亞の連絡は絕へては居ない
歐洲向の郵便物は日本經由が便利だ

【哈爾賓】七月十七日滿洲里驛に於ける客車連絡杜絕以來露國々有鐵道は齊々哈爾、カルイムスカヤー、ニコリスク、浦鹽の線に滿洲里經由と同一回數の客車を運轉して居る、而して浦鹽敦賀間の汽船は從來通り運航して居るから歐亞の連絡は事實上斷えては居らぬのである、で支那（滿蒙を含む）から歐羅巴行の郵便物は日本經由浦鹽巡りとすれば、米國經由となすに比し約半分の日數で屆くのである此の方法は最近漸く當市商民の知る處となり、日本經由で差立てる者が激增して來た

勞農露人引揚
滿洲里へ向ふ

【哈爾賓】ポクラニーチナヤから當地へ引揚げて來た東支鐵道從業員をも含む同地勞農國籍露國人の一部百三十七名は、廿四日十八時三十五分發列車で滿洲里へ引揚げた

支那軍の防禦工事
海拉爾にて

【哈爾賓】七月廿三日發海拉爾よりの報によれば同地には本月十六日以來哈爾賓方面より到着の支那兵約二個旅に及び二十一日より附屬地周圍に塹壕の掘鑿を始め尙工事中である、同地東鐵驛では如何なる理由に基くかを示さずして廿一日以來南行乘車券の發賣を禁止したので在住邦人五十九名鮮人五十四名は萬一の場合引揚不能となつたので協議の結果必要の場合は要地二ケ所に立て籠つて東方よりの來援を俟つことゝなつたと

ラヂオ露語講座

大連放送局七月廿九日午後七時半

講師大連語學校グロースマン

ЧЕТЫРНАДЦАТЫЙ УРОКЪ.

А.—Скажите пожалуйста, будете ли вы свободны въ это воскресеніе.

Б.—Сейчасъ я хорошо не знаю, можетъ быть, буду свободенъ.

А.—Если вы будете свободны въ это воскресеніе, то приходите ко мнѣ.

Б.—Спасибо, если я буду свободенъ въ это воскресеніе, то непремѣнно приду.

А.—Скажите пожалуйста, гдѣ здѣсь находится почтовая контора.

Б.—Почтовая контора находится здѣсь на камбу улицѣ.

А.—Скажите пожалуйста, ншш есть ли въ дайренѣ хорошая гостинница.

Б.—Да, есть.

А.—Скажите пожалуйста, а какъ она называется.

Б.—Она Называется ямато отель.

А.—Скажите пожалуйста, гдѣ она находится.

Б.—Она находится на большой площади.

А.—Скажите пожалуйста, это далеко отсюда.

Б.—Нѣтъ, не очень.

第拾四課

А.—何ウゾ言ツテ下サイ、貴方ハ今度ノ日曜日ニ　オ暇ガ　アリマスカ？

Б.—只今　ヨクワカリマセン　多分　暇デセウ。

А.—若シモ　今度ノ日曜日　オ暇デシタラ　私方ヘオ出掛ケ下サイ。

Б.—有難ウ、若シモ私今度ノ日曜日　暇デシタラ　屹度參リマス。

А.—何ウゾ言ツテ下サイ、此處ハ　何處ニ郵便局ガ　アリマスカ？

Б.—此處ハ　郵便局ハ　監部通ニ　アリマス。

А.—何ウゾ言ツテ下サイ、大連ニ良イ　旅舘ガアリマスカ？

Б.—ハイ、アリマス。

А.—何ウゾ言ツテ下サイ、ソレハ何ト名ヅケラレマスカ？

Б.—ソレハ　ヤマトホテル　ト　呼バレマス。

А.—何ウゾ言ツテ下サイ、ソレハ　何處ニ在リマスカ？

Б.—ソレハ　大廣場ニ在リマス。

А.—何ウゾ言ツテ下サイ、ソレハ　此處カラ遠イデスカ？

Б.—イヽエ、タイシテ（遠クナイ）

國民政府の對外宣言（下）
露國の對支國交斷絕に對し十九日發表したる

ソウエート、ロシアはたゞにこの鐵道機關の人員およびその收入を以て共產主義の宣傳をなせるのみならず支那國內の反革命勢力を援助して支那政府の顚覆を謀れるがこれ協定元來の全部的精神に違反し、國際信義に違反せる非法舉動である。支那政府はソウエート、ロシア政府が鐵道機關およびその領事館を利用し暗殺をはかり內亂を煽動し、破壞軍組織の證據および事實を出したるを以て支那政府が該鐵道に對してなしたる斷然たる處置は內亂防止の正當防衞的行爲である。茲に哈爾賓ロシア領事館に押收せる證據を世界各友邦に公示して眞相是非を明かにし、國際交通の破壞、協定精神の違反、および支那覬覦の野心を暴露せしめる。しかし支那は平和的解決に努力することを知るのみで、殊に世界の平和は支那政府及び人民の宿願であるが故に自衞範圍內に於て不戰條約の精神を貫徹すべく全力を以てするであらう。しかし自衞權は確保しなければならぬが故にもしソウエート、ロシアが敢然我が自衞權を侵さば、平和破壞の責任はソウエート、ロシアにあつて支那にはない。支那政府および人民は各友邦政府および人民に支那政府がしばしばソウエート、ロシア側にて支那國內に於ける共產宣傳、內亂煽動の事實を發見せること、および今回發表せるソウエート、ロシア側の陰謀組織東支鐵道課取等の各種文書證據に注意せんことを望む。支那政府は更に聲明する。露支鐵道交通關係は露支兩國の交通たるのみでなくソウエート、ロシア政府は露支鐵道交通を斷絕せる以上當然國際交通破壞の全責任を負ふべきであることを。

義倉の粟
廉價で販賣

【間島】延吉縣政府にては管下各地に於ける貧民を救濟すべく過般吉林省政府よりの救濟穀を配給した外、此の程更に縣義倉の粟を一石につき四千五百吊の廉價で賣り出したので食糧缺乏の貧民は大悅びである

產婆資格の共通法規制定

關東州產婆試驗に合格した者は滿洲に於ては其資格を認められてゐるが日本內地及び朝鮮其他に於ては共通資格を認めないので開業せんとする場合は共通することができない不備があるので、これは產婆に關する共通的法規が施行されてをらない原因だから今回關東廳衞生課に於て資格共通の法規を制定し既に本省に廻付したが、多分通過を以て公布されるに至るであらうと

錢鈔

◎定期後場（單位錢）寄付　高値　安値　大引

期近　九二〇　九二〇　九〇五

出來高　期近　五十七萬

◎現物後場（單位）

寄付　銀對金　九二五　銀對洋　三〇五

二時半　九二〇　三三〇

三時　不申

出來高　銀對金　四千圓　銀對洋　三千圓

商品

後場（出來不申）

安東

激減した―― 安東驛扱の貨物
過去半ヶ年間統計

本年一月から六月まで半ヶ年間に於ける安東驛の業績は左記表の通りで

▲旅客　乘車十一萬六千九百五十四人、降車八萬千八百四十一人計十九萬八千七百九十五人

▲小荷物　發送四萬千百八個（三百十七萬七千斤）到着一萬七千五百五十四個（六十九萬斤）

▲貨物　朝鮮及内地へ九萬八千八百八十二噸、滿洲奥地へ六萬四千八百十五噸（以上發送）内地及び朝鮮より二萬三千四百二十六噸、滿洲奥地より五萬三千五百七十四噸（以上到着）

で之を前年同期に較ぶれば乘客は六百十八人の增、降客は五千九百四十四人の減少荷物は發送で一萬百九十一個の增、到着で百六個の減となりさしたる相違もないが、貨物では鮮米豐作に依り粟の輸出減と關税引上に依る

木材減　豆粕減の爲め内地及朝鮮仕向け四萬一千五百四十噸の激減及び同樣の原因で奥地よりの到着量に於て二萬六千二百三十九噸の大減少を來し、ひとり奥地向け貨物のみは木材の遂行で約一萬四千五百噸方の增加を示したが、一般に同驛に於ける貨物數量は前記の通りで頗る減少してゐる尚之を月別に示せば

	乘客	降客	計
一月	一六、九八八	一一、七〇二	二八、六九〇
二月	一五、八七九	九、三九六	二五、二七五
三月	二〇、六三〇	一四、二一六	三四、八四六
四月	二三、二三二	一四、五七六	三七、八〇八
五月	二三、五五一	一九、七七一	四三、三二二
六月	一八、六七四	二二、一八〇	四〇、八五四

▲發送

	内地朝鮮	奥地
一月	一〇、〇六六	一一、七七一
二月	一三、二八〇	一〇、九三八
三月	一六、六五二	一八、五一八
四月	一七、八五六	一一、一七一
五月	一四、二二五	一六、四九四
六月	二〇、一三三	一六、三五七

▲到着

	内地朝鮮	奥地
一月	一〇、二三四	一三、七六四
二月	五、六五一	一四、七八一
三月	六、二三〇	一六、〇八〇
四月	九、一九六	一八、四九九
五月	八、九六六	一七、三三八
六月	六、七五六	一四、九五四

興行師の 血塗れ騒ぎ
示談で解決

常盤地南地座にて開演中の大津お萬一行太夫元古賀新太郎（五〇）は、本月二十四日午前一時頃開演後同座入口にて招待券に關して森山榮之助及びお茶子と雜談中、言葉の行違ひより傍觀し居たる三番通六丁目四番地興行師米田石太郎（五七）に突然小刀にて斬り掛り、同人の左肩弓部に長さ約一寸深さ約六分位の傷を負はせ其の儘逃走した、被害者は早速成田病院にて應急手當を施したが全癒迄に二週間位の見込である、當局に於ては興行師森山榮之助及び關係者一同に古賀の捜査を命じたが、森山は同じ興行師同志の事であるから示談にしたいと申立により解決し目下關係者一同協議中

新義州海運界
夏枯時期に入る

新義州港の海運界も愈夏枯閑散期に入り積荷の著しき減少に伴つて出入の船舶も少くなつてきたが、本月に入つてよりは入港汽船は大阪商船二隻朝鮮郵船六隻（目下二隻碇泊中）である積荷も平均二三百噸で五六月の殷盛期に比しその半にも達しない船腹過剩の狀態である、入荷品は雜貨類、出荷品は穀類就中大豆の積出が多い、本月は大豆の積出は相當活況を豫想されたが新内閣緊縮方針の影響と言はれる穀類の暴落を演じ、爲めに相場の日和見加減で手控筋が多いので内地仕向を著しく減少せしめたといふ、今後海運界も八月一杯は閑散狀態を持續し九月頃からは多少の活況を見るべしと豫想されてゐる

征途に上る
新義州商業選手

大朝主催全國中等學校野球朝鮮豫選に出場する新義州商業野球選手一行十一名は江副教諭並に酒井コーチャーに引率され同校職員、同窓會員及同校生徒の見送りを受け優勝の榮を得んと勇ましく二十五日九時三分發列車で征途に上つた

出前持盗まる
自轉車ランプを

原籍平安北道龍川郡外上面松花洞住所不定無職玄利斗（二三）は四番通六丁目三番地西川病院前に置きゐたる自轉車ランプを二十四日午後九時頃窃取共謀者に手渡し共に逃走せんとするを、密行中の巡査に取押へられた右は五番通り七丁目二番地スズラン食堂使用人崔殿臣が西川病院に出前を持ち行き同病院前に自轉車を立掛けて居たのであると

日本を差置き米佛が 調停は出來ぬ
露支問題に關して
植原代議士安東で語る

【安義】露支問題に關する政友會視察員前外務參與官代議士植原悦次郎氏は二十四日朝過安ハルビンへ急行したが車中往訪の記者に對し左の如く語る

露支兩國の關係は依然ゴタゴタしてゐるが將來に及ぼす影響について考へてゐる者は少ないやうだ、支那が條約を無視し赤化宣傳を口實として

東鐵の　回收を企てたことに對する勞農の武力對抗が効を奏するか否かは別問題として日本の利害得失はかなり重大だと思ふ、さりとて日本が今どうかうするわけには行くまい、第一此事件の發端の眞相すら判然してゐまいと思ふ、第三國として此事件に利害關係の多いのは何と言つても日本でアメリカなどは殆ど何等の利害關係は持つてゐない筈だ、フランスは東鐵建設に至大の關係があるから假令帝政時代の事であつたとしても發言權ありと信じてゐるだらう、だが此事件の

解決に　對して日本を差置いて米佛が關係するとか調停するなどいふ立場に立つことは出來まい、日本としては單に滿洲に於ける權利利益に影響を及ぼすのみならず極東の和平に甚大なる影響を來すのであるから拱手傍觀は許さぬ處だが、何分事件の眞相も成行も判然しない狀態だから和平解決に斡旋するやうなことは今の場合出來ないと思ふ、只日本の權益の問題のみならず滿洲里、チ、ハルにせよ又はボクラニチナヤに在留邦人がゐるのであるから是等に對しては相當考慮して最善の處置を執るべきであらう

巧な運賃詐欺
惡漢遂に逮捕

原籍山東省登州府蓬萊縣住所不定無職藤運驒（二四）は以前沙河鎭運送店泰東公司の店員なりし事より貨物取引に經驗あるを利用し、毎日事務所に取引人の如く裝ひ出入し荷受證の到着其の他に依つて荷主の名前を知り、荷主に對し着荷の通知をなし店員其の他と貨物事務所に同行運賃を受け取り店員を外に待たせ置き事務所に入り他方面より逃走する方法で數回に亘り運賃詐欺をなし居りしが、本月二十三日支那街の萬興隆より同手段にて三圓八十錢の運賃詐取をなさんとせしを發見され、逮捕されたが餘罪多く目下取調べ中

商議に補助費

安東商工會議所では毎年關東廳より調査費補助を下附されてゐたが本年度も三月提出した下附申請書に對し二十五日二千圓を下附された

不良少年少女

原籍平北宣川郡載山面現在一番通六丁目三韓昌洙（一七）は警察官舍などの使歩きや掃除をして居たが、官舍で度々金錢等が紛失するので韓を取調べたる處、同人は平北義州郡光城面麻田洞現在市場通七丁目一番地金宋鐵（一四）と言ふ女と情交關係を結び彼女の歡心を買ふ爲め窃取せし金錢を以て活動寫眞に連れて行つたり品物を買つてやつた事を自白したので警察では兩人に懇々說諭の上双方の兩親に引渡した

機關區長更迭

安東機關區長中川正氏は今回鐵嶺機關區長を命ぜられ後任として鷄冠山機關區長近藤勘助氏就任の筈

誘拐者を捕ふ

原籍黄海道殷栗郡一道面九陽里八三二李元榮（五〇）は同地牛山里四七居住の韓卿圭の二女昌善（一九）を本月十三日金五十圓を以て買取り、七月十九日來安昌善を酌婦にでも賣飛ばし一儲けせんと大和橋通四丁目金泉旅館に滯在し居りしが、二十三日安東署の刑事が點檢の際曖昧なる點あるを以て懷中所持品を調べたる處韓の戸籍謄本及び昌賣書等を所持し居るを以て本署に同行取調べたるに右の如き營利的誘拐者と判明尚ほ引續き取調中である

パラチブス

熊本縣生れ現在新義州府内驛勸洞三七番地居住の椎葉芳利（二七）は本月十六日に發病入院中二十三日パラチフスと診定され隔離された

嬰兒死體遺棄

安東縣堀割南通六丁目三番地下水溝下に二十五日朝生後七ヶ月位の支那女兒死體が遺棄せられたるを巡警中の中央派出所坂田巡査が發見したが同地では二、三日前にも三番通月見橋下に同樣の事件があつてゐることゝて目下極力犯人の捜査中である

人事

▲國際通運安東支店には今回助役として仁科虎彦氏が着任し柿本氏の案内で二十五日關係方面を歷訪挨拶をなした

▲井關明大教授は二十日來安し廿八日迄商店協會員に對して例年通り講習をなし二十九日離安の筈

▲中山貞雄代議士は二十四日夜過安北行した

▲三井物產出張員首席池上常太郎氏は長春方面に旅行中の處二十三日歸安した

▲池田檢察官一行は二十五日夜發の列車にて歸旅した

國境一閃

支那街では最近排日の文字を認めた扇子を賣出したようだ、成程巧妙には出來てゐる但しもう打倒田中内閣でもあるまい▲日貨排斥だとて支那人の購買力に對して何等積極的の工夫をめぐらさぬような最初から因循な邦商にとつては大した問題ではなさそうだ▲とは言ふもの丶蟲には和源泰の問題もある折柄風潮とは言ひながら喜ぶべき現象でないことは事實▲安樂境の平和を亂すものに對する關係當局の俊敏なる警戒に期待するの情愈切なるものがある▲さあれ治安をこれ事とするかに見える市民に對し一つの刺戟劑となるには尙物足らぬ感がないでもない

吉林

吉林大學の 入學試驗
女子も多い

吉林大學の入學試驗は豫定の通り本科は法政專門學校豫科は吉林第一中學校に於て去る二十一日より引續き行はれてゐるが、其受驗者は豫科三百五十名本科百〇四名にして就中女子の受驗生は豫科三十二名本科六名であるが、採用數は本科百名豫科二百名であるから受驗者は非常に好都合であると云はれてゐる

松江蕩漾

▲借家する日人曰く家賃は五日に取りに來て呉れ、支那人家主曰く十日でも二十日でも差支なし、斯くして一日の朝から嚴重に取り立てに來る▲間島問題さへ解決すれば吉會鐵道を架けさせる、土地商租問題さへ解決すれば細目協定は追つてする、其の結果は如何なりしや▲對支外交は相手の表より裏を見る方が大切ではあるまいか

日曜ページ

櫓太鼓の音も勇しく 花形揃ひの大相撲
けふから電園下で晴天五日間

恒例の日本大相撲大連興行は協會直營の下に今廿八日より晴天五日間電氣遊園下に於て櫓太鼓の音も勇ましく土俵の上に肉彈相搏ち全市の好角家を熱狂せしめるが今年は花形揃ひとて各方面の總見の景氣も物凄いものがある殊に本社優勝旗爭奪の幕下力士個人決勝は必ず好角家の血を湧かすことであらう

今年の相撲は面白い、武藏山が來る、天龍、和歌島が來る…滿鮮巡業としては常陸、梅以來の好番組である、宮城、西の海の兩横綱を並べた去年は只それだけであつた、朝鮮といふ土地なじみとあの巨軀から未來を囑望されては居たもの、白頭山はまだ故切の相撲の數へ入らない假令看板倒れの觀はあつても今年の巨人出羽ヶ嶽は堂々天下のお關取である。

◇

總帥常の花横綱は得意の釣り出し寄切りは圓熟して未だ〱日の下開山の貫祿を失つてはゐない、江戸ツ子常陸岩と老巧大の里から、得手を同じうする小兵の玉錦、玉碇、健強若葉に美男山錦と玉碇、東西三役のコントラストは本場所にも劣らない

◇

更に新進氣鋭、未來の横綱として天下の好角家が常梅對立時代再來の期待を投げかける東天龍西武藏山がともに入幕後初度の雄姿を見せることは何と言つても好角家には有難いことである、若し假りに出羽にして精進名實伴はしめることが出來たならその時こそ強豪太刀在りし日に比すべき三横綱の土俵入りに滿都の血は沸騰するであらうに

◇

櫓太鼓は朝霧を破つて轟く、酷烈三伏の土俵上に――けふから晴天五日――大相撲の肉彈戰は開始される。

東方

横綱 常の花寛市 出羽の海部屋 出生地備前岡山市上西川町 初土俵明治四十三年一月 體量三十貫餘 身長五尺九寸五分 入幕大正六年五月 得手釣出し寄切り

大關 常陸岩英太郎 出羽の海部屋 年齡三十歲 出生地日本橋蠣殼町 初土俵大正六年五月 入幕大正十二年五月 身長五尺七寸餘 體量三十三貫 得手左差寄切り

關脇 若葉山鐘 二十山部屋 出生地千葉縣攀田村 初土俵大正二年五月 入幕大正九年五月 身長五尺八寸 體量二十八貫五百 得手諸筈の押し

小結 玉碇佐太郎 出羽の海部屋 年齡二十九歲 出生地和歌山縣日方町 初土俵大正九年 入幕昭和三年三月 身長五尺五寸餘 體量二十六貫 得手双筈押切

前頭 新海幸藏 出羽の海部屋 出生地秋田縣新屋町 初土俵大正十年一月 入幕昭和二年五月 體量二十四貫 身長五尺八寸 得手右四つ足クセ

前頭 天龍三郎 出羽の海部屋 出生地靜岡縣濱名郡神久呂村 初土俵大正九年一月 入幕昭和三年五月 體量廿九貫 身長六尺二寸 年齡廿七歲 得手右四つ吊出し

前頭 常陸嶋朝吉 出羽の海部屋 出生地大阪市住吉區遠里小野町 初土俵大正三年五月 入幕大正十一年一月 體量二十六貫 身長五尺七寸五分 得手ヅブネリ足取

前頭 常陸嶽理市 出羽の海部屋 出生地廣島縣深安郡湯田村 初土俵大正六年五月 入幕大正十三年五月 身長五尺八寸 體重二十一貫五百 得手上突張双筈押

前頭 出羽嶽文次郎 出羽の海部屋 年齡二十七歲 出生地山形縣南村山郡中川村 初土俵大正七年五月 入幕大正十四年一月 身長六尺七寸 體量四十七貫 得手右差寄切り

西方

大關 大の里萬助 出羽の海部屋 出生地青森縣津輕郡藤崎 初土俵大正元年一月 入幕大正七年五月 身長五尺四寸 體量二十四貫 得手右四つ寄切り

關脇 玉錦三右衛門 二所關部屋 年齡二十六歲 出生地高知市下新地 初土俵大正九年五月 入幕大正十五年一月 身長五尺七寸五分 體量三十三貫 得手右差寄切

小結 山錦善治郎 出羽の海部屋 出生地大阪市西淀川區浦江町 初土俵大正六年五月 入幕大正十二年一月 身長五尺七寸 體量三十一貫 得手双筈押切

前頭 信夫山秀之助 出羽の海部屋 出生地福島縣伊達郡川俣町 初土俵大正九年五月 體量廿七貫餘 身長五尺八寸 年齡二十八歲 入幕昭和四年一月 得手右差寄切

前頭 和歌島三郎 出羽の海部屋 出生地和歌山縣日高郡丹生村 年齡二十四歲 初土俵大正十二年一月 體量二十八貫 身長五尺九寸 入幕昭和四年一月 得手左四つ上突張

前頭 武藏山武 出羽の海部屋 出生地神奈川縣橘樹郡 年齡廿一歲 初土俵大正十五年 身長六尺一寸五分 體量三十一貫 入幕昭和四年五月 得手右差寄切り

前頭 外ヶ濱彌太郎 出羽の海部屋 出生地青森縣南津輕郡石川町 初土俵大正五年一月 入幕大正十三年五月 身長五尺七寸五分 體量二十四貫五百 得手右四つ寄切り

前頭 若常陸恒吉 出羽の海部屋 出生地島根縣鹿足郡青原村 初土俵大正四年一月 入幕大正十年一月 身長五尺七寸 體量三十三貫 得手右四つ寄切り

東方〔上から〕常の花、常陸岩、若葉山、玉碇、新海、天龍、常陸嶽
西方〔上から〕大の里、玉錦、山錦、信夫山、和歌島、武藏山、外ヶ濱

幕下力士個人決勝の本社優勝旗

夏ワイシャツの 洗濯の仕方
ヴオイル地や麻類

ヴオイル地や麻の夏のワイシャツや洋服、或は絹麻等の洗濯法を記しませう。ヴオイル地のものは無地と色ものとて洗ひ方が違ひます。即ち無地ものを洗ふには良質のマルセール石鹸の冷液又は微温湯に二三十分間浸しておいて餘り揉まない樣にして汚れを振り出してしまいます、ブラシを使用したり、絞つたりする事は禁物、汚れが落ちたなら清水で振り出し、板の上にひろげて自然に水を切ります。色物は冷水三升に硼酸砂末をスープ匙二杯位を入れ、その中でざぶ〱と振つて汚れを拔きます。これも揉んだり擦つたりは禁物です、そしてその儘板の上で乾かします。麻の白地ものは先づ水で洗つて汚れを落し、マルセル石鹸を溶いてその中で煮ます、沸騰したなら鍋に蓋をした儘一時間位蒸して置きます、石鹸洗ひの後蒸洗ひにすると一層効果があります、そこで板の上にのせてブラシで斜に輕く擦ります、そこで充分に水洗ひをし、金ぺに粉の稀薄液に通して干ます、ほしたら霧吹きで一面に濕して掌でよくのばしキチンと疊んで綿ネルの樣な厚布に包み板で押しをして乾ます、絹麻も汚れがよく落ちますからマルセール石鹸液で餘り揉まずにふり出す位にして洗ひます、色物は冷たい液で洗はなければいけません、絞らずに乾かして乾いてから霧を吹いてアイロンで仕上るがよいのです

アイスクリームの保存方法

◇夏の日の來客に最も萬人向きで誰でも美味しく頂けるものはアイスクリームであります、アイスクリームには用ひる材料によつていろんな種類があります。即ちコーヒーを用ひたりチヨコレートを用ひたり、果物を用ひたりされます

◇氷を碎くには碎氷器を用ひて桶の中で碎くのが一番手輕ですが又布に氷を包んで槌で叩いてもよく碎けます、鹽は多い程凍らせる力を増すものですが、多すぎると急に凍つて出來工合が惡くなりますから氷三、鹽一位の割合にします

◇碎きたての氷は角が立つて居り纜を傷ける事がありますから、碎いてから二三分經て角の溶けるのを待つて廻轉しなければなりません。そうしないと器械の生命に影響します

◇次に器械の新しいものは歯ブラシに石鹸をつけてよく洗つてから用ひなければいけません。使用後は罐、蓋、攪拌器を熱湯に浸し、桶をよく乾燥してから納ひます。使用には罐の受臺と廻轉器の齒車とに二、三滴油を差します、多すぎると罐にはいります

◇アイスクリームは澤山のお客の場合には餘分に拵へて保存して置きます、即ち氷の中の水を捨てゝ新に氷と鹽とを補ひ、上から毛布のやうなもので外氣に直接當らないやうに掩ひ、涼しい場所に置けば終日溶けません。

鮑の霜降山葵酢

▲材料――中鮑二個、山葵一本胡瓜二本、酢大匙二杯、鹽少々、醤油茶匙一杯、食鹽茶匙半分、味淋大匙一杯、味の素少々

▲拵へ方――鮑を殻から外し、鹽で揉む樣にして洗ひ、小口から薄くきり小さい笊に入れます、お鍋にお湯を煮立たせその中に鹽を少々入れて火からおろし、前の鮑を笊ごとお鍋の中に入れお箸でかきまはしまして後手早く引き上げ冷水の中に二三分間つけて引き上げます。胡瓜はへたの處を五六分切り棄て俎板の上にをいて鹽をふりかけ手のひらでころがして板摺りにします之を水で洗ひ小口から薄く丸打ちして布巾につゝみ絞りまして五つに分け鮑のそばに付け合はしわさび酢をかけますわさび酢は酢味醂醤油食鹽味の素をまぜ合せたものです

胡瓜のぬた

▲材料（五人前）――胡瓜（中）五本油揚三枚、白味噌三十匁、酢二勺、砂糖大匙一杯、鹽少々、うど一本、味の素少々

▲拵へ方――先づ胡瓜の皮をむき竪二つ切りにして蕊を取り捨て小口より薄くきざみ、薄き鹽水につけてをきます、次に油揚は之を竪二つに切り、小口より極く細かに切り、熱湯に投じさつと茹でゝ笊に取つて水氣をかたくしぼり、前の胡瓜もかたく水氣をしぼつておきます、別に摺鉢の中に味噌を入れ、よく摺りながら砂糖と味の素及酢をまぜ合せ、裏ごしになし程よく和へまして器にとります、千にきつたうどを清水にさらし水氣を切つて此上に少々のせて供します

滿日漫畫
名人と勝負 大森弓麿

新進安東軍の力及ばず凱歌は大商軍にあがる
スコア五對三の接戰を演ず
第三日の滿洲豫選

全國中等學校野球大會滿洲豫選第三日(廿七日)からりと晴れ渡つた空、炎熱は燒くが樣に滿俱球場に照りつけてゐる。連日の猛練習にすつかり眞黒になつてしまつた、大連、安東兩校の選手が夫々得意のフリーバツテイングで輕くコツン〳〵と素晴らしく好いゴロを打つてゐる。安東軍は安東滿俱の選手大連商業は二宮教諭が一々細い注意を與へてゐる。一昨日の一戰によつて新進安東軍にも大分場馴れが現はれて來た。今日の此の快戰を見んものと九十數度の炎熱にもめげず熱心なファン達や兩校關係の人々が早くから續々と球場めがけて繰込んで來る、ファインプレー或は快打のある度毎に敵も味方も惜氣もなく萬雷の樣な拍手をあびせかける兩軍のシートノックの始まる頃大連商業八百の健兒は校旗を先頭に堂々入場一壘側に陣を取る、戰機今は全く熟し殺氣既に場に滿つ。水も漏らさない綺麗なシートノック、打つ、取る、投る、走馬燈の樣にクルクルとボールが廻る、ノックもすんだ宣戰布告だ、時正に三時三十分球審伊藤、壘審竹中兩氏大連軍のベンチに二宮教諭馬場立教大學選手秘術を盡せば安東軍は滿俱吉本選手が得意の采配を振つてゐるプレーボール大連の先攻である

試合經過

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
大連 得點	2	0	1	1	0	1	0	0	0	5
大連 安打	1	0	0	3	0	0	0	0	1	5
大連 敵失	2	1	1	0	1	3	0	0	1	9
安東 得點	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
安東 安打	1	0	1	2	3	1	0	0	0	8
安東 敵失	1	2	0	0	0	0	1	0	0	4

▲第一回　大商白石四球谷口の三邪失に走者二進内藤の犧打に白石三進谷口二進梅本四球に一死滿壘工藤三遊間に安打して二者生還其の返球を遊擊二壘に投じ其の失に梅本三壘工藤二壘に達す伊藤三振原田も三球に三振△安中内村三緩ゴロに出で宮岡四球伊藤の中飛を梅本取らんとして落しランナー一二壘に據り續く中原右前に安打して滿壘然し鹽坂高目の球を振つて三振齋藤の右飛に安中の好機空しく去る　大二(安零)

▲第二回　大商德永三振飯田も三球に三振し一死後白石四球に出で谷口の三邪飛投に二進しダブルスチール成功せしが因藤三飛して安中の危機去る△安中藤本四球に出で二盜半田三振此の時投手二壘に牽制球を高投し走者三壘に走りしが中堅手の好投に刺され吉塚の二飛二壘右翼共トンネルして吉塚三進せしが内村三振して未だ得點せず(兩軍零)

▲第三回　大商梅本の三飛野手高投して二壘を與へ工藤四球に出で再び重盜を試みて成功此の時伊藤スクイズプレーを試みて成功し梅本生還原田打者の時三壘の走者工藤スクイズプレーと誤信して本壘に走り原田は見送りて打たず工藤三壘に刺され原田左飛して大商一點を增す△安中宮岡投飛伊東二飛に二死となり中原遊擊右に好打し梅本良く止めたるも投球低くして安打となりしが鹽坂の三飛に殘壘(大一安零)

▲第四回　大商德永三飛後飯田左翼に快打すれば野手スタートを誤り球は外野塀に達して本壘打となる續く白石亦遊擊に好打せしが野手飛上りて良く之を捕へ滿場拍手、谷口三壘左をゴロに拔き因藤も同じ處に安打して白石一擧三進、此の時因藤二壘を盜みて尚有望なりしが梅本遊飛打し藤本の投飛に封殺△安中齋藤左前安打し藤本を封殺吉塚二遊間をゴロに拔き二死走者一二壘を占めしが内村の二飛は吉塚を封殺す(大一安零)

▲第五回　大商工藤、三直野手逆に好捕し伊藤は中飛、原田の三飛を一壘手落球して生かす原田二盜尚は三盜を試みしが成らず△安中宮岡二飛内野安打に出で伊東も右前に安打中原三飛して走者二三壘に據る時齋藤右翼線近くに三壘打して二走者生還、藤本打者の時捕手逸球して鹽坂も還り三點を返す、藤本三振(大零安三)

▲第六回　大商德永左飛飯田中飛白石の三直野手失し二盜の時捕手の投球は二壘ガラ空のため中堅に達す時走者三進し中堅より三壘への投球を三壘手橫に轉がす間に一擧本壘に入る谷口三振△安中(此の時大商内藤投手となる)半田四球に出で吉塚の三飛に封殺内村再び遊前に内野安打し好機を迎えしが二壘及一壘の走者共に投手牽制球にかゝりて夫々犬死をなす(大一安零)

▲第七回　因藤三飛梅本は遊飛工藤二直して三者凡退す△安中宮岡三振伊東三壘失に出で中原三振の時に二盜せしも鹽坂二飛して空し(兩軍零)

▲第八回　大商伊藤釣球を振りて三振原田遊飛德永三振し内村のスローカーブ奏功す△安中齋藤三飛藤本カーブを見送りて三振し半田は空振して三振す(兩軍零)

▲第九回　兩軍此處を最後と眦を決して立つ、大商鈴木(飯田に代る)の三飛一壘手日光に妨げられて逃し鈴木二進し次いで三盜白石の遊前野手之を好投して鈴木を本壘に刺し白石は二盜を試みて死し二死となる、谷口二飛に倒れ安中實に良く守る△安中代り攻む吉塚惜しくも惡球に手を出して三振内村は捕飛に死して二死宮岡選球良くつとめしが遂に投飛して空しく五對三にて安東善戰の末恨を呑む[illegible]戰五時四十五分

大商	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
2 白石	3	2	0	0	1	0	2	0
4 谷口	5	1	1	0	1	1	0	1
17 因藤	3	0	1	1	1	0	0	0
6 梅本	3	1	0	0	1	0	1	1
71 工藤	3	0	1	0	1	0	1	0
5 伊藤	3	0	0	1	0	2	0	1
9 原田	4	0	0	0	1	1	0	1
8 德永	4	0	0	0	0	2	0	0
3 飯田	3	1	1	0	0	1	0	0
3 鈴木	1	0	1	0	1	0	0	0
計	32	5	5	2	7	7	4	4

安中	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
1 内村	5	0	1	0	0	1	0	0
6 宮岡	4	1	1	0	0	1	1	0
2 伊東	4	1	1	0	1	0	0	1
4 中原	4	0	2	0	0	1	0	1
3 鹽坂	4	1	1	0	0	1	0	2
9 齋藤	4	0	1	0	0	0	0	0
8 藤本	3	0	0	0	1	2	1	0
5 半田	3	0	0	0	0	2	1	5
7 吉塚	4	1	1	0	0	1	0	0
計	35	3	8	0	2	9	3	9

殘壘數　安東八、大連六　本壘打　飯田一　三壘打　鹽坂一　大連商業　六回裏因藤投手となり工藤左翼に退く、八回裏飯田退き鈴木一壘に入る

大連商業の應援團

スタンドから

▲豫想外の白熱戰に滿場の觀衆は醉ひ美技快打の度毎に怒濤の樣な歡聲が揚がる▲此日友木大商校長は發熱四十度近くの病床で選手一同を懇々と訓し、かつ激勵し選手は必勝を期して戰に臨んだ▲一方安中も校長がベンチに控へ何かと心を碎き善鬪を祈つた▲この淚ぐましい情景の中に戰は接戰であつた、そして安東は六回迄に既に八本の安打を放つたが悲しいかな走壘が全然零であつたため敗れた、少く共脚力の養成だけでも重視してほしい▲三壘守備の缺陷は遊擊二壘の好守が之を補つたとしても九個の失は多すぎる▲大商は内村のスローボールを打ちあぐみ僅五個の安打は少し淋しい氣がする、スヰングも一體に大きすぎてゐた樣だし、小平投手に對して餘程の注意を拂はねばならない▲安東は投手が因藤に變つてからは全く牛耳られ、ボールにまで手を出してしまつた▲大商の守備の缺陷は右翼三壘兩方面にあるやうだつた、梅本が中堅飛球を無理に捕へんとして落したのは注意を要す、兎に角安東は味方の走壘は勿論の事相手の走壘を阻止する事も拙かつた、二個のダブルスチールがそれを物語る▲大商側のスタンドに大商全校生徒拍手に味方を聲援すれば(正式の應援は禁止されてゐる)一般觀衆すべてが孤軍奮鬪の安東軍を支持した▲とまれ氣持のよい元氣な安東軍がより一層猛練習し再び大會に臨む日を待つ

安中選手は今夜大連發歸校

豫選大會二勝戰に於て强敵大連商業と善戰五對三で惜敗した安東中學選手は二十八日の優勝戰を觀戰して同夜二十二時發の列車で離連する

滿洲豫選大會決勝戰
青島中學(一壘側)對大連商業(三壘側)
けふ午後三時半より於滿俱球場

審判　安藤忍、中島謙、宮武秀雄三氏

戶外に飛び出す
箱根以東の列車延着　昨日の東京地方激震

【東京二十七日發電】今朝東京地方に襲來の地震は相當激震で折柄ラツシユアワーで電車、バス等は混雜中の事とて市民の狼狽も一入であつた、氣象臺では大時計が止まつた程で市內外の電信電話は宮內省線を除き他は殆ど故障を生じ鐵道は東海道線箱根以東で何れも二、三十分間の延着を見流石に地震には馴れ切つて居る東京市民も恐れをなし一齊に戶外に飛出した程であつた

震源地は神奈川縣下田名村

【橫濱二十七日發電】神奈川縣高座郡田名村字久所地方では二十七日朝地震と共に高さ數十丈に及び砂塵物凄く立ち昇り住民は非常に恐慌し不安に襲はれてゐたが同村より約百米突の上流の相模川中央に幅三尺長さ五十間に亘る地盤が地震と同時に隆起し河水邊に溢つたため同地が震源地と見られてゐる

大震災と同系統
(中央氣象臺發表)

【東京廿七日發電】今朝の東京地方における地震につき中央氣象臺は左の如く發表した
初震午前七時四十八分二十九秒初期微動繼續時間八秒、强震性質急、震動五分十二秒、震幅三微動計感應三十分、震央東京を距る南西四十二粁相模川下流々域に當り去る大正十二年九月一日の大震災と同系統なるも[illegible]を伴ふものではない

名古屋の地震

【名古屋二十七日發電】今朝七時四十八分[illegible]に身體に感ずる程度の地震あり市民を驚かしたが測候所の觀測では最大震幅四粍水平動總震動時三分震源地は名古屋を距る九十三粁の地點で方向は判らぬ

デ盃決勝戰
佛蘭西先づ二勝
コーシエにチルデン敗る

【巴里二十六日發電】佛米デ盃チヤレンジラウンドは本日から當地で擧行二シングルス試合あり佛國コーシエの奮鬪物凄くチルデンは景氣なく敗れボロトラも一ポイントを取られたのみで二シングル試合とも佛國のものとなつた

ボロトラ(佛)　六―一、三―六、六―四、七―五　ロット(米)
コーシエ(佛)　六―三、六―一、六―二　チルデン(米)

大相撲一行乘込み(昨夜大連驛着)

本社優勝旗爭奪の幕下力士決勝戰
けふから大相撲興行

本日より晴天五日間電氣遊園下の廣場に於て相撲協會直營の下に華々しく興行する橫綱常の花以下日本大相撲一行は旅順興行を打ち上げ昨廿七日十九時五十五分大連着列車で來連しそれ〴〵宿屋に分宿したが今回の滿鮮巡業隊は花形力士揃ひで非常な人氣を呼び總見も多く氣を揃つてゐる、本社にては恒例により幕下力士個人決勝戰を行ひ本社優勝旗及びメダルを贈與するが、個人決勝の方法は東西幕下より各十六人づゝを出場せしめ初日より決勝して最後に勝者のみを以て五日間の個人優勝者を選出する番外の眞劍勝負で出場力士の意氣込みも物凄く好角家連の血を沸かしめる肉彈相搏つ白戰が連日演ぜられるので各方面から大いに期待されてゐる、尚本社優勝旗は中央ビル電氣會社のウインドウに陳列してある

アルプス大雷雨
登山者二百名は氣遣る

【松本二十七日發電】北アルプス一帶は二十六日午後一時頃より大雷雨となり登山者は附近の小屋及び岩穴等に避難したが其の凄さは近年稀に見るもので目下登山中の者は二百名に達してゐるので或は遭難者を出しはせぬかと憂慮されてゐる

槍ヶ岳で校長頓死
娘の病氣と大雷雨の爲

【松本二十七日發電】愛知安城高女生等二十五名の一行は廿六日午前十一時槍ヶ岳に向ふ途中燕合戰小屋附近にて一行中の安城農林學校長大森謹平(五三)氏の二女キヨ(一七)は腦貧血で倒れた處一行中なる前記大森氏は娘の急病に心痛したのと折柄の大雷雨に突如心臟病を起し遂に午後三時四十分死去した、尚キヨは手當の結果快癒した

金澤醫大生穗高で遭難

【松本二十七日發電】金澤醫大生玉名莊太郎(二二)は上高地のキヤンプより穗高の屛風岩に行くと稱して出發したまゝ消息不明となり學校當局も驚いて二十七日搜索隊を繰出した

電車、幼兒を轢く
きのふ午後西通りで

二十七日午後六時西廣場停留場と常盤橋停留場との中間に於て常盤橋から大廣場へ向ふ電車と大廣場から常盤橋へ向ふ電車が入れ違ひの際一號系統二〇八寺兒溝行(運轉手劉鴻運)の電車に道路を橫切らんとして五歲位の男の子が轢かれ直に大連病院に擔ぎ込まれた、右は市內岩代町一九成島伊三郎の二男にて後頭部口唇內及び左大腿部に負傷し生命には別狀なきも三ケ月の入院を要すと、原因その他取調中

山崎博士逝く

【東京二十七日發電】山崎直方博士は二十六日午後零時半腎臟病で小石川の自宅にて逝去した享年六十歲

劍道大會に育成校善戰す

大日本武德會主催の京都武德殿における全國中等學校劍道大會に出場した育成校は善戰大いに努めたが遂に准々決勝(六回戰)に於て山口の雄德山中學のために惜敗したが同回までの試合成績次の如し
三回戰對津山商業二對二にて、決戰の結果四回戰對岐阜中學三對二、五回戰對今津中學(滋賀)三對二

けふのラヂオ

昭和四年七月廿八日(日曜日)
自午後〇時三十分　ニュース
自午後三時三十分　ニュース
自午後五時　日本大相撲通信放送
自午後七時三十分
一、ニュース
二、講話　糧食に就て　大日本糧食研究會　紫場秀吉
三、三曲「若菜」尺八牟田師風、三味線宮森大檢校、箏三浦とし子
四、笑殺萬歲　キートン木村近衞
五、鼠山　游園牡丹亭王義吉女士　拾畫牡丹亭王賭嚴弁生、山亭虎　護彈王悅秋先生、琴桃王響記王　守怡女士、黑曹四馨猿王昌齡先生
六、料理獻立
七、天氣豫報

おちーる水

愛慾の窓 (52)

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

金（二二）

退社時刻をやゝ過ぎた頃になつて、小森からの迎への自動車が、日本興信所のビルディングの出入口に來て停つた。

「……何處から來たんだい？ 小森君の家からかい？」と、久彥はその自動車の柔かい褥席に臀をおろしながら、運轉手に訊ねかけた。

「いゝえ、赤坂からです……」運轉手は靜かにハンドルを廻しながら答へた。

「……赤坂といふと？」

「……待合からですよ、楓といふ待合からです」

運轉手は、煩さそうに答へて、折柄曲角の、ぶう／＼とけたゝましく警笛を鳴らした。

久彥は、もうそれ以上何も訊かうとはしなかつた。學生時代から今日まで、カフエーやレストランやダンス、ホールなどへは、彼も足を踏み入れて來たが、ブルジョア趣味の藝妓遊びなどには、ちつとも誘惑を感じなかつたので、會社の宴會か何かを除いては、彼は所謂紅燈綠酒、柳暗花明の巷へ、足を踏み入れたことはなかつた。さういふ方面の遊蕩の出來る柄でゝなかつた。で、赤坂の待合からの迎へだと聞くと、こいつは苦手だなと感じたのである。

――それに如何にも小森らしいやり方ぢやないか、如何にも遊蕩兒らしい彼奴のやり方ではないか！

く、小森英輔は、待合「楓」の奥の一間に陣取つて、天晴れ小森の若旦那然と、今宵はりうとした薩摩上布に、絽の羽織の着流しで、多勢の藝妓たちに取りかこまれてゐるのだつた。

「……憎いことをしたわね、澤正もうあの人の名臺詞も聞かれないのね、冥途へ行かないと。」ほツほと」

「ヘツ！ 澤正がそんなに好きたあ思はなかつたね、一代の名妓榮姐さんが！」

「アラ、名妓はいいわねえ！……」

「……大河內も日活へ戻ることになつたのね」

「えゝ、やつぱり元の鞘でせうか？ 如才はないのね、うちなんかへもわざ／＼日活復歸の挨拶なんか寄越してよ……」

「……わたし、何て云つても、シネマ俳優ぢや、ルデイイが好きだわ！」

「おや、利いた風なことをいふね千代松奴！ 何でえそのルーデ何とかつていふのは！」

「ほゝゝ！ いやなあコウさんねえ！ ルデイイよ！ ヴレンチノよ！……」

「……ヴレンチノか？」

「死んぢやつたわ、あの人も！ わたし、つまんない」

「……ナバロはどう？」

「……さう、ナバロも一寸いゝわね、でもわたしベン、ライオンが好きだわ」

「……おつと、もう止めてくれ！ お前たちはまるで女學生だ」

英輔は、ビールのコップを上げながら、ぺちやくちや囀り交してゐる妓達を制した。傍に侍してゐた小福といふのが、ビールの壜を取つて、英輔のコップを滿たした。

「……だつて千代松さんと君香さんと二人が揃つたら、大抵の映畫通はまゐるわよ、とても二人ともキ印なんですから、その方にかけちやあ……」

「その方でよかつたよ！ いくら逆上たからつて、相手は寫眞だからな、且ツクもおつかない顏はしまいからね、はゝ、ところが小福姐さんなんかと來ると……」

「……まあ！ わたしが何うなの？ いやなコウさん！ もう一度ほざいてみい、そのまゝには捨ておかぬぞオ……」

「よう！ 紀國屋！……」

「……開惚の聲色か！ こいつ背負つてやあがる！ ハ、……」

そこへ女中に案內されて、久彥がはひつて來た。

滿日文藝

滿日俳壇

夏雜題 島田青峯選

○ 大連 阿部 天潮
悉く靈寢人あるベンチかな
旭のさして藻草の青き金魚かな
繪日傘をかざせる人の耳飾り
日燒顏並び立ちたるデッキかな
山鳩の立ちたる岩の清水かな
夕暮の雨にはづせる簾かな

○ 旅順 天江 雨江
遠雷の轟きに漕ぐ渡舟かな
遠雷に驛馬追ひ急ぐ野道かな
道を這ふ毛蟲を避けて通りけり
掃き出す朝の埃や蚤の宿
青梅に屆かぬ牛のありにけり
移り來し隣の庭や落實梅
宵月の海見晴しや夏座敷
磯の香に庭暮れそめぬ夏座敷
山峽の月見ゆるなり夏座敷

○ 哈爾賓 松本紫牛子
鈴蘭や砂埃せる鉢の水
溯江する支那客船や雲の峰
さら／＼と帽子にふれし青葉かな
立札も青葉隱れとなりにけり

○ 大連 高木 春藍
打續く高粱畑や土用晴れ
夕顏の一輪咲きて夕迫る
梅干を門に干し戻り油照り

○ 金州 福田 背月
高粱の青葉搖ぐや海近し
夏祭軒美しき灯かな

○ 哈爾賓 玉川 靜波
支那店や蠅拂ひつゝ商へり
四阿へまためぐり來し浴衣かな

○ 大連 寛 鳴鹿
鯉泛ぶ池の端に咲く菖蒲かな

○ 鞍山 直江 玄幽
凉み臺取り殘されし夜更かな

○ 瓦房店 河野 靜河
なぶられて輕き袂や南風

○ 香川縣 高木 宏影
炎天や氷賣る聲選近に

○ 金州 森花 溪月
ハンモック樹の間にゆれて晝寢かな

○ 大連 日野 支鳥
葉櫻を透いて池面の靜かなる
五月雨や港の街の灯りけり
涼茶屋の葦たけなわや冷し麥
吹きよする夕風涼し月見草
高原の蹄音一夜や月見草
船腹に砂の音聞き夏の月
雨晴れて廊灯るや夏柳

夕刊
滿洲日報
七月二十七日
發行所 大連市東公園町 滿洲日報社

東支鐵の赤系現業員が一齊に同盟辭職決行
八月一日赤色デーを期して
支那側探知し警戒中

【ハルビン特電二十七日發】モスコー政府の命によると傳へらるゝ、東支鐵道全線に渉る赤系現業員の同盟辭職は其後一部に裏切り者が生じたると、支那側の嚴戒とにより一時喰止められた模樣であつたが、二十六日確聞する所によれば該計畫は、嚴重を極むる支那側の取締の裏を潜りハルビンを中心として極秘裏に進行し、八月一日の赤色デーを期して全線一齊に辭職を決行し、列車其他の現業を全く停止すべき具體案が出來た。此計畫は偶然の機會から支那側の探知する所となり、特別區警察及路警署は二十六日一大活動を開始し、リストにより、赤系現業員の家宅を臨檢し、いやしくも武器と名のつく物は空氣銃に至るまで押收し威嚇を加へてゐる、支那警察が彼等を直に檢束せぬのはその結果が直に東支鐵道の現業に支障を來すからである

十名は最初國境を迂廻して浦鹽方面に向ふ豫定であつたが、國境越が困難な爲二十五日夜列車にてハルビンへ引揚げて來た

張學良氏が張宗昌氏起用說
白系露人善用のため

露支間の雲行險惡となり白系露人の再起を見るに至つたが、張學良氏は是等白露人が張宗昌氏の舊部下なるを利用し此際宗昌を起用せんと企て、十二日程前奉天電報局長にして宗昌氏に緣故の深い某氏を密使として別府に派したが、數日前奉天に歸り何事か學良氏に復命したと傳へられてゐるが學良氏が之によつて宗昌氏と或種の氣脈を通ぜんとせるは疑ひ無き事實であると某消息通は語つた

齊々哈爾附近警備決定

【ハルビン特電二十六日發】齊々哈爾の萬黑龍江省主席は廿四日軍事會議を開き同地附近警備に關する軍の配置を決定したが、右によれば齊々哈爾省城には一團の兵を配し、又フラルド鐵道には一營の守備兵を派遣し嚴重なる警備を行ふことになつたと

メ勞農總領事滿洲里を通過

【ハルビン特電二十六日發】廿六日ハルビンを出發した勞農總領事メリニコフ氏、副理事長チルキン同理事イズマイロフ氏らの一行は廿六日二十一時廿五分滿洲里發モスコーへ向つたが同地勞農領事スミロノフ氏を呼び其家族も同列車で出發した

支那讓步し、露都で直接交涉を提議
勞農側まだ承認せず

【北平二十六日發電】確實なる消息によれば支那側は獨逸を仲介としてロシアが露支單獨交渉を承認せば、朱紹陽氏を全權代表としてモスコーに派遣すべき旨を通じたが、ロシアはまだ承認の回答を與へて居らぬと、支那が單獨交渉をモスコーにてなすべく指定したのは大なる讓步であると

東鐵舊態に復歸は不能
孫科氏、天羽書記官に言明す

【北平二十六日發電】天羽書記官は今朝八時半北平ホテルに孫科氏を訪ひ約一時間會談した、天羽書記官は東鐵問題は露支直接交渉にて解決するを最善とし日本の希望するところである、又滿鐵が支那軍隊の輸送を拒否するとの說は全く事實無根なるを述べた、之に對し孫科氏は支那の欲するは只ロシアの支那に對する赤化宣傳を停止せしむるにあるから直接交渉を望むが、ロシアが主張するが如く事件以前の狀態に歸ることは不可能であると思はれると語つた

烏鐵從業員引揚

【ハルビン特電二十六日發】ポクラニチナヤ駐在の烏鐵從業員約六

栖の半面
辭める山本滿鐵總裁（三）

見縊びられる日本人

三井が初めて上海に支店を設けたのは明治十四年と云ふから隨分舊い、日本領事館の設置はそれより更に二年舊く同十二年だつた、山本氏が三井の支店長として初めて上海に赴任した頃の領事は高平小五郎氏であつた。その後豪傑公使と謳はれた山座圓次郎氏なども、上海領事として在任したことがある、何しろ日露戰爭前後ごろの上海と云へば居留日本人の數僅かに五百を超えず、したがつて在留西洋人の眼中殆ど日本人なく、ジヤツプの地位を彼等と對等視することなどは、思ひも依らなかつたらしい、それはその筈で肝腎の領事館の如きも、壁は煤け軒は傾くと云つた體の、頗るお粗末な家屋であつたし、殿樣の煖房具の如きも歐米諸國の連中のやうにストウブを使ふ豫算がなく內地同樣に火鉢で我慢すると云ふいぢらしさだつた。

▽――△

だから驕傲な西歐人の間に在つて三井の山本氏のみが一人、傲然と構へて居たとは、假令本人は威張るつもりでなかつたとしても、彼等と對等の交際をして居たと云ふその一事のみを以ても、そのころの日本人として誠に異數だつたのに相違ない。

ところで日本人が如何に見縊びられて居たかと云ふ實例に就て話好きの松岡副總裁は語る

▽――△

「面白い話があるよ、或日僕が俱樂部で紅茶を飲んで居ると一人の毛唐がいやに馴れ〴〵しく而も頗る叮嚀な態度で話かける、ハテな不審しなこともあるものだと思つて居ると、その毛唐の言草が癪に觸つた、何でもこの僕に日本人の洋妾を世話して吳れと云ふのだ、何しろまだやつと廿四五歲の若い僕だつた、思はずムツとしたね。其の男が某國の領事館員であるのを幸ひ『女の世話なら貴國の總領事に相談しろツ――』と言つて遣つたら、流石にその男も面喰つたと見え、狐鼠々々と逃出してしまつたね、其時分僕が如何に小僧ツ子だつたか知らぬが苟くも一國の官吏と知り乍ら平氣で斯ん麼ことを持ちかける彼等だつたのだ。そこへ行くと山本氏は何と云つても偉かつたものだよ、そのころの慘めな日本人の間にあつて、山本氏のみは斷然と光つて居たからね」

と話は例に依つて山本總裁禮讃に落ちて來る。

生きた銅像と死物の銅像

山本氏の鄕里は福井縣であるが、各種の織物で名高い福井縣からはまだ高名な人物は餘り多く出て居ない、そこで先年、滿鐵社長に就任して間もなくのこと、山本氏の生れた村を中心に「銅像建設の議」が持ち上つた、所がその話を聞いた山本氏が「眞ツ平々々」と手を振つて曰く「これから大に働からうと云ふ俺に銅像などの必要はない若し強て銅像が建て度いと云ふならば、直接俺の家に來て生きた銅像を見て吳れるがよい、死物の銅像など俺は大嫌ひだ」

成程あの山本氏の風貌で自ら「生きた銅像」とはよく言つたものだ、蓋し己を知る尤なるものか、その山本氏の風貌についてはまた面白い話がある。

亞米利加印度人ヤマモト

「生きた銅像」の山本氏が曾て在米時代、その風貌の點から亞米利加印度人と間違はれた話――これを汽車中の御本人の口から聽く。

『我輩が或日紐育の街を歩いて居ると、甚だ尾籠な話だが急に用便を催して來た、そこでこんな場合誰れもがするやうに、直通り掛りの飜屋に飛び込んだ、そして用便を濟まして上店へ出て、サテ何か一品買うつもりで考へて居ると、店の主人「お客サン君は何時オクラハマから出て來たのか?」と話かけたものだ。

▽――△

で我輩も初めは妙なこと聞くものだと思つて居たが、グン〳〵話合ふ裡に彼が我輩を東洋人と氣づかず、純粹の亞米利加印度人と間違へて居ることを知つた。亞米利加印度人ならば同じ米國人である。黑奴などとは違つて――少數の先住民族だと云ふで、彼等も親みを持つてゐる、成程いやに氣易く話かけたわけだと思つたので、我輩もそこは拔からず「ツイ昨日田舍から出て來たばかりだ、少し買ひ物をし度いと思つてね」と遣ると奴さんスツカリそれを信じて疑はなかつたね、そこで我輩は更めて考へた――』

山本氏の話はなほつゞく。

滿洲里の邦人は廿日間籠城可能
露支人の半數は避難

【ハルビン特電二十六日發】廿六日十八時十五分着列車で滿洲里田中領事夫人ほか二名の婦人が第二回引揚者として着哈したが、同地實情調査を了り同夜歸任した當地警察署白仁警部が二十五日露支衝突の**眞相**として語る所によれば同日午前七時頃勞農軍飛行機十數臺が國境の上空に姿を現はすや突然砲聲が殷々として轟いたので不安に脅え切つてゐる在住者は一時兩軍の戰鬪が開始されたので一時は大騷ぎを演じ、少康を得てゐた同地は再び混亂を來したもので、今まで比較的暢氣に構へ込んでゐた支那人も一度砲聲を聞くや顏色を變へて右往左往慌てふためいてゐたが、程なく右勞農飛行機に對する支那側の空砲發射であつたらしいことが判明し且つ梁忠甲警備司令は勞農側が積極行動に出でざる限り決して**戰端を**開かないと布告を發したので市民は稍安堵するに至つた、目下日本領事館内に避難してゐる邦人は全部で百七十名ある此の處約二十日間籠城し得る食糧品があるが漸次引揚しむる方針である、尚同地露支人約一萬三千人の內、各地に引揚たものは其半數に達した、市中は全く火の消えたやうに今や漸く食糧品、飲料水の缺乏を來し同地は死の巷とならんとしつゝあると

綏芬方面平靜

【ハルビン特電二十六日發】滿洲里方面の物情騷然たるに反し東部ポクラ國境は其後引續き露支兩軍對峙中なるも平靜であると

東鐵回收は單なる地方問題
李外交部宣傳員談

【武田特派員ハルビン二十七日發】時局急轉と同時に南京政府から特派された外交部國際宣傳員李仲豪氏は傅家甸中華棧に投宿活動中であるが、往訪の記者に語る

朱紹陽氏は十八日出發の電報を受けたが何日來るか不明である中央では今回の事件は單なる地方問題と觀てゐる、從つて干戈に訴へるが如きことは考へてゐない、然しロシア側が積極的に出れば應戰を辭するものではない、ロシアは其建國の意義から言つても進んで戰ふ意思はないものと觀られるのみならず、實際今のロシアは極度に疲弊し戰ふべく餘りに實力が足りない、若し攻勢に出て來ても支那は一戰にして擊破する自信は充分ある、今度の責任は總て奉露協定を破つたロシアが負ふべきでエムシャノフ氏を罷免し范其光氏を任命したのは一見奉露協定を遵守したやうに見へるかも知れないが、非常時の應急處置に過ぎず、若しロシアが協定を遵守し赤化宣傳をなさぬ人物を派遣すれば支那として之を認めるのは勿論である日本の一部に本事件に關しロシア側に同情するが如き所論あるは支那側に非常な惡感を以て見られてゐる

勞農、外蒙兵を煽動
東鐵西部を脅かす
大部隊庫倫より北行

【ハルビン特電二十六日發】傳ふる所によれば數日前外蒙兵約三千名が庫倫附近に突然姿を現はし北方へ向つて行動を開始したとの噂がある、右は時局に乘じて勞農が右外蒙兵を煽動して東支鐵道西部沿線を脅やかし露支開戰の場合は直に支那側の西部連絡を遮斷せんと計畫してゐるものではないかと觀られ時局柄頗る重大視されてゐる

我等の引揚げに支那側は驚いた
尾行程度で監禁はしない
けふ着連の勞農代理大使談

露支關係の形勢が日と共に險惡を傳へられ北平における勞農代理大使スピルバーナー總領事外館員一同が天津に引揚げ長江丸によつて渡日せんとしたが支那官憲の監視嚴しく塘沽よりの乘船を阻まれたので已むなく一同は天津より長平丸に乘船し一路大連近くへ便船によつて渡日、浦鹽へ向ふ事となつたが、長平丸は廿七日午前九時過ぎ入港、一行はス總領事、副領事スチミツチ氏夫人令息令孃等十名にて、ス領事等は船室深く入つて人目を避けてゐたが、往訪の記者に語つた所を綜合すると

自分達が今回斷然引揚げた事に對しては支那側も大變面食つたやうだつた、從つて自分等は正々堂々と引揚げたもので、領事館は封鎖してこれを獨逸領事に賴んで來た、監禁されたやうに傳へられてゐるが、尾行の程度で大した事はなかつたが、天津より塘沽までの通行は阻止されたは意外であつた、一行は東鐵を經由し早く歸りたいんだが、時局柄まづ一度御國に行つて敦賀から浦鹽に向ふつもりでゐる今日は一先づ東公園町の領事館に落つく

尚一行は着早と共に自動車を驅つて領事館に向つた

濱口首相の時局諸問題方針
露支斷交居中調停未定
建艦中止と我意思表示
實行豫算緊縮は上出來

【東京二十七日發電】六日間關西旅行の濱口首相は昨夜八時半歸京したが當面の問題につき語る

滿洲里の露支衝突說については公報も情報も當局には來てゐない、米が露支直接交渉を希望してゐるといふが帝國としても然り、然し斷交關係の兩國にそれが出來るかどうか、出來ない場合帝國が居中調停するか否か決つてゐぬ

◇

不戰條約效力發生日に英、米の建艦計畫中止說あるが這は將來の軍縮會議まで模樣を見やうといふのであらう、建艦中止は問題の軍縮である、之に關し帝國も意志表示するか否か、當局と談合の上決める

◇

實行豫算の緊縮については本年は既に三分の一經過し居り充分の事は困難なるべく先づ八千萬圓以上なら大出來と思ふ、然し來年度豫算の基準となるから愼重にやる、植民地長官の人事は統治上成るべく早くする必要があるが親任官の更迭はさう簡單に行かぬ、關西遊說に當つては施政方針を示し諒解を求めしに大に反響あり、國民も覺醒して來た更に政府を奮勵して目的達成のため努める、國民も自發的に緊縮を望む

本年度實行豫算
愈八月一日より實施

【東京二十七日發電】大藏省は本年度實行豫算編成につき各省と復活要求に就いての交渉を終へたので、二十六日より計數整理に着手したが、來る二十九日臨時閣議に井上藏相より各省との折衝經過を報告して同意を求める筈である、而して同豫算は既報の如く愈八月一日より實行されるに內定してゐる

各省實行豫算削減額

【東京廿七日發電】實行豫算削減額は二千五百七十八萬三千三百圓の處、廿六日陸、海、遞信三省分增加の結果九千百萬圓となり、內三千萬圓は節約、六千萬圓は繰延にして本年度豫算より之を差引けば實行豫算十六億八千二百萬圓となる、各省削減額左の如し（單位千圓）

外務三〇〇△內務一七、〇〇〇△大藏一四、〇〇〇△陸軍一三、〇〇〇△海軍八、〇〇〇△司法六、〇〇〇△文部九、六〇〇△農林六、〇〇〇△商工一、三〇〇△遞信二〇、〇〇〇△拓務六〇〇

三大審議會初會議
來月初旬開催

【東京二十七日發電】政府は三大政策審議會諮問原案を鈴木翰長、川崎法制局長官、各審議會幹事長等をして研究せしめてゐる、而して其第一回會合は今月中に行ふ筈であつたが、實行豫算編成其他の爲め開會し難きにより來月五、六日の地方長官會議終了後開會されることゝなつた

拓省節約額
六十三萬圓決定

【東京廿七日發電】拓務省實行豫算に對して大藏省は九十五萬五千圓を削減し來つたに對し同省は更に復活要求を交渉した結果三十二萬五千圓の復活が承認された、主なるものは（單位千圓）

一、海外企業調査費　六三
一、移民保護奬勵費　一三四
一、神戸移民收容所改築及び賄費　一二八

で同省の削減額は六十三萬圓となつた

支那側が諒解し形勢漸やく好轉
札免公司權益紛爭

支那側は特權回收を標榜して、滿鐵が十數年前ロシア人シェフチェンコより合法的に讓り受けし興安嶺札免公司の森林伐採權を支那側が否認せんとして一時不穩なる形勢を傳へられつゝあつた同公司に關する紛爭問題は其後築島哈爾賓事務所長が主として支那側との交渉に當り哈爾賓において數次商議を續行し、わが權益の合法的基礎を有すること並に北滿における森林伐採事業の正當な發展を期する見地から從來支那側の誤解せる點を指摘して之が諒解を得るに努めたる結果支那側に於ても漸次從來の態度を改めるに至り問題は最近著しく好轉しつゝあるものゝ如く觀測されてゐる

臺灣總督
石塚氏に確定

【東京二十七日發電】臺灣總督の後任は樺山氏固辭せるよりお鉢は再度石塚氏に廻り昨夜十一時まで安達內相、松田拓相は首相邸で協議の結果愈よ氏に決定、明後二十九日の臨時閣議で正式決定即日發表[illegible]のはず

川村總督辭表執奏督促

【東京二十七日發電】川村臺灣總督に對し鈴木書記官長は二十六日電報を以て提出中の辭表執奏方を督促して濱口首相に其の意を傳へん事を求めた、濱口首相は二十六日夜歸京二十七日後任總督を內奏して辭表を執奏する筈

日英航海條約
補足條約を公布

【東京二十七日發電】日英通商航海條約補足條約は去る六月七日附を以て英國大使チリー氏から我政府に通告して來た、即ち右條約は英國植民地保護領委任統治地域に適用されることゝなつたもので政府は二十七日官報を以て之を公布する筈、而して同條約適用範圍は香港、ジャマイカ、マレー諸島、マルタ其他二十數ケ所に擴張されてゐる

滿鐵社員會幹事會

滿鐵社員會定例幹事會は廿七日午後三時より社員俱樂部に於いて開會、富永常任幹事提案の「消費節約の目的達成の一手段として日常生活用品の現金買を勵行せんとする件」其他を附議した

木下關東長官
けさ東京到着

關東廳秘書課への入電によれば木下長官は廿七日朝東京に到着した

人事

▲小玉與一氏（第三高等學校教官步兵中佐）廿七日アメリカ丸にて來連

大觀小觀

◇臺灣總督の辭表督促、されたのが政府で、したのが川村氏はチョット皮肉。
◇不戰條約最初の實行者たる名譽?は支那が負ふ。
◇王正廷君が然う言つて威張つて居る、ア、然うですか。
◇前內閣だつたら今頃は長春邊まで出兵してるだらう、と幣原外交讃美者ども云ふ。
◇此の醜、南京事件が再發してもいゝと云ふ氣か。
◇地方事業緊縮、勞働者五百萬人失業、コレも現內閣お手柄の一ツと賞める勇氣ありや。
◇理由は兎に角、それに驚いて土木事業を起す、は緊縮內閣の誇りでなし。

天氣豫報

廿八日晴れ一時曇り　東西の風
日出四時四十九分日沒七時十分
滿潮前一時五十五分午後二時十分
干潮前八時十五分後八時五十五分

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二九、四	三〇、四
旅順	三〇、六	三一、二
營口	二七、二	三〇、八
奉天	三〇、四	三二、三
長春	二六、七	三一、一

失業者救濟のため地方土木を起す
緊縮政策から失業者五百萬人
安達内相の應急策

【東京二十七日發電】財界不況と緊縮政策のため全國的に多數の失業者を出しさなきだに深刻化しつゝある失業問題をますく惡化せしめん傾向あり、殊に土木事業千六百萬圓の節減、之に伴ふ地方事業緊縮は勞働者五百萬人を失職せしむることゝなり、社會的大問題なるより安達内相は應急策として地方の事情に應じ救濟的土木事業を起す外なしとし各地方に必要事業の範圍金額等の調査を命じた

東京大連線豪雨で不通

東京大連線は廿六日午後一時より廣島附近に於て豪雨の爲斷線不通となつたが同地方通過電信電話線は殆ど全部不通の爲代用の途無く南滿洲から東京方面に發着する電報は午後七時三十分同線恢復迄臨時に佐世保大連及長崎大連兩海底線を經由せしめたので電報は幾分遲延を免れなかつたと

けさ東京に激震襲來す
宮内省で宮家御見舞

【東京廿七日發電】今朝午前七時五十分東京地方に激震あり、宮内省よりは直に直通電話を以て青山東御所をはじめ各宮家に御被害無きやを確めたる處、御異狀なきこと判明し、宮内省からは宮家に御見舞奉伺中である

教專軍再び勝つ
對廣島高師陸上競技

【廣島特電二十七日發】此程東京理文科大學(舊高師)と戰つて大勝した滿洲教育專門學校陸上部選手一行は更に廿六日廣島高師と同校グラウンドにおいて華々しく對抗競技を行ひ白熱戰を演じた結果五十七對四十でまたも教專軍の大勝に歸した、教專軍は本年から初めての内地遠征に必勝を期しての意氣物凄く、その必死的奮鬪には流石の强敵兩高師軍の努力も及ばず遂に教專軍に名を成さしめたことは滿洲における競技界に歷史的名を殘した譯である

簡閲點呼始まる けふ常盤小學校で

訪日佛機漢口到着

【漢口廿五日發電】訪日佛飛行機ブレゲー機はリニヨー少佐、アラシャール大尉の操縱で二十四日南京から漢口に到着した、同機は二十七日漢口發北平に向ひ滿洲經由東京に向ふはずであると

夏家河子行臨時列車
あすの日曜日

暑さが本調子となるにつれ海へ海へと海濱を慕つて繰出す人の昨今日一日と激增するに鑑み滿鐵々道部ではそれら海水浴客の交通便宜を圖る爲め夏家河子行列車を普通列車の間に左の如く配給運轉しゐるがこれは何れも三等臨時列車で天候不良の際は運轉せぬ事になつてゐる

大連發	沙河口發
七時二十分	同二十九分
八時二十五分	同三十五分
九時〇五分	同九時十五分
九時五十分	同九時五十九分
十二時	同 九分

夏家河子發	大連着
十四時十三分	同 四十分
十五時三十分	十六時五分
十六時十五分	同 五十分
十六時四十五分	十七時二十分

尚大連及沙河口よりの割引往復賃金は大人二等一回券六十錢同十回券六圓三等一回券三十錢同十回券三圓である

白河遡江の船舶廻航
近く大連入港

市内駿河町五番地昭利盛はさきに吳軍港よりライター七隻、曳船四隻を購入し白河航用に使ふ事となり去る十日吳を出帆、ライター曳船を黄海の波浪と戰ひ乍ら仁川まで廻航したが、更に廿五日仁川を出發大連に向つた由で兩三日中に入港の豫定であると、尚入港のあかつきにライターにマスト、ウインチ等を造作して修理終了後は再び天津まで廻航させる筈である

水先案内規則

水先案内人に對する關東廳規則は八月一日より愈實施されるがその處理案につき廿九日海務局にて滿鐵、水先案内人等集まつて打合せをなすと

涼しい遊び 眞砂浦の甜瓜取
星ケ浦老虎灘から海上輸送
あす滿日浴場の催し

青々と澄んだ海の上に眞夏の日がきらくと輝く、眞ツ黒に焦げた裸體美を誇る海の子たちが喜々として群集ふ波の上、滿潮の午前十時を期して二十八日の日曜の傅家庄眞砂浦海岸で「まくわ瓜」取り競技を開始することゝなつた、白綠、或は青綠色の甜瓜が七百個餘りぽかりくと波間に浮いて、海の子等が自由に取るに任せる、歡聲隨所に湧いて拍手盛に起るであらう、尚星ケ浦及び老虎灘方面から傅家庄に行く人のために二十五馬力の發動汽船を準備し一人金二十錢で運搬することになつてゐる、また傅家庄海岸に於てハエ網或は由網の注文に應ずることゝなつたが、その料金は低廉を旨としてゐる

日本婦人相手に風紀をみだす不良外人
上流家庭の婦女子もまじる
大連署で近く痛棒

大連にも最近はいかにも港街らしく多數の外國人が入り込んでゐるが、カバレーのダンサーは別としても相當紳士として素養もあり交際もある者の中に纖に善良なる風俗を紊しつゝある者あるので大連署では密かに内偵の眼を光らしてゐる彼等の相手となる多くの婦人は日本婦人で中には貴婦人あり、淑女あり、女給あり常にダンスホールやカフェーを根據とし紅い灯に群集ふ夏虫の如く近代的惱みと虛榮と慾求とから蒐まつて來るモダンワイフやモダンガールに接近しそのスマートな容姿やコケツトな言葉で巧に彼女等の空虛な心を魅了し惡魔のごとくその毒牙を弄するのである、某會社重役夫人と某外人との戀は世間周知の事實で、この外にも某家令孃と外人、某女給と某外人……等々目下の酷暑にも增して灼熱的であり爛れた腐肉の情痴は當人等の名譽のみならず純眞な公序良俗を紊す處あるので嚴重取締らうと云ふのである

第二勝戰に入り興味加はる
けふの大商對安中戰
滿洲豫選大會第二日

全國中等學校優勝野球大會出場の滿洲豫選野球大會も愈油が乘切つて來た、大會第三日大連商業對安東中學の戰ひは一つは精鋭で、歷史の力に永の榮を保持する古豪、一つは新進の意氣潑剌たる安東軍が第一日に示した鐵壁の守備を奈邊迄に大連軍が打破るであらうか勝敗の決は全く其處に存するのである、安東の守備さへ亂れが來なかつたならば戰ひは面白い白熱戰を演ずるであらう共に明日の決勝戰を控えた大切な前衞戰或は大連商業軍は第一投手因藤を休めて第二投手で喰ひ止めんとするのではあるまいか、何れにしても明日の優勝戰を目前に控えた今日の戰ひこそ兩軍のベンチが最も苦心を拂ふ戰ひである

近海航路安全のため燈臺及び標識增設
來年度には實現せしめたいと
關東廳で調査研究

旅順沿岸から大連其他の近海に於ける燈臺、航行標識等に關し大連海運聯合會其他から各種の設備方を關東廳に請願して來たので水谷地方課長は十河廳とこれが調査研究中であるが、老鐵山の霧砲を霧笛信號に改善し、大連、旅順、龍口、牛莊の航路に關係ある帽島の燈臺は從來監視人を要しなかつたものを巡視人を設けて點火の方法を講ずること、普蘭店に燈臺及び耐火煉瓦用粘土積込み其他のため入港する船舶の航行安全として標識の建設、貔子窩、安東、長山列島への航路北三山島に燈臺を設置、海洋島に無電の羅針局建設の諸件に關して既に關東廳當局としてはこれが實施に就き十二分の考慮を有し昭和五年度には海洋島の無電信號は別として其他は全部實現せしめる意嚮で豫算は地方費として計上されてゐるものであるから其の可能性は充分あり近く地方課では具體的の方法を講ずる筈である普蘭店入港船舶のために設ける標識は同方面の地域的關係から測量が困難で海務局技師の斡旋により何とか研究される模樣で航路標識ブイ及燈臺、其他の新設事業に要する經費は約三、四萬圓を要するであらうと

大相撲一行今夕乘込
初日取組

常の花、大の里一行の日本大相撲滿鮮巡業隊一行は今二十七日旅順を打揚後直に同地發列車にて今夕七時五十五分着大連に乘込み夫々市内定めの旅館に分宿するが明二十八日を初日に八月一日まで五日間常盤町電園下廣場にて晴天五日間を興行の筈で明初日の取組は左の通り

(綾櫻(藤の里(栃の森(高の花
石山(大島(諏訪錦(駒錦
(若陸嶽(出羽嶽(玉碇(天龍
(常盤野(信夫山(若常陸(玉錦
(常陸島(若葉山(常陸岩(新海
山錦(外ケ濱(武藏山(大の里
(常の花
(和歌島

道路に寢た支那人轢殺さる
今曉旅大道路の椿事
旅順歸りのタクシーの爲に

市外臺山屯一番戸楊行商人劉元倉(四三)は二十七日午前一時屋内の暑さを逃れて旅大自動車道路に出で良い氣持で眠つて居た處を折から大連へ歸る市内播津町一〇四毎日タクシー運轉手渡邊某(二三)の自動車に頭部を轢かれ即死した

鮮人酌婦と心中未遂
解雇された氣の弱い店員

小崗子平和街一番地朝鮮料理店芙蓉方に同家酌婦光子事李今仙(二三)を馴染として泊り込んで居る男の擧動が不審なので屆出に依り小崗子署員が取調べた處男は大分縣生れ市内浪速町三丁目日吉靴店々員與石克巳(二七)と稱し本年五月以來前記光子に馴染主人に知られ解雇される事になり無情な主人の仕打に光子と相談の上各自遺書を認め星ケ浦で心中せんと夜になるのを待つて居たもので廿七日再び行方不明となり自殺のおそれあり目下手配中

ニキビ吹出物

水虫、イボ、濕疹、あせぼ、タムシ、トビヒ等が不思議によく療る民間藥が婦人倶樂部八月號に發表これこそ萬人の大福音!ぜひ御覽

レヴュウ臍繰金
高速度間借女の愛慾

沙河口京町三三古賀友市(四三)内緣の妻高橋ルテ(二〇)は本年五月末前記古賀方に間借して居る間に夫婦關係を結び同棲してゐたが、古賀は元來素人相撲でもとる酒癖の惡い男で日々虐待を加へるので逃げ出さうとしたがルテの臍繰に貯めてゐた六十圓の金を取つて返さず是が無ければ離緣しても明日から路頭に迷ふから古賀に返濟方說諭してくれと二十七日沙河口署に願出た

……部選手は奮鬪の結果第一回戰に奈良郡山中學を四對一、和歌山耐久中學を四對一にて何れも大勝した

……るから近く同線に依り送電さる事になるものと思はれる

戎克舢舨の船體消毒
防疫員を採用

水上署では夏期流行病の傳染時を警戒するため入港船舶の方は主として海務局がその衝にあたつて居るところから、海務局の手の屆き兼ぬる戎克舢舨等の船體消毒等を勵行する事となり廿七日附で新に四名の防疫員を臨時採用した防疫員は主として北大山海岸、西海岸通り一帶の戎克舢舨の防疫に從事する筈で廿七日早朝よりこれが經營方法等に就き松岡部長より一々指示をうけた

明大辯論部

明大辯論部一行八名は二十七日來連したが、二十八日午後六時から滿鐵社員倶樂部に於て講演會を開く

ガソリン引火

二十六日午後八時四十五分ごろ大連春日町四五平和クタシー運轉助手楠原好一(二〇)が同タクシー前路上に於て注油器に「ガソリン」一罐を移し之れを自動車に移さんと兩手で支へ上げた際引火したので急報に接し消防隊駈け付け逸早く消し止めたが、損害一圓七十錢原因は煙草の火らしいと

禺岩燈臺消燈

廿七日早朝入港の福壽丸、公濟丸、利生丸船長が語るところによると禺岩燈臺の燈が消えてゐた由で、海務局では直ちに圓島事務所に修理方を命じたと

事務長交代

あめりか丸鈴木事務長は今回陸上勤務となり代つて武昌丸事務長岡田足穗氏が就任廿七日入港と共に夫々挨拶するところあつた

三高生歡迎會

三高學生滿鮮視察團一行四十名は廿七日入港あめりか丸にて來連したが在連の三高出身者發起となり同日午後六時より聚仙樓に於いて一行の歡迎晚餐會を催す筈

山梨縣人會

大連山梨縣人會では目下來連中の山梨縣師範學校生徒一行の歡迎會を廿七日午後六時より市内浪速町浪速ホテルにて開催すると會費三圓當日持參されたいと

佐方家不幸

東拓大連支店長佐方文次郎氏母堂は本月初旬病を得東京本鄕森川町自邸で加療中のところ廿五日遂に死去した、葬儀は來る卅日自邸に於て執行されるが悲報に接した佐方氏は廿五日急遽上京した

日曜の催し

▲中等學校選拔野球優勝戰 午後三時半より滿倶球場
▲日本大相撲 第一日目電氣遊園下廣場
▲關粹會 午前十時より演奏浴衣會ラジウム温泉にて
▲梅若綠葉會 第十九回謠曲囃子例會を午前九時より西公園町梅若流滿洲支部に於いて
▲遠泳會 滿鐵水泳部にて正午より黑石礁にて

◇……あすから電下で晴天五日間の大相撲、今夕から觸れ太鼓が廻る

◇……かたい枕を好み石枕を愛用する鮮人が鐵道線路を枕に寢ながら納涼と洒落れて去る廿三日午後九時四十分大田發列車のため忠淸南道の羅州府附近で中德均(二三)と梁奉述(二〇)が轢き殺された【京城】

◇……キラウエヤ火山は二十五日噴火を始め四の噴火口から百五十尺の高さに噴火を始めた【ホノルル二十五日發電】

三高見學團

第三高等學校滿蒙見學團一行三十五名は同校教官陸軍步兵中佐小玉與一氏に引率されて廿七日入港あめりか丸にて來連直に市中見學、關東倉庫に宿泊するが旅大戰蹟その他視察の後は沿線を視察、約廿日の豫定であると

笠井勅選逝去

【東京二十七日發電】貴族院勅選議員笠井信一氏は二十五日逝去した、氏は靜岡に元治元年に生れ岩手、岡山各縣知事、北海道長官等に歷任してゐる

育成劍道勝つ

京都武德殿に於ける全國中等學校劍道大會に出場せる育成學校劍道

事業不振で職工解雇
三菱航空會社

【東京二十七日發】東京市芝區三菱航空株式會社芝浦工場は事業不振を名として二十五日從業員七十名を解雇したので從業員側は直に大會を開き對策を講じ會社側と折衝したが爭議に移る模樣がある

聖德殿の事務所建築決定す

社團法人聖德會は二十六日午後八時より同會事務所に於て役員總會を開き井理事以下二十五名出席永年の懸案たる聖德殿事務所建築に關して種々協議したが愈工費二萬圓建坪百二十四坪の社屋を新築する事に決定費用は全部一般の寄附に依ると

自動車事故二つ
相變らず人を傷つく

二十六日午前十時二十分ごろ大連向陽臺五四療病院入口路上に於て沙河口元町三九圓太郎タクシー運轉手村芳雄(二一)の操縱する自動車と大山通一六實用タクシー運轉手白石二三夫(二〇)の操縱する自動車と衝突し白石の自動車は水道工事中の溝に落ち込んだが幸ひ双方共損害なし

◇同日午後七時四十分ごろには西廣場三河町入口に於て沙河口元町二五第一タクシー運轉手增澤增雄(二〇)の運轉する自動車はその直前を横切らんとした西通り六三無職瀧澤政子(二〇)に衝突し同女の右足大腿部ほか一ケ所に治療十日間を要する挫傷を負はした

相撲中繼放送

大連放送局では電園下に於て興行される日本大相撲協會の取組を五日間に亘り毎日午後五時から七時三十分頃迄中繼放送する豫定である

露國行郵便物

支那及歐洲宛の郵便物は日本の媒介に依り亞米利加經由送達の事となつたのは既報の通りであるがソウエート聯邦宛郵便物は敦賀浦鹽間郵便を利用したき旨支那側から申出あり日本としては異存はないが一應露國に電報照會中との事である

滿洲特產界の脅威 硫安工業の發達

近年著しい其の需要增加趨勢に 豆粕の需要益減少

大連における特產界の不振につれ重要工業たる油房業が極度の疲弊に陷つてゐることは一般周知の事實であつて、數年來その對策について種々論議研究されつゝあるに拘らず未だに之が打開策を講じ得ざるは誠に遺憾なことである、就中油房工業の衰微は採算不引合に基くものであつて、その原因としては豆油の

外國輸出

の減退、財界不振による特產業者の疲弊、官銀號の原料大豆の買占め等種々數へられてゐるが內地農村において肥料としての豆粕が漸次硫安に壓迫されつゝあることがその根本的な原因であるは疑ふ餘地のない事實である、即ち近年硫安工業は世界的に著しい發達を遂げた結果同系肥料である豆粕に比し肥料價値の高いに拘らず、價格において却つて割合であると云ふので豆粕の領域は漸次硫安に浸されつゝある狀勢にある、吾國における過去六年間の豆粕及硫安の需要を對比すれば

年別	豆粕 百萬貫	硫安 千噸
大正十二年	四〇六	二三七
同十三年	三四四	二五一
同十四年	三一六	二九九
昭和元年	四〇〇	二九四
同二年	三六〇	三八〇
同三年	三〇〇	四五〇

右表の如く豆粕の需要減退に對し硫安は反比例に增加を示してゐる更に昨年度の吾國硫安製造高は二十三、四萬噸で輸入が二十四、五萬噸であつた、而も各製造會社は肥料の自給といふ表看板の下に

過剩電力

の利用或ひは瓦斯製造製鐵等の副產事業として硫安製造の擴張を目論み朝鮮窒素、滿鐵、昭和肥料、八幡製鐵所の大生產計畫が實現せられつゝあるその結果昭和十年末には今日よりみて最も可能性があり、豫期の完成を告げるもの丈けでも百七萬三千餘噸に達する、然して此の大量生產の結果生產原價が漸次低下し市價も低下の傾向を辿るは蓋し當然の歸結である、この市價低下の根據をなすものは明かに生產原價の低下にあるから今後增產計畫の完成により市價は尙合理的に低下する事を豫期し得られ、從つて需要は益々增大することが期待出來る、即ち年々少くとも八萬噸乃至十萬噸の增加は優に期待し得られるから昭和十年には大體百萬噸近くの需要が見られる事となり前記百萬噸餘の生產高と相俟つて完全に硫安の自給自足が出來る事となる、右の如く硫安の需要增加が市價低下といふ合理的前提の下に立つて居り而も豆粕と同系肥料を有する以上硫安の需要增加は豆粕の

需要減退

を意味し、假に年々平均昨年度の一割減を以て進むとしても昭和十年には八千六百萬圓見當の需要しかなくなり現在約三億八千六百萬圓の輸入がその約四分の一に減少する結果二千五百萬圓見當の輸入となる譯である、即ち硫安において三千六百萬圓、豆粕において六千萬圓合計一億圓の輸入を減じ得る譯であるが然しこれは六年先の事であるが差し當り今明年度においては如何であるか、本年度の內地硫安生產高は八月以降朝鮮窒素の一部操業により五萬噸見當を增加するから約二十八、九萬噸とみられ來年度は更に少くとも十五、六萬噸增加を見込まれるから四十四、五萬噸を豫想せられてゐる、而して消費は年々約八萬噸とみれば次の樣豫測が立てられる(單位萬噸)

	消費	生產	差引不足
昭和四年	五三	二八	二五
同五年	六一	四四	一七

之は各年末の在荷を同樣とみた概算であるが、兎に角昨年度の約二十七萬噸三千六百餘萬圓の輸入が明年度においては十七萬噸二千二百萬圓見當に激減することになり同時に豆粕は七千萬圓見當と約千六百萬圓を減ずるから兩方で三千萬圓の輸入を減少せしむる事と爲る、以上は近き將來起るべき金解禁或は之に伴ふ爲替の變動とかいふものを一切無視し只過去の推移と現在の能力及び擴張計畫を基礎として立てた豫測であるが實際においても大體此の數字に近きものがあるとみられて居る

革新される 正隆の經營方針

獨立の地方銀行として 今後保善社は事業監督機關

正隆銀行の經營は從來安田保善社の命令に從つて動くといふに過ぎずこゝに於て大方針を定め、正隆もその利もすれば保善社の一支店と墮して株主及び預金者の利益を

無視す

る場合が屢あり、ローカルカラーを必要とする植民地金融機關としての機能を保善社の中央集權主義に禍されてゐるといふので、兎角の非難が絕えなかつたが今回安田保善社では關係事業の中央集權主義を改め地方分權主義となし、保善社は專ら各事業の監督機關となつて事後の問題について監査し、今後は各關係事業主腦者に經營の全責任を負はせて、充分なる

手腕を

發揮せしむるといふ英斷的な改革を行ふに決したので、これに伴ひ正隆の營業方針にも大改革が加へられ、從來の保善社本位から株主及預金者本位に移り、その精神に於て獨立せる一銀行としての活動範圍が廣められるものと云はれ、正隆今後の新方針に對しては多大の注目を惹くに至つた

對外的に新味を加ふ 高橋常務語る

右につき高橋常務は語る この話は上京した折高橋是清氏との間に充分なる諒解を得て來た、保善社の新方針は僕がとうから抱いて居た意見と同一であつて時代に適應した良策と考へてゐるが、僕は大連に赴任する時から正隆の仕事は自分がやるといふ固い信念を持つて來たから自分に執つて新しいものでない、今後正隆の營業方針は對外的に新味を加へるであらうが、近く保善社から改革案を發表するといふから、そのうへで話そうではないか

朝鮮は粟も豐作 一割の增收か

水稻植付順調で米の大豐作を豫想されてゐる朝鮮は、粟の發育も頗る良好で廿五日總督府特產局に達した各道の報告を綜合すると、各道種苗場の成績頗る良好で昨年の作付面積八十一萬町步、收穫五百廿三萬三千百八十六石に比し今年は一割增約六百萬石の收穫を期待されてゐる

滿鐵東支連絡 八月中換算率

南滿東支兩鐵道間貨物連絡運輸に適用する八月中の換算率は左の通りである

一、南滿鐵道發貨物に對する
イ、東支鐵道收得額を滿鐵に於て收入する場合
換算率金百留――百一二圓四〇錢
ロ、滿鐵收得額を東支に於て收入する場合
換算率金八圓――八八留九七哥

二、東支鐵道發貨物に對する
イ、東支鐵道收得額を滿鐵に於て收入する場合
換算率金百留――一一二圓四〇錢
ロ、滿鐵收得額を東支鐵道に於て收入する場合
換算率金百圓――八八留九七哥

尙前月の百留に對する百十六圓八十錢に比較すれば四圓四十錢安である

特產物の滯貨 哈爾賓に充滿

松花江岸より廻送多し

【ハルビン特電二十六日發】時局發生以來松花江沿岸各地では戰亂を豫想し急に手持特產を當地へ廻送し來るもの多く之がため當地埠頭への出廻り貨物は平素の二倍となり每日三百五十車內外に達してゐる、而して之に對する當地の貨車配給は混保品及び等外品全部に對し僅に百二十車位に過ぎないため、到着貨物の大部分は殆ど積み殘り入區貨物置場並に各糧棧は之が滯貨で充滿してゐる

北滿特產の南行取引

支那側賣り急ぐ

【ハルビン特電二十六日發】廿五六兩日の特產市場で一時賣買共に手控へてゐた邦商は依然東行線不通なるためボツボツ南行による取引を開始した、支那糧棧は久しく取引皆無の狀態なりしため、賣り急ぎ手附金無しの賣約束をなすに至つた、外商は依然手控へを續けてゐる

十里河一帶 農作被害

十數年來に無い豪雨で

本月十七、八日頃より遼河沿岸蒲江の上流地方を中心として連日降り續ける豪雨は最近十數年來見ざる程度のもので廿五日東亞勸業公司より滿鐵農務課に達したる報告によれば通遼附近より十里河一帶の出水による農作物の被害は豫想外に甚大なるもの〻如くであるが同方面の出水概況は

◇…蒲江上流地方並に遼河沿岸は六月末より本月初旬にかけ適度の降雨ありしも十七日より降り始めし豪雨は廿日午前に至り俄然十里河一帶より一時に氾濫流下し來り馬三家西方板橋子、靜安堡方面は增水六尺、堤防も所々缺潰し附近作物は殆ど浸水して全滅するに至り今後回復の見込なき模樣である

◇…通遼方面も廿二日來豪雨あり廿三日午後三時迄に增水八尺に達した、附近の農民は家屋流壞のため相次ぎ堤防決潰を防禦し得ざるしたが、大部分北寧鐵路沿線に避難したが、北京街道沙里堡、西は老邊鐵路に至る約一里平方は全く泥海と化したと

尙東亞勸業公司關係の被害面積は

東支沿線穀物主要驛在貨

(七月中旬單位米噸)

	昂々溪	安達	滿溝	哈市	双城堡	計
大豆	一三、五九二	一七、一三〇	一七、八六二	六九、七六八	三五、六七	一七三、八八九
豆粕	一八	―	―	五三三	―	五四〇
豆油	六五〇	―	―	一四四	―	七七四
小麥	三、三五〇	二、六六四	一、三四一	三五、七二二	八〇一	四三、七八九
麥粉	一〇	―	―	―	九〇	一、六〇〇
麩	三六	―	―	三、三〇	―	三、六〇〇
高粱	一八	一、九六三	三、一四四	二、〇四〇	三、三八八	一〇、六六三
粟	一六三	二、三五六	二、九六三	九五四	一三六	六、七三〇
包米	―	一三四	―	―	―	―
其他	五三三	九六	二、一三四	三六六	二六六	七、二二八
	一八、二六八	八〇、六八四	二七、九三二	一一三、五八三	五〇、三六四	一四七、六一〇

製鋼所設置運動の應援依賴

鞍山から大連商議に

製鋼所問題に關し鞍山市民は上京委員を派して鞍山に設置方を政府要路に運動してゐるが廿七日大連商工會議所宛應援方を打電し來た

沙河口輸組臨時總會

大連輸入組合沙河口支部に於ては二十五日午前九時沙河口市場會議室に臨時總會を開き組合員三十三名出席し、每月二十七八兩日現金賤賣デーを催す事又組合員拂約貯金外數件を議決した

關稅問題交涉經過報告

けふ篠崎氏が

關東州內の工業振興のため關稅引下げは目下の急務とされてゐるが大連商工會議所は州內工業品の輸出稅引下げ及び材料の輸入減稅に關する資料を蒐集し過般篠崎書記長上京し外務當局に種々陳情するところあつたが、之が經過報告及び今後の運動に關して打合せを行ふべく、廿七日午後三時から州內當業者の會合を行つた

團體めぐり

自から努力し活路を拓け

市中商人に與へる言葉 滿鐵社員消費組合(完)

少々古い調査で恐れ入るが昭和二年末の日本全國の消費組合數は百九十八、うち成績良好と見られるのは僅か四十七組合しかない、この組合の色別を見ると、官公吏其他俸給者の組合が七十九で最多數を占め、これに次いで一般住民の七十八、勞働者の十一等である

醫者ばかり作つた組合、八百屋ばかりで作つた組合と毛色の變つたものも幾分あるが、いづれを見ても餘りパツとしない、その原因は何處にあるか?寄つて來るところは色々あらうが、何と云つても掛賣の習慣は消費組合の發達を阻害する事大なりといふ結論になる、

卽ち資金回轉の迅速を缺き恐るべき掛倒れの危險が伴ひ易い、この弊害は消費組合のみでなく、日本商店界の持つ大きい惱みだ。

◇ところが滿鐵社員消費組合にはこの惱みがない、つまり組合員の購買金は月給から天引、從つて最も恐るべき掛倒れの心配なく、資金の回轉は極めて順調だ、故に品種の擴張、大量仕入れと自由の資が擴けられる譯昨年中の仕入價額は七百七十四萬三千餘圓、これを仕入地別に見ると(單位圓)

	仕入金額	割合
滿洲品	[illegible]	[illegible]
內地品	[illegible]	[illegible]
外國品	[illegible]	[illegible]

(割合は一、〇〇〇を標準にしたもの)

であつて滿洲からは白米、味噌、醬油、砂糖、蔬菜等を主として生活必需品、內地からは吳服、小間物雜貨、海產物、家具それに燐入道具に至るまで、外國からは時計、蓄音機、洋服地等で毛も角一千點に近い商品が仕入られる、一度組合の門をくゞれば居ながらにして凡そ社會生活に必要な品物は整へられるといふ仕組だから何を苦んで一割も一割五分も高い市中物價を買ふ必要があるかといふことになるが、在滿邦人の半數を占むる十萬人近くの滿鐵社員(家族を合せ)がこんな風であつては市中商人はたまつたものではない、それでなくとも一萬數千人の關東廳官吏を州內各所の購買組合に奪はれてゐるのだもの――かくして華商と競爭してゆかねばならぬ邦人小賣商の立場こそ正に同情に値する。◇

しかし社員消費組合の存在を目の上の瘤として騷ぎ廻る前に先づ反省すべき多くの問題が橫たへられてゐるではないか、仕入の改善、支那人顧客の吸引策、沿線背後地の進出、問屋口錢及び運賃輕減運動、經營上の缺陷矯正等々、自ら努力するところに自ら活きるの道が拓けてゆくであらう。

【寫眞は田村組合常任理事】

黄塵

◇…鞍山市民の製鋼所問題に關する熱心はいゝ、然し地方問題に熱心の餘り大局を忘れては仕樣がない。

◇…露支紛爭の飛ツ沫りと、排日貨の影響は果して何れが大か。

◇…何れにしても浮ばれぬのは在滿邦商。

◇…旱害を免れたと思つたら今度は水害。

◇…一方內地、朝鮮の豐作豫想は滿洲粟の輸出に大分應えるだらう。

◇…事業縮小と失業者救濟、この二つの使ひわけは現內閣惱みの一つだ。

市況

特產 人氣添はず 三品軟調

昨日來保合商狀に推移せる氣先、今朝銀の保合を眺めたが、三品共に人氣添はず不味軟調を呈し、殊に高粱は人氣引立たず十一錢方の續落を辿つた

◇定期前場(鈔票)

▲大豆(軟調)單位厘　▲豆粕(軟調)單位錢　▲豆油(軟調)單位錢　▲高粱(続落)單位厘

[illegible]

◇現物前場(銀建)

混保(袋入)大豆(裸物)　寄付 六七五〇 大引 六七五〇
三等大豆(出來不申)
豆粕 一二二五〇 一二二四〇
出來高 九千枚
豆油(出來不申)
高粱 四三〇〇 四三〇〇
出來高(次物) 一車
包米(出來不申)

錢鈔

定期喰合高(廿六日入) 前日對比較×印減
大豆 二八四九車 三車
高粱 一七一六車 三〇車
豆粕 七四五千枚 四五千枚
豆油 一九二五百箱 五五百箱

前場(保合) 今朝の海外材料としては倫敦銀塊は二十四片十六分の七と(十六分の一高)先物二十四片十六分の九と(八分の一高)紐育は五十二仙八分の七と(八分の一高)英米クロスは八十五仙八分三と(十六分の三高)米支は五十四十六弗八分の三と(十六分の三高)…

◇定期取引(單位圓)　◇現物取引(單位圓)

[illegible]

七月廿八日限 鈔票受渡高 前回より減少

大連錢鈔市場における七月廿八日限鈔票受渡高は百十九萬五千圓受渡標準値九十一圓二十錢、代金七十一萬七千百八十圓で之れを前回七月十三日限受渡高に比較すると受渡高において七十八萬五千圓 … 減少を來し渡標準値は六錢の高を示してゐる、各取引人別に受渡高を示せば左の如し(單位千圓)

[illegible]

株式　內地變らず 五品ヂリ安

商品

市場電報

銀塊及爲替　大阪株式　東京株式　大阪期米　東京期米　大阪綿糸　大阪棉花　神戶豆粕　橫濱生糸　印度麻袋　奧地市況　上海爲替情報　手形交換高　上海標金　爲替相場

[illegible]

平安異香 (62)

葉多默太郎 作　中一彌 畫

陥穽(一四)

時が時だけに、その叫び聲はハツと師輔の全身の血を凍らせた。たゞならぬ叫びだつた。胸を摑まれたやうな悲鳴だつた。しかも方角は北の方お蘭の方の湯殿、聲はそのお蘭の方自身の聲らしいので——ハツとなつて師輔は三左衞門と顔を合す。と、

「殿」

と呼びかけておいて三左衞門は馳け出す。師輔も夢中で後を追つた。が、

「五平次、部屋を離れるでないぞ。殿を衞つてをれ。幸を、いゝか」

若侍の五平次に、幸の護衞を命ずることは忘れなかつた。

トン／＼トン／＼、叩きつけるやうに長廊下を飛んで行つて、それから渡殿を走つて西の對の屋のお蘭の方を湯殿——。

そこでは既に侍女や童達が立騒いでゐる。

「御方樣は……」

と、いきなり三左衞門が息切の聲で叫ぶ。

「御無事か!御無事か!」

丸高坏に湯呑を載せて小走りに馳つてゐた侍童、走りながらに目禮をして、

「御方樣は昏絶遊ばされて……」

「昏絶——?してお怪我はなかつたか」

「いさゝかも……」

「なかつたと云ふのか——それで一體どうなさつたのだ」

「一向に私存じません。御免を」

そのまゝ廊下を走つて湯殿の化粧の間へはいる侍童。

三左衞門はほつとした。で、師輔の顔を仰ぐやうにして

「御聞きの通りでございます。御安堵遊ばしませ」

さう云つてだんまりしたが。

「うむ」

と云つたばかりで、師輔の面は晴れない。何か脅えたやうな不安らしい色が膠のやうにしつこくその面に殘つてゐるのだつた。

「とにかく一應御見舞になりますか」

「うむ、さうしよう」

三左衞門が先に立つて化粧の間の前に來る。そして妻戸に手をかけると、中から妻戸が靜かに開いて、

「暫く、暫くお待ち下さいまし」

侍女の筆頭格の相模といふのが顔を出して、師輔にしとやかな會釋をして再び妻戸を閉めた。

その時簾越しにちらと見えたのは白いお蘭の肌を手拭を持つた侍女の手——お蘭の方の體を侍女が拭つてゐる最中らしかつた。

少時廊下に立たされて後、部屋に入れられると、お蘭の方は褥から顔だけ出して眼を開けてゐた。額はまだ蒼白だつたが、頰にはもう幾分の紅味が返つてゐる。

「氣絶をしたと聞いたが、もうよい按配らしいな」

枕頭に坐つて、童の差出す火桶を抱きこみながら師輔はさう云つて微笑んで見せた。

「えゝ、もういゝのでございますつかり——びつくりしました。私馬鹿ですね」

お蘭の、目は、一瞥したゞけで直その顔の何處かに不釣合な所があると思はせる位に、かなり酷い不揃の目だつた。が、それが決して醜くないばかりか、却つて妖しい色つぽさになつて、この女性を淫獸の化身かと思はせるばかりの魅力となつてゐるのだつた。

師輔は微笑むこの不揃の目に微笑み返しながら訊ねる。

「何締殺されてもあれ程ではあるまいやうな悲鳴をたてをつたが、どうしたのだ」

するとお蘭の方、湯氣に濡れた髮を額から撫上げながら、困つたやうに眉をよせて、

「何んでもないのでございます。たゞ變な幻を見て——恰度湯にしたつて、うつく／＼としてゐたものですから、夢を見たのかも知れませぬ。そのまゝ氣絶してしまつたりして……」

映畫と演藝

初秋日本映畫

お盆も過ぎ今夏に於ける映畫戰は閉ざされた、來るは今秋の映畫戰初秋第一陣の邦畫呼物は僅かはファンの興味ある事であるが略左の如きものが出る模樣である

△日活映畫移動派同人合作村田實監督、中野、小杉英、入江主演「摩天樓」(その一社會篇)中村武羅夫原作、阿部豐監督、島、南部、夏川、澤その他オールスター・キャスト「蒼白き薔薇」大河內傳次郎の作品は近日發表される△松竹映畫星見辞原作、宗監督オールスターキャスト「今年竹」清水監督、高田稔、井上正夫主演「アメリカ航路」△阪妻映畫、大佛次郎原作、山口哲平監督、阪東妻三郎主演「からす組」△マキノ映畫、山上伊太郎原作、マキノ正博監督、澤村國太郎主演「浪人街」(第三話)平山蘆江原作、中島寶三監督、オールスターキャスト「西南戰爭」△東亞映畫、仁科熊彦監督、雲井龍之介主演「維新鐵街面」直木三十五原作、後藤岱山監督嵐寛壽郎主演「明暦風流陣」△帝キネ映畫、土師清二原作、渡邊新太郎監督、市川百々之助主演「傳奇刀葉林」江後監督百々之助主演「血染めの殿中」

映畫界東西

松竹キネマでは創立十周年記念事業としてレヴュウ劇團を組織したが新入社の脚線美女優が加入

◇

蒲田では小唄を挿入した「陽氣な唄」と「山の凱歌」を製作

◇

殺人的な京都の暑さに下加茂で「斬人斬馬劍」を製作中の伊藤月形唐澤の三人が揃つて倒れた

◇

スタヂオの女優連が毎日水泳に出掛けるので八瀨のプールや嵐山がファンで大賑はひ

◇

高島愛子が月末に來連するといふ話であつたが、どうやら噂だけに終つたらしい

◇

マキノのトーキー「[illegible]」「戻橋」と獨逸のトーキーが近く大連で封切される豫定である

◇

最近歐洲映畫の輸入が次第に增加し四月の如きは米國物の約半數に達してゐる

◇

グロリア、スワンソンがトーキーに出演し、科白だけでなく獨唱すると、相手役はロバート、アメス

協和會館映畫「東京行進曲」

大連滿鐵社員倶樂部主催で來る廿九日午後七時半から協和會館に於て目下浪速館に上映好評を博してゐる日活現代劇菊池寛原作、木村千足男脚色、溝口健二監督のオールスターキャスト「東京行進曲」を上映するが會費は大人四十錢、小人廿錢、會員外七十錢であると

滿洲日報

支那側ハルビンに於て巨頭會議を開催せん

兩三日中に萬福麟氏と前後し張作相氏も赴哈か

【ハルビン特電二十六日發】萬福麟黒龍江省首席は兩三日中來哈の筈であるが、これと相前後して吉林に歸任した張作相氏も來哈する模様で國境警備萬一の場合に對する巨頭會議が開催さるゝ豫定である、支那側は和平解決を希望しつゝもなほ續々軍備の充實を圖りつゝありその眞意は頗る疑問視されてゐる

東鐵問題を調査し勞農の態度監視

朱氏急遽哈市へ向ふ

[illegible]勞農の態度を監視するにあり、右につき王正廷氏は左の如く語つた

朱氏北上の目的は勞農が交渉開始を希望せば直に彼をモスコーに派遣し其任に當らしめる然し勞農が態度を改めなければ海路赴任せしむる筈である

支那側が哈市で宣傳戰開始

米記者の歡心を買ふ

[illegible]者六名を料亭に招待盛宴を張り米國の歡心を買ひ又國民政府外交部派遣宣傳員二名も來哈し邦人方面の意見を聞くと共に宣傳戰を開始した

日本側の態度を探るに汲々

武裝對峙の間にあり支那側調停を待つ

【吉林特電二十六日發】[illegible]日本も幾分の共同防止の責任がある譯である、元來東北省の企圖は只單に共産、陰謀の防止に外ならぬ、故に若し勞農ロシヤが東支問題を武力解決に訴へ東北軍又これに應戰した場合と雖もなほ日本は干渉することを辭せないであらうなどといひ、その他張作相周圍の高級幕僚連は内々頻りに日本側の態度を探ることに汲々としてゐる、なほ仄聞するところによれば張作相氏は長春においてメリニコフ氏と會見の結果は固く秘してゐるから知るよしもないが

勞農側の態度は豫期したほど良好でなかつたもの如く非常に強がりばかり言つてゐるが一面戰意のないことは瞭かである

要するに支那側の態度は武裝對峙の間にあつて各國の調停を待ち和平解決の目的を達しようと期待して居るらしい、また吉林當局も頻りに支那は東支鐵道の回收を目的とするものではない、たゞ赤化の危害を除去するの目的を達成するにあると稱してゐる

蔡運升氏南下

朱紹陽氏出迎に

【長春特電二十六日發】今朝六時着列車にて交渉署代表蔡運升氏ハルビンより來長吉林省副司令と會見し、直に南下したが其目的は調停役朱紹陽氏出迎へのためであるとつたへられて居る

晝夜兼行で國境防備を練る

歸吉したる張作相氏

【吉林特電二十六日發】昨日歸吉した張作相氏は晝夜連續して副司令部高級武官を集め國境方面配置各軍隊の報告に基き防備會議を開いてゐる、右につき副司令部高級參謀等の言によればポクラニチナヤ國境附近の露軍は頻りに移動しつゝあることは事實である、しかし急に積極行動を起す模様も見えないが決して油斷が出來ない故に國境防備に關しては萬全の策を講じてゐると、なほ張氏は露軍目下の形勢では急に哈爾賓に出動しないといはれてゐる

支那軍隊は絶對に射撃せず

勞農軍侵入せぬ限り

【滿洲里二十六日發電】西部國境から歸來せる支那將校の談によれば、勞農軍は演習と稱して發砲したが、支那軍隊は之に應ぜず、之は支那司令官から勞農軍が支那領に侵入發砲せぬ限り絶對に射撃すべからずと嚴命されてゐるためで兩國は絶對に交戰してゐない、勞農軍の發砲により人心動搖せるより軍司令部は布告を出し鎭靜に努めてゐる

外蒙政府が

多數自動車差押

外蒙政府當局は露支抗爭事件に關し先頃來頻りに策動してゐると傳へられてゐるが、奉天支那當局に達した情報によれば外蒙政府は去る廿一日張家口、庫倫間に使用してゐる自動車八十臺を差押へたと

露人勞働者動員に不平

【ハルビン二十六日發電】勞農官憲は嚢に沿海州にて十六歳以上三十五歳迄の壯丁に動員令を下したが不況の折柄勞働者の反感を買ひ成績豫期に反せるより今回在露領鮮人にて補充すべく一戸一人宛の鮮人を徴募しつゝあり應募者は既に五百に及んだ

在支の赤系露人

獨逸領事が保護

【長春特電二十六日發】メリニコフ氏の長春引揚と同時に滿洲里、チチハル、ハイラルの各領事も引揚げたが、在住ロシア人の保護については過般ドイツ領事から本國政府に請訓した結果、代つて保護することを正式に許可して來たので今後ドイツ領事の手で正式に保護されることとなつたが、北平、奉天その他もドイツの訓令を受けた筈であると

膠州兩の賣買禁止

青島市黨部が

【青島二十六日發電】青島特別市黨部は本日突如銀單位膠州兩賣買を停止し商取引一切を銀大洋建たるべしと布告したので財界は混亂に陷つた、日本側で打撃を受くるものは銀行と紡績業者で之は江戸の仇を長崎のつもりで紡績苛めと見られてゐる

佛支安南通商條約改訂交渉成立す

通過税問題を留保して

【上海二十六日發電】佛支安南通商條約改訂會議は二十五日午後五時半より開催、支那側は國境通過税取消しを主張したが佛國公使より更に本國に請訓することゝなりその他は完全に一致した、會議後王正廷、佛公使マルテル氏の名をもつて左の聲明書を發した

本日の佛支條約會議にては双方提出の討論事項は大體意見一致し只通過税に就ては後日に保留した

石塚臺灣總督

卅日親任式

【東京二十七日發電】臺灣總督後任は石塚英藏氏と決定、二十九日の閣議にて正式決定の上三十日宮中の御都合を伺ひ奏し同日中に左の如く親任式を擧行さるゝ事となつた

從三位勳一等 石塚英藏
任臺灣總督

「若人よ須らく積極的たれ」

廿六日松岡副總裁 獨身社員を中心として訓話

廿六日午後四時十分から滿鐵協和會館に於て滿鐵社員會修養部主催で松岡副總裁の「獨身社員を中心」とした社員への訓話會が開かれた、今後は最早左樣打解けて副總裁の若い社員に對する訓話等を沁々聽き得る機會も無からうと云ふので獨身、既婚の別を問はずタイピスト其他の數十名の婦人社員さへ交つて集まる者約三百名、保々社員會幹事長の開會の挨拶に次いで壇上に起つた松岡副總裁は終始温顔に微笑を湛へつゝ「若き人々へ」の題下に約一時間十分に亘つて諄々として左の如き訓話をなし最後に「若人よ、須らく積極的たれ」と喝破して若き社員達の猛烈な拍手を浴びつゝ壇を降り竹森幹事の副總裁に對する謝辭、閉會の挨拶終つて同五時半ごろ散會したが、當日副總裁の訓話を傾聽せる若き社員達は、今更ながら其日彼等と訣別せる「吾等の總裁」の巨大な輪廓、鋭利の頭腦、さては松岡副總裁との過去廿五年間に於ける美しきフレンドシップ等に就きいづれも深き感銘を受け、去り行きし山本總裁に對する思慕の情一入新なるが如く見受けられた

私は約廿五年前領事官補として上海に赴任せる時初めて山本總裁と相識つたのであるが爾來私の外交官生活の十七年間に日本の政治家、元老、各國の外交官等隨分多くの人物に接して來た當時總裁に對して抱いてゐた驚嘆、敬服の感は彌々强められる許りであつて氏の如き頭腦は歐米にも左樣澤山轉がつてゐるものとは思はれぬのである氏は全く桁外れの殆どインスピレーシヤンを以て新規計畫を案出するかに考へられるが、愈々事業に突込むや否やその計畫の綿密周到なる實に常人のインテレクトを絶したものがある、氏の滿蒙に殘した巨大な足跡は從來の空虚な單なる「滿蒙開發」でなく母國の年々一億五千萬に餘る入超の始末と内地青年の就職難の解決の爲め積極的に滿蒙を開發することであつた、莫大な入超と毎年校門を出る數萬の青年の五割の失業が今後十年も續けば諸君祖國は如何になるであらう?竦然たらざるを得ないのである、鐵國策の樹立——昭和製鋼所計畫は氏の實に右の大計畫の根幹を爲すものなのである、諸君、我國は古來內治、外交とも積極的な國柄である我國の人口問題は所詮サンガーの理論を以ては解決することは出來ない、先年後藤伯と共に語つた事があるが人も國も若くして元氣發剌、上り坂にあるものには緊縮、消極方針は禁物である鬱勃として興るものは如何にするも抑へ得ず、下り坂にあるものも繋ぎ止める事は出來ぬ、明日を考へる者は既に老人であり、明日を考へず現實に於て力一杯精神的に半ば死せる者である、樂天的に元氣を以て働くことこそ私の年來の主張である、私は豫言者ではない、然し六千年史を通覽して考ふるに日本の將來はまだ五百年は大丈夫である、若人達よ、大に積極的たれ、日本は若く諸君も亦若いのである今や滿蒙に於ける露支關係は險しく母國の前途また多難である、私は諸君が消極、緊縮でなく積極濫費主義に改宗されて邦家の爲め大に滿蒙の天地に活動されんことを切望する

在滿同胞諸君へ

去るに臨みて所懐を述ぶ……(下)

滿鐵總裁 山本条太郎

假りに私の了解する所に大なる過誤がないとしたならば、上に述べた卑見は恐らく在滿有識者諸君多數の希望と必ずや合致するのみならず、廣く滿蒙在住全同胞の意向を代表し、其の共鳴を博し得べき妥當性を有するものたるを疑はないのである。否、有體に云へば滿洲同胞諸君が多年熱望し、主張せる所を受け繼ぎて之を實行上に取り運んだのに外ならぬ。

▽―△

是れで私は就任以來、前陳の方針に基きて諸般の事業を一貫遂行し、御承知の如く既に實際上に業績を擧げつゝあるものもあり、中は其の設備の整へるものも、又現に創業中のもの、或は計畫中のものもある。幸ひに是等の各施設が完成いたしたならば、例へば鞍山の製鐵を利用して、諸君の手に之を加工し、進んで支那人に供給するの途も開かれるであらうし、又石炭にせよ、燃料油及化學肥料にせよ、或は又汽船等にせよ、直接又は間接に滿鐵の事業を活用することに依り、支那人との間に產業通商上の新機運を打開し得べき便宜と機會とは必ず發見され得るに相違なく、斯て從來の共喰的生活から、對外的經濟的地歩と勢力とを占むるやうになつてこそ、夙に大陸に進出せる諸君の宿志は始めて遂げられると信ずる、それは同時に滿鐵本來の目的を達成し、且つ日本の滿洲との特殊關係を最も緊密に具體化する最善の方途たらねばならない。

▽―△

幸か不幸か私は政黨の關係に依りて、今や諸般の事業半途に諸君と御別れする事になつたが、併し假令何人が滿鐵總裁の後任たるとも經濟上の原則には二つは無い、政治的には無論種々なる意見も議論も唱へられるだらうが、滿洲の財界在留同胞の經濟的要求と、輿論を無視して可なりとするが如き方策は、到底想像の及ばぬ所である、否吾々の計畫よりは更に適切にして、更に大規模なる積極的經綸が次の總裁によつて當然に行はれるであらうことを深く期待すると共に、諸君の熱烈なる輿論を力として、必ず之を遂行せしめられるであらうと信ずる。

▽―△

此の故に私の所見として、滿洲經濟界の將來は決して悲觀したり、又は其行詰りを嘆息するには當らない、滿洲から蒙古に亘る此の廣大なる天與の資源を擁し、其の豐饒なる農產、鑛產、林產、畜產等を眼前に眺めつゝ、其處に何の悲觀を要するであらうか、滿洲の人口は年々に激增し、單に支那內部の移住民ですら、毎年數十萬に上る盛況を呈して居るが、今日の滿洲は其の總てを收容し嚥下して尚餘裕綽々たる實情では無いか。此の大自然と、人間力との滅せざる限り、滿洲の將來は益々有望であり、其の發展隆昌は時代の進歩と共に、加速度の勢ひを以て實現し來るに相違ない、故に滿洲の經濟界が行詰るといふことは、元來有り得べからざる事實を見誤り、若くは不用意に冷視せる結果かと思ふ。

▽―△

隨つて今後の當局者は其の何人たるを問はず、極めて嚴肅なる意味に於て、一たび滿鐵創立當時の精神に立ち還り、少くとも日本と滿洲との經濟關係を、より緊切に、より密接に、具體化しなければならぬのは言ふ迄もない。若し滿洲の將來は益々有望であるに拘らず獨り滿洲の同胞に限つて、尚長く不振不況の境地に置かれなければならぬとせば、それは確に國家に取りても不幸極まりなき矛盾であり寧ろ奇異なる變態的現象である。

▽―△

是等の點に就いては廣く國民經濟の立場からも、更に大いに諸君と共に考究せなければならないが、併し斯の如きは茲に私が縷說するまでも無く、夙に賢明なる諸君の知悉せらるゝ所と信ずるから、私の切に希望する所は互ひに協心戮力如何なる難局をも突破して勇往せられんことをである。滿洲と日本との關係は、地球の存在する限り無限の永續性を有つて居る、それは我國民生活より見て、絕對不可分の關係に在ると共に、何者と雖も之を侵し、之を奪ふ可からざる地域として創世記以前より彼我の間に宿命づけられたる自然的約束の下に置かれて居るのである。

▽―△

されば假りに政治的の問題は如何にあるにもせよ、其の地理的關係、文化的關係、殊に人間と人間との交渉接觸に出發する經濟的關係が假へば交戰國の間に於てすら斷滅せざる如く、日本と滿洲とを無窮に結び付け、東洋平和の紐帶たるべきは極めて明白、秋毫の疑ひを容れないのである、故に此の自然の約束をして神の攝理の如く普遍的に妥當化し、實際化することは最早議論の時代ではなくて、唯だ實行を剩すに過ぎないのである。

▽―△

私は今滿洲を去るに臨みまして、私が日本の國民である限りは滿洲を忘れることは出來ない、滿洲を忘れない限りは大連を忘るゝ筈なく、時に一瞬時と雖も、在滿同胞諸君の姿を私の眼底から消すことは不可能である、何となれば滿洲に於ける私の愉快なる印象は在滿同胞諸君に依りて深く私の腦裡に彫りつけられ、且つ私の生涯を通じて忘れ難い記憶として殘るであらう。こゝに謹んで諸君の御厚情を深謝すると同時に諸君の御健康を祈る。

御挨拶

謹啓小生等滿洲日報在社中は大方各位の御引立御援助を辱うし大過なく任務を果し得たる段難有御禮申上候今回都合に依り退社歸京する事と相成候に就ては一々拜趨御挨拶申上可きの處行李匆々其意を果し得ず乍失禮紙上を以て右申上度如斯に御座候 敬白

昭和四年七月廿七日

米野豊實
扇谷亮
白井龜雄
繩田養造

辱知各位

建艦中止反對の抗議書提出

米國在郷軍人團司令から フーヴァー大統領に

【ワシントン廿五日發電】アメリカ海軍長官アダムス氏は昨日のフーバー大統領の巡洋艦三隻起工中止の聲明に就いて本日左の如く語つた

巡洋艦三隻の設計圖製作は大統領の建造中止聲明に拘らず繼續さるべく、また右三艦の建造材料注文も今のところ取消さるゝことはない

尚アメリカ在郷軍人團總司令ポールマクナット大佐は巡洋艦三隻起工中止反對の抗議書を大統領に提出した

けふ臨時閣議で重要案決定

實行豫算、露支問題等

【東京廿七日發電】實行豫算に關する大藏省と各省間の交渉は昨日全部終了せるより井上藏相は昨夜關西より歸京した濱口首相を東京驛に出迎へた際、閣議を開き決定したしと要求せるより鈴木翰長を私邸に招き協議の末二十八日午後一時臨時閣議を召集し附議決定する事となつた、尚當日は幣原外相より露支關係の現狀及び列國の態度、兩國大使と會見の顛末を報告し帝國の執るべき方針につき協議すべく又植民地長官の人事に就ても協議さるゝであらう

鞍山の上京委員製鋼所設置陳情

きのふ拓相を訪問し

【鞍山特電二十七日發】製鋼所設置問題に關し政府要路に陳情のため上京中の鞍山實業協會長加藤政人氏より廿七日午後三時左の如き入電があつた

今朝松田拓相と會見、諒解を得た、後任總裁は片岡直温氏に決定の由、沿線各地に人を派し極力運動せられたし、滿洲の輿論によりて大なる力あり、宜しく頼む

右により實業協會では廿七日夜滿研究會議を開き運動の實行方法につき協議した

英露修交正式發表

駐佛露大使赴英

【ロンドン二十六日發電】英國下院公式發表によると英國政府はパリー駐在勞農大使ドブガンフスキー氏が倫敦を訪問英露國交恢復に關し二十九日外務長官と會見するやう案內電報を受けたと

滿鐵社員異動

滿鐵庶務部庶務課覚淵氏は廿六日附で經營事務所勤務を命ぜられた

藤岡警務局長東上

藤岡關東廳警務局長は廿九日出帆のあめりか丸にて東上すると

露支斷交は我日本にとり重大影響があるだけに、在滿邦人間にも色んな觀測や批評があるが、その一つにこんなのがある ▲日本野球軍は今露支兩軍の試合を見てゐるが何處までも紳士的であるのは好い▲然し日本軍は敵失を利用して得點するのまでも火事泥と同一視してホームに進んで來ない▲フアンは濱口マネージャー、幣原選手以下大公使總領事等のランナーやバッターの愚拙さを見るに耐へ兼ねて居る▲日本軍は疾くから支那と試合中で鐵道問題、商租問題、通商問題、鮮人問題、排日問題等でフールベースであり又ロシヤとは漁業問題でランナーはサードベースまで進んで居る▲得點するには今が絶好のチャーンスで、若し之が過ぎて攻守チエンヂでもしたら支那は又排日運動を繰返すだらうが▲子供の支那から大人の日本が飜弄されるのがフアンは癪にさわつて耐まらぬといふのだ。

神戸特産物(廿七日)

品目	値
大豆現物	七四五
同 先物	六四五
豆粕現物	二一八
同 先物	四六七
滿洲小麥	七一〇〇
豆油現物	二二〇〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
七月	二七七三	二七五三
八月	二七九三	二七六四
九月	二七四二	二七一一

神戸期米

限月	後場寄	後場引
七月	二八〇〇	二七七二
八月	二七九八	二七七四
九月	二七四六	二七一八

東京期米

限月	後場寄	後場引
七月	二八六五	二八六二
八月	二七四六	二七二〇
九月	二七一一	二六八〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
八月	二四四七〇	二四五四〇
九月	二三八五〇	二三九三〇
十月	二三九九〇	二三〇三〇
十一月	二二二六〇	二二二七〇
十二月	二一九九〇	二一九七〇
一月	二一七〇〇	二一七〇〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	八〇八〇	八〇七〇
大新	六七〇〇	六六六〇
鐘紡	二四八九〇	二四九九〇
鐘新	一一七四〇	一一七四〇
日糖	六七七〇	六八二〇
郵船	六三二〇	不申
東新	一〇六九〇	一〇六五〇

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一一八四〇	一一八四〇
東新	一〇五四〇	一〇五五〇
五品	一一八〇	一一六〇
中	不申	一一七〇
先	一二九〇	一一九〇
豆信中	不申	不申
豆新	一三七〇	一三六〇
中	不申	不申
先	一三九〇	一三八〇

東京株式(短期)

	寄値	引値	高値	安値
五品	一一九〇	不申	一一九〇	一一九〇
東新	一〇五九〇	一〇四九〇	一〇六九〇	一〇四九〇

滿洲日報

海外への積極的進取政策

日本の現在は經濟的難境に立てるを以て、整理節約の必要がないとは言はないが、曩にも論ぜし如く、程度を越への緊縮政策は宜しくない。國策上緊要たる事業でも中止又は繰延べるが如きは、事業界を沈衰せしめ不景氣を增大し、失業者の數を增加し、國民生活を不安に導き興國の元氣と進取の意氣を阻喪する事になる。若しそれ國策上最も必要なる海外の事業までも緊縮政策の下に中止又は繰延べるに至らば、資源貧弱にして工業原料に乏しき我國に打擊を與へ、却つて經濟難を增進する事になるだらう。

◇

何故に今日の日本が經濟的に行詰まつた乎といへば、その根本原因は、國土狹小にして生產資源の貧弱なる日本々國民だけでは、到底立つて行けないと云ふところにある。故に現在における日本の經濟的難境を眞に打開せんとするには、新領土、屬領地、租借地、委任統治地又は特殊地域等に向つて先づ我が經濟線を擴大し、是等の地域における生產資源を開發し、食糧及び工業原料を此の方面に求むる事にせねばならぬ。謂ゆる產業立國策は日本々國を中心として是等の地域を經濟的に聯結する事によつて始めて意義あるものと成るのである。日本々國には緊縮政策の必要があるかも知れないが、此の方面の事業には飽くまで積極的進取政策を執るべきであつて、然らざれば謂ふところの財政經濟の立直しも結局は不可能となるであらう。

◇

經濟難の一原因たる輸入超過と正貨流出を防止するには、國民生活殊にブルジョア生活の自墮落より生ずる奢侈品の輸入を防ぐことも一策なるべく、そこに節約的緊縮政策の必要もあらうが、工業原料の多くを他國より輸入してゐる事、それを改めるのが第一の要務である。而して此事は日本々國における經濟資源の貧弱より發生する現象であるから、經濟難に直面せる現在の日本としては、海外への積極的進取政策を確立し、差當り先づ新領土、租借地、委任統治地、特殊地域、屬領地等への經濟的發展に努力し、この方面における拓殖事業を進める事にせねばならぬ。特殊地域たる滿蒙は租借地關東州と相俟つて此上に最も重要なる地位を占むるところで、滿蒙の經濟的開發が日本の生存上殊に重大なる意義を有するは此故である。

◇

滿蒙の經濟的開發は、資源開發を中心とする拓殖事業の振興に待たねばならず、それには又日本の生存又は繁榮に缺くべからざる權益を保持し、進んで土地商租、鐵道敷設その他の權益を活用せねばならぬ。然るにそれが今日に至るも何一つ實現されないのは、支那の反日熱と支那時局の眼まぐるしい變化に基づくとは云ひながら、吾等の常に遺憾とする所であるが、この間に在りて、今回滿洲を去りたる山本滿鐵總裁が滿鐵の事業を中心として積極的に種々の事業を考案し、實現し、又そのプランを樹てた事は、即ち國策上最も緊要なる事業の一端を擧げたものであつて、啻に吾等のみならず、在滿邦人の皆等しく多とする所であらうと思ふ。

◇

或る程度まで消極的緊縮政策の要を認むるとしても、現在における日本の經濟的難境なるものは、人口增加、食糧不足、本國の資源貧弱より生ずる工業原料の缺乏といふ處に胚胎してゐるから、先づ之を打破し改善することが經濟難救治の第一義である。それには海外への積極的進取政策を確立し、資源開發を中心とする滿蒙方面の拓殖事業に對しては、如何なる難關もこれを突破してその實現に努むるといふ旺盛なる氣力を持たねばならぬ。緊縮政策に沒頭して與國の元氣と進取の意氣を阻喪するが如きは、邦家の爲め、吾等の取らざる所である。

各國別々に嚴重な抗議的警告を發す

東部沿線停滯の貨車處置に就き東支鐵道に對して

【哈爾賓】目下問題となつてゐる東支東部沿線に停滯中の特產商の貨車の處置に關しては初め各國領事から東支鐵道當局に對し共同的警告を發する筈であつたが、その後各種の事情を研究した結果各國の特產商の利害が互ひに相異つてゐて一致の行動をとり難いことが解つたので、協議の上各國ともそれぞれ單獨的行動に出で各別に嚴重なる抗議的警告を發することになつたと

滿鳥兩鐵道の數量協定は存續

滿鐵に破棄の意志なし

【哈爾賓】滿鳥兩鐵道數量協定は本春協定を終つたのみで調節費制定の實行に入らんとする矢先今回の時局が勃發し、ポクラ國境が閉鎖され東行貨物の輸送が全然不能に陥つたのみならずその回復期さへ今のところ全く豫想がつかない狀態なので、協定の存續如何につき疑惑をもつてゐるものがあるが、右につき當地滿鐵事務所運輸課では次の如き意見である

滿鳥兩鐵道新協定には東南何れか一方の經路が不可抗力のため遮斷され十日以上繼續して貨物の輸送が不可能となつた場合は右十日以上の兩路貨物數量は計算數量に入れないことが規定してあるのみで、事故によつて協約を廢棄するなどのことは別に定めてないから當然協定は存續するものであつて規定により事件發生當日から十日を經過した二十四日以後の輸送數量は兩路とも計算に入れないこととなるものであるといふ

浦鹽の支那領事

海路上海へ

【哈爾賓】露國側の態度が强硬のため一時出境を氣遣はれてゐた浦鹽支那領事は二十四日伏木丸で海路上海に向ひ、又莫斯科の支那代表夏維松氏は芬蘭經由出國多分伯林に向ふべしと、尚極東露領のうちハバロフスク及びブラゴエスチンスク支那領事の消息はいま尚不明である

對露軍事費八百萬元を計上

後方總司令として張作相氏近く赴哈

【吉林】張學良總司令長官赴京後の留守を預かり奉天に滯在中であつた吉林副司令張作相氏は、二十四日朝長長着同地に待ち合せた哈爾賓蘇聯總領事メリニコフ氏と約二時間に亘り東支列車內に於て密談を遂げたる上吉長臨時列車にて午後十二時五十分吉林驛に到着し、張作相氏は中山服を着し頗る身輕の服裝で下車した驛頭には省政府委員等を首め各機關團體の首腦者多數が出迎へた外驛より副司令部間の沿道には例に依り軍隊警察を堵列せしめて水も洩らさぬ警戒振りであつた、張作相氏は副司令部に落着くや文武大官等の挨拶を受け引續き對露問題に就き秘密會議を行つたが、仄聞する所に依れば張作相氏は奉天に於て張學良氏と協議の結果、今回の對露臨時軍事費として現大洋八百萬元を計上したること及該臨時費負擔辦法は奉天三百萬元吉林二百萬元、黑龍江百五十萬元東省特別區五十萬元其他南京政府より百萬元の補助を受くることに決定したと報告した由である、因に張作相氏の後方總司令として哈爾賓に出動するのは數日後になるであらうと司令部幕僚等は語つてゐた

吉林大洋の維持訓令

省政府から

【吉林】吉林省政府は永衡官銀號の申請に依り管內各縣知事及吉林財政廳宛吉林大洋券維持に關する訓令を發した其大意は

吉林大洋券は本省の本位貨幣にして稅捐の收入及軍政各費支出は悉く本券を以て標準として居る、故に近年來極力之れが維持に努めた結果現下其價格は哈爾賓大洋を超越し頗る人民の信用を得て居る、然るに最近錢莊等にして其取引に當り吉林大洋を市價以下に計算するものある爲め信用上に非常な影響を及ぼすに至つた、故に各縣長は同地方商會と協力して斯る奸商の取締りを勵行し若し公平なる市價に依らずして取引を協し市價を動搖せしむる者は嚴罰に處すべし

歐亞の連絡は絕へては居ない

歐洲向の郵便物は日本經由が便利だ

【哈爾賓】七月十七日滿洲里驛における客車連絡杜絕以來露國々有鐵道は齊多、カルイムスカヤー、哈府、ニコリスク、浦鹽の線に滿洲里經由と同一回數の客車を運轉して居る、而して浦鹽敦賀間の汽船は從來通り運航して居るから歐亞の連絡は事實上斷えては居らぬのである、で支那（滿蒙を含む）歐羅巴間の郵便物は日本經由浦鹽巡りとすれば、米國經由となすに比し約半分の日數で屆くのである此の方法は最近漸く當市商民の知る處となり、日本經由で差立てる者が激增して來た

勞農露人引揚

滿洲里へ向ふ

【哈爾賓】ポクラニーチナヤから當地へ引揚て來た東支鐵道從業員をも含む同地勞農國籍露國人の一部百三十七名は、廿四日十八時三十五分發列車で滿洲里へ引揚た

支那軍の防禦工事

海拉爾にて

【哈爾賓】七月廿三日發海拉爾よりの報によれば同地には本月十六日以來哈爾賓方面より到着の支那兵約二個旅に及び二十一日より附屬地周圍に塹壕の掘鑿を始め尚工事中である、同地東鐵驛では如何なる理由に基くかを示さずして廿一日以來南行乘車券の發賣を禁止したので在住邦人五十九名鮮人五十四名は萬一の場合引揚不能となつたので協議の結果必要の場合は要地二ケ所に立て籠つて東方よりの來援を俟つことゝなつたと

義倉の粟

廉價で販賣

【間島】延吉縣政府にては管下各地に於ける貧民を救濟すべく過般吉林省政府よりの救濟款を配給した外、此の程更に縣義倉の粟を一石につき四千五百吊の廉價で賣り出したので食糧缺乏の貧民は大悅びである

產婆資格の共通法規制定

關東州產婆試驗に合格した者は滿洲に於ては其資格を認められてゐるが日本內地及び朝鮮其他に於て

國民政府の對外宣言（下）

露國の對支國交斷絕に對し十九日發表したる

ソウエート、ロシアはたゞにこの鐵道機關の人員およびその收入を以て共產主義の宣傳をなせるのみならず支那國內の反革命勢力を援助して支那政府の顚覆を謀れるがこれ協定元來の全部的精神に背反し、國際信義に違反せる非法行動である。支那政府はソウエート、ロシア政府が鐵道機關およびその領事館を利用し暗殺をはかり內亂を煽動し、破壞軍組織の證據および事實を出したるを以て支那政府が該鐵道に對してなしたる斷然たる處置は內亂防止の正當防衞的行爲である。茲に哈爾賓ロシア領事館に押收せる證據を世界各友邦に公示して眞相是非を明かにし、國際交通の破壞、協定精神の違反、および支那攪亂の野心を暴露せしめるしかし支那は平和的解決に努力することを知るのみで、殊に世界の平和は支那政府及び人民の宿願であるが故に自衞範圍內に於て不戰條約の精神を貫徹すべく全力を以てするであらう。しかし自衞權は確保しなければならぬが故にもしソウエート、ロシアが敢然我が自衞權を侵さば、平和破壞の責任はソウエート、ロシアにあつて支那にはない。支那政府および人民は各友邦政府および人民に支那政府がしばしばソウエート、ロシア側にて支那國內に於ける共產宣傳、內亂煽動の事實を發見せること、および今回發表せるソウエート、ロシア側の陰謀たる統一破壞、暗殺計畫、秘密軍組織東支鐵道課取等の各種文書證據に注意せんことを望む。支那政府は更に聲明する。露支兩國の交通關係は露支鐵道たるのみでなくソウエート、ロシア政府は露支鐵道交通を斷絕せる以上當然國際交通破壞の全責任を負ふべきであることを。

ラヂオ露語講座

大連放送局七月廿九日午後七時半

講師大連語學校グロースマン

ЧЕТЫРНАДЦАТЫЙ УРОКЪ.

А.—Скажите пожалуйста, будете ли вы свободны въ это воскресеніе.

Б.—Сейчасъ я хорошо не знаю, можетъ быть, буду свободенъ.

А.—Если вы будете свободны въ это воскресеніе, то приходите ко мнѣ.

Б.—Спасибо, если я буду свободенъ въ это воскресеніе, то непремѣнно приду.

А.—Скажите пожалуйста, гдѣ здѣсь находится почтовая контора.

Б.—Почтовая контора находится здѣсь на камбу улицѣ.

А.—Скажите пожалуйста, есть ли въ дайренѣ хорошая гостиница.

Б.—Да, есть.

А.—Скажите пожалуйста, а какъ она называется.

Б.—Она Называется ямато отель.

А.—Скажите пожалуйста, гдѣ она находится.

Б.—Она находится на большой площади.

А.—Скажите пожалуйста, это далеко отсюда.

Б.—Нѣтъ, не очень.

第拾四課

А.—何ウゾ言ツテ下サイ、貴方ハ今度ノ日曜日ニ　オ暇ガ　アリマスカ？

Б.—只今　ヨクワカリマセン　多分　暇デセウ。

А.—若シモ　今度ノ日曜日　オ暇デシタラ　私方ヘオ出掛ケ下サイ。

Б.—有難ウ、若シモ私今度ノ日曜日　暇デシタラ　屹度參リマス。

А.—何ウゾ言ツテ下サイ、此處ハ　何處ニ郵便局ガ　アリマスカ？

Б.—此處ハ　郵便局ハ　監部通ニ　アリマス。

А.—何ウゾ言ツテ下サイ、大連ニ良イ　旅館ガアリマスカ？

Б.—ハイ、アリマス。

А.—何ウゾ言ツテ下サイ、ソレハ何ト名ヅケラレマスカ？

Б.—ソレハ　ヤマトホテル　ト　呼バレマス。

А.—何ウゾ言ツテ下サイ、ソレハ　何處ニ在リマスカ？

Б.—ソレハ　大廣場ニ在リマス。

А.—何ウゾ言ツテ下サイ、ソレハ　此處カラ遠イデスカ？

Б.—イヽエ、タイシテ（遠クナイ）

錢鈔

◇定期後場（單位錢）　期近　寄付　九二〇　高値　九二〇　安値　九二五　大引　九二〇　出來高　期近　五十七萬圓

◇現物後場（單位錢）　寄付　九二五　銀對金　三二〇五　銀對洋　一三三〇　金對洋　二時半　九二〇　三二一〇　一三一五　三時　不申　出來高　銀對金　四千圓　銀對洋　三千圓

商品　後場（出來不申）

滿日地方版

十月中旬頃までには竣成の豫定であると

鞍山

世界的療養所 泥湯の建設近し
十數萬圓の入札工事で 十月中旬に竣工の豫定

鞍山地方事務所長及び滿鐵醫院長塚本良顧氏の計畫した湯崗子溫泉の泥湯は愈二十五日附を以て認可され、廿三日中奉天地方事務所に於て工事の入札をなす事に決定した由であるが、該泥湯は婦人病、リョウマチス、神經病等に特効ありて外國人間には非常に喜ばれ現に湯崗子には英米人十家族、露西亞人二十家族が泥湯の療法を行つて居るが、滿鐵會社では泥湯の外に日光浴室、X光線室、電氣療法室、水療法室等を設け、更に將來は西洋人專用の大旅館を建設して入湯者の便宜を圖る由で、之れが實現の曉は世界的の療養場となるべく一般から期待されて居る 猶前記各室に備へ付けられる醫療器具其他の豫算は約二萬圓總ての工費は尠くも十數萬圓に上るべく

製鋼所建設運動 愈よ熾烈となる
實業協會より全滿各地 有力團體に後援を依賴

製鋼所建設に就き陳情の爲め上京中の實業協會長加藤政人氏より二十六日朝

滿洲全體に遊說し徹底的運動を進められたし

との入電があつたので、實業協會では午後一時から役員を招集して緊急會議を開き種々協議の結果、取敢ず全滿各地の商工會議所及實業會並に市民會に左の如き應援電の發信方を依賴した

鞍山に製鋼所建設の實現を期して上京陳情中に就き貴方よりも關係各省に對し應援電の御發信を乞ふ

然して大勢は全滿的に運動を開始する氣運に傾いて來たが之れが實行方法に就ては更に二十七日夜實業會堂に於て經濟研究會及實業協會の聯合役員會を開催して協定する事となつた、猶お隣りの遼陽では本問題に對し後援すべく準備中であると言へば延いては之れが運動は全滿に波及するものと觀測されて居る

加藤會長 拓相訪問 二十七日に

上京中の加藤實業協會長より二十六日午後協會事務所に宛、本日梅野前滿鐵理事を訪問し二十七日拓務大臣松田氏と會見する旨の入電があつた

動物園行脚 （二）

春日さんが新築中であるために鹿君とターキー君のお使ひ――鹿とターキー君が昔の小舍に共同生活をしてゐる

◇

七面鳥がぱつと美しい羽根を擴げ胸に結んだネクタイの色を變へてトツト、トツトと小走に有情を盜る愛嬌振りも鹿君には其の好意が判らない

◇

吉林の山奧から連れてこられて金網の中に生活してから全く野性味はとれて人馴しさうに寄り添ふて來る

七面鳥と共同生活はしてゐるが鹿は豆腐からが一日二升宛分配され、七面鳥君は雜穀一合五勺の外に生葱が二、三本支給されるので自ら食糧分配の爭ひは決して起らない

◇

青葉の蔭で悠くり休んでゐると無遠慮なターキー君がサツト例の羽根を擴げて蔽ひかゝつて來ていたづらをするが近頃は其れにも馴れて鹿は圓い眼をして眺めてゐる

◇

鹿は本年の四月大連の朱春山が寄贈して來たものであつた

鐵嶺

關東廳の補助金 千圓に半減さる
鐵嶺商工會議所面喰ふ

鐵嶺商工會議所では本年四月豫算編成に方り例年の如く關東廳に對し金二千圓の補助金を申請したが毎年の例となつてゐる爲め今年も當然補助を受け得るものと信じ豫算を編成したところ、關東廳からは容易に認可の回答來らず懸念されてゐたところ、今回の政變に遭ひ而も緊縮政策の濱口內閣のこととて補助金問題は非常に注目されてゐたが、二十五日關東廳より本年の補助金は金一千圓に半減する旨通知あり、會議所では此回答に接して面喰ひ急に豫算の編成を變更せねばならない事になつた

抑留の露人は 普通の避難民
旅費を與へ放つ

鐵嶺に避難せる八名の露人を公安局で抑留し嚴重取調べ中なることは既報せるところであるが、取調べの結果右露人は時局と何等の關係なく全くの避難民たる事明かとなり支那側では一人につき旅費として奉票六十元宛を與へ管外に追放した

無心した男に 意見され殺す
元警務處長の子

元奉天全省警務處長たりし于濟川氏の息于某は久しく失職流浪し鐵嶺城內に居たが、去る十七日妻の父王喜春（五〇）方に至り百圓の無心を吹かけたところ、反對に意見され僅か八元を與へられたのに憤慨し、鋭利な小刀を揮つて王の下腹部に突刺し左右一センチ五、深さ四センチの重傷を負はせて逃走し被害者は即時滿鐵醫院に入院したが非常に昂奮して經過捗々しからず、二十四日奉天の松井博士に就き腹手術を受けたるも二十五日遂に死亡した

支那官吏綱紀 肅正訓令內容

遼寧省民政廳長陳文學氏は去る二十二日鐵嶺縣長に對し支那官吏の綱紀肅正に就き訓令を與へたが其內容は

從來支那官吏は地方行政の實務に精勵するより私財を蓄ふる事にのみ汲々とし、任地に於て土地や建物を購入し或は地方有力者と姻戚關係を結んで不正の財を貪り、甚だしきは公金を流用して商工業の資金を爲すなど綱紀の廢頽著しく憂慮すべき傾向あるを以て、今後は官吏は須らく廉潔に公務重責に精勵し私財を蓄へ不正の財を貪る事を固く禁ずべしといふにある

教育局長は 試驗合格者を任命

支那側各縣教育局長は從來選擧によつて當選したる者が任命されてゐたが、遼寧省教育廳では當選せる者と雖も果して局長たるの資格あるや否や不明なれば試驗を施行して合格せる者に限り任命する事とし、最近鐵嶺縣教育局長にも受驗すべき旨通達があつた

岩永區長 送別宴 二十八日鐵嶺 ホテルにて

長春機關區長に榮轉せる岩永唯一氏の離鐵は各方面から惜まれてゐるが、在鐵官民有志は今二十八日午後七時より鐵嶺ホテルに於て盛大な送別宴を開催すべく奔走中であるが、出席希望者は會費四圓多數の出席を望むと、因に岩永氏は來る三十日頃事務引繼の爲め赴長すると

今日の案內（廿八日）

◇領事館射場の大弓會 午後二時より領事館構內矢場に於て競射會を催ふすと、會費五十錢賞品澤山、同好者多數の參加を歡迎する由

荒狂ふ狂人 進行列車より 飛降り負傷す

二十五日十三時十分頃下り第十七列車が滿井驛を發車し同驛上り構內信號と遠方信號との中間に至る頃、支那人三等乘客が飛降りたるを以て列車は不時停車をなしたが該支那人は原籍山東省濟南府王孩兒（三二）と稱する狂人にして林殿張（三〇）陰成名（三〇）の兩人付添ひ天津から奉天を經て哈爾賓の叔父の許へ行く途中、頭部を以て列車の窓硝子を破壞し飛び降りたるものなりと同人は頭部に三ケ所右手首脫臼其の他後頭部顏面に數ケ所の擦過傷を負ひたるを以て、折柄巡回中の長島衛生婦の手當を受け保護の上附添人にも注意し下り第二十一列車に乘車北行せしめたと

高粱繁茂して 馬賊團出沒す
砲子溝部落に 十數名現はる

二十五日午後三時頃滿井驛を距る

開原

昌圖河護岸の 決潰箇所を調査
水流變り附屬地を洗ふ

昌圖河增水堤防缺壞氾濫附屬地の被害に就ては已報した通りであるが、其後龜裂決潰の爲め水流變更し附屬地內を洗水しつゝあるを以て護岸築堤の研究中であつたが、川崎所長始め關係者は二十五日同地の實地調査をなしたと

西南方五支里の地點昌圖縣砲子溝部落に各自長銃及拳銃を所持せる十四五名連の馬賊團現れ、同部落民に對し食事を強要したる上其附近高粱畑中へ潛入したと

鐵開四公陸上 競技打合會

鐵開四公陸上競技會は來る八月二十五日公主嶺に於て開催の事に決せるが、當地運動關係者は二十七日午後四時地方事務所に於て協議打合せをなした

軍草調査命令

奉天糧秣廠長は開原公安局長宛二十二日附支那軍隊の北滿出動準備の爲め、開原縣下に於ける軍草（粟殼）の現在高の調査方を命じ同時に徵發し得る數量の評細なる調査報告方を命じ來たと

旅順スケッチ （五） 河野青陶
黃金臺プール

林間步道を拔けて黃海へ步きつまる處が避暑地で海水浴場になつてゐる、

避暑地に散見する山莊の赤屋根、渚に碎くる碧海の總、外人の子供連れ多く見えナースメイド（子守）の支那人の流暢な英語が一際耳だつ、白と黃色の潑剌とした肌が青い夏水をもてあそんでゐる、名畫に踊る人魚にも似て

京城

女工大擧して 工場を襲ふ
散々に荒しまはる 工賃値下げに憤慨

釜山のゴム靴製造工場日榮、大和の鮮人女工約二百名は工賃の値下から遂に廿日一齊同盟休業を行つたが、渡邊工場で約五十名の女工が就業したのを憤慨した女工連は廿四日午後十一時頃大擧して同工場に押しかけ門を破壞して侵入、窓硝子その他を滅茶々々に暴行を演じ居合せた女工金英俊の母親尹某を袋叩きにした騷ぎに釜山署から警官出張、主謀者六名を檢束取調べ中であるが裏面に策謀者があるらしいと

幼兒二名 漢江で溺死

府內高陽郡纛島面同里六一四延命達二女點玉（八）は廿四日午後三時頃同里六一〇延春實二男謙男（七）と漢江で水遊び中、謙男が深みに陷れかゝつたのを救けんと飛込んだが自分も共に流れ苦悶中を村民が發見救助したが卅分後に兩名とも死亡した、屆出により東大門署員出張檢視の上死體は父親に引渡した

山崩れて 四名壓死
多數家屋浸水 豪雨にて

廿三日午後六時頃平安南道寧遠郡永…里に豪雨のため山崩れがあり四名壓死を遂げた、尙廿四日午前一時頃平壤の普通江增水のため同江岸の家屋四十五戶浸水し平壤大同兩警察署で罹災民の救護方を講じてゐる、道內各地に相當被害ある見込であると

海底電信復舊

元山、松江間の海底無線電信は元山鬱陵島間に於て故障を生じ去る六月十九日以來不通だつたが、遞信省修理船小笠原丸が修理に當り廿四日午後十時から復舊、通信を開始した

府內雜信

▲府內竹添町二ノ七エッチモリス自家用自動車は廿四日午後八時過ぎ府內昌信洞四八三番地先で市外高陽郡纛島面上往十里林桂鎔を轢き倒し負傷させて逸走し主人運轉手共に元山に逃避旅行と出かけた譯…處罰される筈▲府內孝子洞六六…鐵植は廿四日午後五時頃苛性曹達入の餅を食して自殺を圖り家人が發見生命は取止めた原因は過般夫に死別したのを悲觀▲廿五日午前八時五十分京城發普通列車と同時にホームに飛下りた鮮人老婆が線路上に墜落兩足節を轢斷されて人事不省生命には別狀ない見込元山に行く娘を見送りに來てこの危難に遇つた府內中學洞鐵斗和（五五）▲京城府學校評議會委員會は二十四日終了引續き二十六日午後二時から本會議開會の筈

朝鮮米に 外米混入 事實はない

朝鮮米に外米或は臺灣米が混入して移出されるとは從來屢々耳にするが、鮮米の聲價を傷くること尠少ならざるに鑑み總督府殖產局三井技師は廿五日左の如く辯明した

移出鮮米に混入されるものは臺灣米支那米及び內地旱年度米だが、これが混入防止法としては各地稅關と聯絡を密にし、且つ米穀檢查規則によつて鮮米以外の輸移出入米は全部所轄檢查所に屆出づること、そして鮮米同樣の包裝使用を許可した場合は檢查所で臺灣米には臺（內色赤）支那米には支（內色赤）の記號を押捺しその移動については仕出地、仕向地の檢查所が聯絡をとつて處分狀況を監視する等充分注意を拂つてゐるから、傳へらるゝ如き外米混入の事實は全然無い

釜山の チブス 近く終熄か

釜山全府民をして陸地獄の脅威に戰慄せしめた腸チブスは茲數日來漸く下火となり、廿四日は新患者十二名と激減したので遠からず終熄するものと當局では安堵の胸を撫下してゐる、因に七月一日以降の罹病者累計は二百七十一名である

寺內壽一中將 繃帶姿で出勤

陸軍中將に進級して獨立守備隊司令官に補せられた朝鮮軍參謀長の寺內壽一少將は、今次の陸軍大異動でも目立つた榮轉振りである、月初の自動車顚覆でうけた負傷のため漢江通りの官舍で手當中だつたが、往訪の記者に對し副官が代つて

參謀長はまだ腕の繃帶も除れず今朝も醫師の勸告を排して出勤されたやうな譯で、和服姿でもあるから失禮するとのことです御榮轉の件は「新聞辭令だよ、公報の來ない以上は自分からは何ともいへない」と我々にも話してゐられるのです

と頗る要領を得させないで「いづれ機會がありましたら」を二回も繰返すところ味な副官應對振である

營口

課稅反對のため 車夫の罷業斷行
警察に諭されて復業せしも 値下運動は續行されん

今回滿鐵が附屬地人力車に一臺につき一ケ月七十錢を徵收することゝなりたるに對し營口驛待合人力車夫は値下要求の手段として二十五日一齊に罷業を斷行したので、警察署では右車夫に對し種々其不心得を說き復業せしめたが値下については代表者を選び滿鐵に陳情する筈であると

四十名の馬賊團 田莊臺に現はる
富豪を襲ひ二名を拉去 巡警七十名急派されん

田莊臺居住富豪張鴻柏方に二十五日夜約四十名の馬賊團闖入し同家の長男及外一名を人質として拉去し何れにか跡をくらました、營口縣公安局では直に巡警七十名を急派し討伐することゝした

永尾所長榮轉 後任は關本氏

營口地方事務所長永尾龍造氏は奉天公所勤務に榮轉し後任は地方課勤務の關本庄松氏に內定したる由

哈爾賓

齋處長辭職

東北海軍司令部駐警公處副處長齋兆霖氏は今回辭職の上青島へ向け出發、後任は未定である

復舊した 國際列車の運轉
歐露に向ふ日露乘客

露支國境封鎖のため歐亞連絡國際列車の運轉が休止されてゐるので多數の歐洲行き旅客が當地で立往生を餘儀なくされてゐたところ、各國領事の交涉により東支は二十五日午後六時三十五分發列車を西伯利亞鐵道に連絡することにしたが、同列車で歐洲へ向ふ日本人は十二名でその氏名は次の通りである

木村次郎、藤本寅之助、茅屋軍三、宮內義則、宮下惣助、佐々木好彥、中島海助、伊丹直三、菊地八穗、渡邊求、渡邊敏雄、加藤正茂

尙同列車には前記日本人乘客の外メリニコフ勞農總領事及びチルキン東支副理事長及び露國側乘客二十二名の豫定

り乘客の便宜を計ることになつた尙滿洲里における連絡の模樣は判然としないが、多分同地にある筈の三等車三輛をもつて臨時列車を仕立て露領最初の驛まで運轉するのだらうと

宇佐美氏一行

廿五日浦鹽よりの電話によれば宇佐美滿鐵道部長の一行七名は廿五日浦鹽着同日同港發の伊太利汽船に乘込み大連に直行したと、因に浦港大連間は約四晝夜を要すと

滿洲里における連絡

西伯利線と連絡することになつた二十五日午後六時三十五分當地發列車出迎への爲滿洲里東支商業部旅客係レベデフ氏は、當地まで出向ひて來たが當地からも商業部ツリンスコフスキー氏が同乘見送である

時局對策の 重要協議
商議に於て

當地商工會議所では誇大された時局の不安のため邦商一般が有形無形の尠からざる損害を受け、斯くの如き狀態をこのまゝ放置せんか或は再び起つ能はざる致命的打擊を受くやも計り難いので、二十六日同會議所において商事、理財、交通各部門の聯合部門會議を開き時局對策に關する重要會議を開くことになつた

ヅナイコ氏 縊死未遂は虛說

東支鐵道總譯課日語通譯ネヅナイコ氏が精神に異狀を呈し縊死を企てたといふ市中の取沙汰は全く事實無根であつて、氏と私交上含む所ある某々露人が故意に市中に云ひ觸らしたもので、ネ氏は目下稍重い胃病で新市街商射街の自宅に療養中で勿論生命に異狀無く前記の流言には頗る迷惑を感じてゐる由である

安東

激減した——安東驛扱の貨物

過去半ヶ年間統計

本年一月から六月まで半ヶ年間に於ける安東驛の業績は左記表の通りで

▲旅客　乘車十一萬六千九百五十四人、降車八萬千八百四十一人計十九萬八千七百九十五人

▲小荷物　發送四萬千百八個（三百十七萬七千斤）到着一萬七千五百五十四個（六十九萬斤）

▲貨物　朝鮮及內地へ九萬八千八百八十二噸、滿洲奧地へ六萬四千八百十五噸（以上發送）內地及び朝鮮より二萬三千四百二十六噸、滿洲奧地より五萬三千五百七十四噸（以上到着）

で之を前年同期に較ぶれば乘客は六百十八人の增、降客は五千九百四十四人の減少荷物は發送で一萬百九十一個の增、到着で百六個の減となりさしたる相違もないが、貨物では鮮米豐作に依り粟の輸出減と關稅引上に依る木材減 豆粕減の爲め內地及朝鮮仕向け四萬一千五百四十噸の激減及び同樣の原因で奧地よりの到着量に於て二萬六千二百三十九噸の大減少を來し、ひとり奧地向け貨物のみは木材の逐行で約一萬四千五百噸方の增加を示したが、一般に同驛に於ける貨物數量は前記の通りで頗る減少してゐる尚之を月別に示せば

	乘客	降客	計
一月	一六、九八八	一一、七〇二	二八、六九〇
二月	一五、八七九	九、三九六	二五、二七五
三月	二〇、六三〇	一四、二一六	三四、八四六
四月	二三、二三二	一四、五七六	三七、七〇八
五月	二三、五五一	一九、七七一	四三、三二二
六月	一八、六七四	一二、一八〇	三〇、八五四

▲發送

	內地朝鮮	奧地
一月	一〇、〇六六	一一、七七一
二月	一三、二八〇	一〇、九三八
三月	一六、六五二	一八、五一八
四月	一七、八五六	一一、一七一
五月	一六、二一五	二六、四九四
六月	二〇、二三一	二六、三三七

▲到着

	內地朝鮮	奧地
一月	一〇、二三四	一二、七六四
二月	五、六五一	一四、七六一
三月	六、二三〇	一六、〇三〇
四月	九、一九八	一八、四九九
五月	八、九二六	一七、三四八
六月	六、七五六	一三、九三五

興行師の血塗れ騷ぎ

示談で解決

當地南地座にて開演中の大津お萬一行太夫元古賀新太郎（五三）は、本月二十四日午前一時頃開演後同座入口にて招待券に關して森山榮之助及びお茶子と雜談中、言葉の行違ひより傍觀し居たる三番通六丁目四番地興行師米田石太郎（五一）に突然小刀にて斬り掛り、同人の左眉弓部に長さ約一寸深さ約六分位の傷を負はせ其の儘逃走した、被害者は早速成田病院にて應急手當を施したが全癒迄に二週間位の見込である、當局に於ては興行師森山榮之助及び關係者一同に古賀の搜査を命じたが、森山は同じ興行師同志の事であるから示談にしたいと申立により解決し目下關係者一同協議中

日本を差置き米佛が調停は出來ぬ

露支問題に關して　植原代議士安東で語る

【安義】露支問題に關する政友會視察員前外務參與官代議士植原悅次郎氏は二十四日朝過安ハルビンへ急行したが車中往訪の記者に對し左の如く語る

露支兩國の關係は依然ゴタ〳〵してゐるが將來に及ぼす影響について考へてゐる者は少ないやうだ、支那が條約を無視し赤化宣傳を口實として東鐵の回收を企てたことに對する勞農の武力對抗が効を奏するか否かは別問題として日本の利害得失はかなり重大だと思ふ、さりとて日本が今どうかうするわけには行くまい、第一此事件の發端の眞相すら判然してゐまいと思ふ、第三國として此事件に利害關係の多いのは何と言つても日本でアメリカなどは殆ど何等の利害關係は持つてゐない筈だ、フランスは東鐵建設に至大の關係があるから假令帝政時代の事であつたとしても發言權ありと信じてゐるだらう、だが此事件の

解決に

對して日本を差置いて米佛が關係するとか調停するなどゝいふ立場に立つことは出來まい、日本としては單に滿洲に於ける權利利益に影響を及ぼすのみならず極東の和平に甚大なる影響を來すのであるから拱手傍觀は許さぬ處だが、何分事件の眞相も成行も判然しない狀態だから和平解決に斡旋するやうなことは今の場合出來ないと思ふ、只日本の權益の問題のみならず滿洲里、チ、ハルにせよ又はポクラニチナヤに在留邦人がゐるのであるから是等に對しては相當考慮して最善の處置を執るべきであらう

新義州海運界

夏枯時期に入る

新義州港の海運界も愈夏枯閑散期に入り積荷の著しき減少に伴つて出入の船舶も少くなつてきたが、本月に入つてよりは入港汽船は大阪商船二隻朝鮮郵船六隻（目下二隻碇泊中）である積荷も平均三百噸で五六月の殷盛期に比し其の半にも達しない船腹過剩の狀態である、入荷品は雜貨類、出荷品は穀類就中大豆の積出が多い、本月は大豆の積出は相當活況を豫想されたが新內閣緊縮方針の影響と言はれる穀類の暴落を演じ、爲めに相場の日和見加減で手控筋が多いので內地仕向を著しく減少せしめたといふ、今後海運界も八月一杯は閑散狀態を持續し九月頃からは多少の活況を見るべしと豫想されてゐる

征途に上る

新義州商業選手

大朝主催全國中等學校野球朝鮮豫選に出場する新義州商業野球選手一行十一名は江副教諭並に酒井コーチャーに引率され同校職員、同窓會員及同校生徒の見送りを受け優勝の榮を得んと勇ましく二十五日九時三分發列車で征途に上つた

出前持盜まる

自轉車ランプを

原籍平安北道龍川郡外上面松花洞住所不定無職玄利斗（二三）は四番通六丁目三番地西川病院前に置きゐたる自轉車ランプを二十四日午後九時頃窃取共謀者に手渡し共に逃走せんとするを、密行中の巡査に取押へられた右は五番通り七丁目二番地スズラン食堂使用人崔臨臣が西川病院に出前を持ち行き同病院前に自轉車を立掛けて居たのであると

巧な運貨詐欺

惡漢遂に逮捕

原籍山東省登州府蓬萊縣住所不定無職藤運躍（三一）は以前沙河鎭運送店泰東公司の店員なりし事より貨物取引に經驗あるを利用し、每日事務所に取引人の如く裝ひ出入し荷受證の到着其の他に依つて荷主の名前を知り、荷主に對し着荷の通知をなし店員其の他と僞り事務所に同行運賃を受け取り店員を外に待たせ置き事務所に入り他方面より逃走する方法で數回に亙り運賃詐欺をなし居りしが、本月二十三日支那街の萬興隆より同手段にて三圓八十錢の運賃詐取をなさんとせしを發見され、逮捕されたが餘罪多く目下取調べ中

商議に補助費

安東商工會議所では每年關東廳より調査費補助を下附されてゐたが本年度も三月提出した下附申請書に對し二十五日二千圓を下附された

不良少年少女

原籍平北宜川郡戰山面現在一番通六丁目三韓昌洙（一七）は警察官舍などの使歩きや掃除をして居たが、官舍で度々金錢等が紛失するので韓を取調べたる處、同人は平北義州郡光城面麻田洞現在市場通七丁目一番地金宋鐵（一四）と言ふ女と情交關係を結び彼女の歡心を買ふ爲め窃取せし金錢を以て活動寫眞に連れて行つたり品物を買つてやつた事を自白したので警察では兩人に懇々說諭の上双方の兩親に引渡した

機關區長更迭

安東機關區長中川正氏は今回鐵嶺機關區長を命ぜられ後任として鷄冠山機關區長近藤勘助氏就任の筈

誘拐者を捕ふ

原籍黃海道殷栗郡一道面九陽里八三二李元榮（五一）は同地牛山里四七居住の韓弼圭の二女昌善（一七）を本月十三日金五十圓を以て買取り、七月十九日來安昌善を酌婦にでも賣飛ばし一儲けせんと大和橋通四丁目金泉旅館に滯在し居りしが、二十三日安東署の刑事が臨檢の際曖昧なる點あるを以て懷中所持品を調べたる處韓の戶籍謄本及び昌善寶海書等を所持し居る以て本署に同行取調べたるに右の如き營利的誘拐者と判明尚引續き取調べ中である

パラチブス

熊本縣生れ現在新義州府內彌勒洞三七番地居住の椎葉芳利（三）は本月十六日に發病入院中二十三日パラチフスと診定され隔離された

嬰兒死體遺棄

安東縣堀割南通六丁目三番地下水溝下に二十五日朝生後七ケ月位の支那女兒死體が遺棄せられたるを巡警中の中央派出所坂田巡査が發見したが同地では二、三日前にも三番通月見橋下に同樣の事件があつてゐることゝて目下極力犯人の捜査中である

人事

▲國際通運安東支店には今回助役として仁科虎彥氏が着任し柿本氏の案內で二十五日關係方面を歷訪挨拶をなした

▲井關明大教授は二十日來安し廿八日迄商店協會員に對して例年通り講習をなし二十九日離安の筈

▲中山貞雄代議士は二十四日夜過安北行した

▲三井物產出張員首席池上常太郎氏は長春方面に旅行中の處二十三日歸安した

▲池田檢察官一行は二十五日夜發の列車にて歸旅した

國境一閃

支那街では最近排日の文字を認めた扇子を賣出したようだ、成程巧妙には出來てゐる但しもう打倒田中內閣でもあるまい▲日貨排斥だとて支那人の購買力に對して何等積極的の工夫をめぐらさぬような最初から因循な邦商にとつては大した問題ではなさそうだ▲とは言ふもの〻蠱に和源泰の問題もある折柄風潮とは言ひながら喜ぶべき現象でないことは事實▲安樂境の平和を亂すものに對する關係當局の俊敏なる警戒に期待するの情愈切なるものがある▲さあれ偸安をこれ事とするかに見える市民に對し一つの刺戟剤となるには尙物足らぬ感がないでもない

吉林

吉林大學の入學試驗

女子も多い

吉林大學の入學試驗は豫定の通り本科は法政專門學校豫科は吉林第一中學校に於て去る二十一日より引續き行はれてゐるが、其受驗者は豫科三百五十名本科百〇四名にして就中女子の受驗生は豫科三十二名本科六名であるが、採用數は本科百名豫科二百名であるから受驗者は非常に好都合であると云はれてゐる

松江蕩漾

▲借家する日人曰く家賃は五日に取りに來て呉れ、支那人家主曰く十日でも二十日でも差支なし、斯くして一日の朝から嚴重に取り立てに來る▲間島問題さへ解決すれば吉會鐵道を架けさせる、土地商租問題さへ解決すれば細目協定は追つてする、其の結果は如何なりしや▲對支外交は相手の表より裏を見る方が大切ではあるまいか

日曜ページ

櫓太鼓の音も勇しく 花形揃ひの大相撲
けふから電園下で晴天五日間

恒例の日本大相撲大連興行は協會直營の下に今廿八日より晴天五日間電氣遊園下に於て櫓太鼓の音も勇ましく土俵の上に肉彈相搏ち全市の好角家を熱狂せしめるが今年は花形揃ひとて各方面の總見の景氣も物凄いものがある殊に本社優勝旗爭奪の幕下力士個人決勝は必ず好角家の血を湧かすことであらう

今年の相撲は面白い、武藏山が來る、天龍、和歌島が來る…滿鮮巡業としては常陸、梅以來の好番組である、宮城、西の海の兩横綱を並べた去年は只それだけであつた、朝鮮といふ土地なじみとあの巨軀から未來を囑望されては居たもの〻白頭山はまだ故切の相撲の數へ入らない假令看板倒れの闕はあつても今年の巨人出羽ケ嶽は堂々天下の大關取である。

◇

總帥常の花横綱は得意の釣り出し寄切りは彌圓熟して未だく日の下開山の貫祿を失つてはゐない、江戸ツ子常陸岩と老巧大の里から、健強若葉に美男玉錦、得手を同じうする小兵の山錦と玉碇、東西三役のコントラストは本場所にも劣らない

◇

更に新進氣鋭、未來の横綱として天下の好角家が常梅對立時代再來の期待を投げかける東天龍西武藏山がともに入幕後初度の雄姿を見せることは何と言つても好角家には有難いことである、若し假りに出羽にして精進名實伴はしめることが出來たならその時こそ強豪太刀在りし日に比すべき三横綱の土俵入りに滿都の血は沸騰するであらうに

◇

櫓太鼓は朝霧を破つて轟く、熾烈三伏の土俵上に——けふから晴天五日——大相撲の肉彈戰は開始される。

東方

横綱 常の花寛市
出羽の海部屋
出生地備前岡山市上西川町
初土俵明治四十三年一月
體量三十貫餘
身長五尺九寸五分
入幕大正六年五月
得手釣出し寄切り

大關 常陸岩英太郎
出羽の海部屋
年齡三十歳
出生地日本橋蠣殼町
初土俵大正六年五月
入幕大正十二年五月
身長五尺七寸餘
體量三十三貫
得手左差寄切り

關脇 若葉山鐘
二十山部屋
出生地千葉縣譽田村
初土俵大正二年五月
入幕大正九年五月
身長五尺八寸
體量二十八貫五百
得手諸筈の押し

小結 玉碇佐太郎
出羽の海部屋
年齡二十九歳
出生地和歌山縣日方町
初土俵大正九年
入幕昭和三年三月
身長五尺五寸餘
體量二十六貫
得手双筈押切

前頭 新海幸藏
出羽の海部屋
出生地秋田縣新屋町
初土俵大正十年一月
入幕昭和二年五月
體量二十四貫
身長五尺八寸
得手右四つ足クセ

前頭 天龍三郎
出羽の海部屋
出生地靜岡縣濱名郡神久呂村
初土俵大正九年一月
入幕昭和三年五月
體量廿九貫
身長六尺二寸
年齡廿七歳
得手右四つ吊出し

前頭 常陸島朝吉
出羽の海部屋
出生地大阪市住吉區遠里小野町
初土俵大正三年五月
入幕大正十一年一月
體量二十六貫
身長五尺七寸五分
得手ヅブネリ足取

前頭 常陸嶽理市
出羽の海部屋
出生地廣島縣深安郡湯田村
初土俵大正六年五月
入幕大正十三年五月
身長五尺八寸
體重二十一貫五百
得手上突張双筈押

前頭 出羽嶽文次郎
出羽の海部屋
年齡二十七歳
出生地山形縣南村山郡中川村
初土俵大正七年五月
入幕大正十四年一月
身長六尺七寸
體量四十七貫
得手右差寄切り

西方

大關 大の里萬助
出羽の海部屋
出生地青森縣津輕郡藤崎
初土俵大正元年一月
入幕大正七年五月
身長五尺四寸
體量二十四貫
得手右四つ寄切り

關脇 玉錦三右衛門
二所關部屋
年齡二十六歳
出生地高知市下新地
初土俵大正九年五月
入幕大正十五年一月
身長五尺七寸五分
體量三十三貫
得手右差寄切

小結 山錦善治郎
出羽の海部屋
出生地大阪市西淀川區浦江町
初土俵大正六年五月
入幕大正十二年一月
身長五尺七寸
體量三十一貫
得手双筈押切

前頭 信夫山秀之助
出羽の海部屋
出生地福島縣伊達郡川俣町
初土俵大正九年五月
體量廿七貫餘
身長五尺八寸
年齡二十八歳
入幕昭和四年一月
得手右差寄切

前頭 和歌島三郎
出羽の海部屋
出生地和歌山縣日高郡丹生村
年齡二十四歳
初土俵大正十二年一月
體量二十八貫
身長五尺九寸
入幕昭和四年一月
得手左四つ上突張

前頭 武藏山武
出羽の海部屋
出生地神奈川縣橘樹郡
年齡廿一歳
初土俵大正十五年一月
身長六尺一寸五分
體量三十一貫
入幕昭和四年五月
得手右差寄切り

前頭 外ケ濱彌太郎
出羽の海部屋
出生地青森縣南津輕郡石川町
初土俵大正五年一月
入幕大正十三年五月
身長五尺七寸五分
體量二十四貫五百
得手右四つ寄切り

前頭 若常陸恒吉
出羽の海部屋
出生地島根縣鹿足郡青原村
初土俵大正四年一月
入幕大正十年一月
體量三十三貫
身長五尺七寸
得手右四つ寄切り

東方〔上から〕常の花、常陸岩、若葉山、玉碇、新海、天龍、常陸嶽
西方〔上から〕大の里、玉錦、山錦、信夫山、和歌島、武藏山、外ケ濱

幕下力士個人決勝の本社優勝旗

滿日漫畫
名人と勝負 大森弓麿

夏ワイシャツの洗濯の仕方
ヴオイル地や麻類

ヴオイル地や麻の夏のワイシヤツや洋服、或は絹麻等の洗濯法を記しませう。ヴオイル地のものは無地と色ものとで洗ひ方が違ひます。即ち無地ものを洗ふには良質のマルセール石鹸の冷液又は微溫湯に二三十分間浸しておいて餘り揉まない樣にして汚れを振り出してしまいます、ブラシを使用したり、絞つたりする事は禁物、汚れが落ちたなら淸水で振り出し、板の上にひろげて自然に水を切ります。色物は冷水三升に硼酸砂末をスープ匙二杯位を入れ、その中でざぶ〳〵と振つて汚れを拔きます

これも揉んだり擦つたりは禁物です、そしてその儘板の上で乾かします。麻の白地ものは先づ水で洗つて汚れを落し、マルセル石鹸を溶いてその中で煮ます、沸騰したなら鍋に蓋をした儘一時間位蒸して置きます、石鹸洗ひの後蒸洗ひにすると一層効果があります、そこで充分に水洗ひをし、金ベに粉の稀薄液に通して干ます、ほしたら霧吹きで一面に濕して掌でよくのばしキチンと疊んで綿ネルの樣な厚布に包み板で押しをして乾ます、絹麻も汚れがよく落ちますからマルセール石鹸液で餘り揉まずにふり出す位にして洗ひます、色物は冷たい液で洗はなければいけません、絞らずに乾かして乾いてから霧を吹いてアイロンで仕上るがよいのです

アイスクリームの保存方法

◇夏の日の來客に最も萬人向きで誰でも美味しく頂けるものはアイスクリームであります、アイスクリームには用ひる材料によつていろんな種類があります。即ちコーヒーを用ひたりチョコレートを用ひたり、果物を用ひたりされます

◇氷を碎くには碎氷器を用ひて桶の中で碎くのが一番手輕ですが又布に氷を包んで槌で叩いてもよく碎けます、鹽は多い程凍らせる力を增すものですが、多すぎると急に凍つて出來工合が惡くなりますから氷三、鹽一位の割合にします

◇碎きたての氷は角が立つて居り罐を傷ける事かありますから、碎いてから二三分經て角の溶けるのを待つて廻轉しなければなりません。そうしないと器械の生命に影響します

◇次に器械の新しいものは齒ブラシに石鹸をつけてよく洗つてから用ひなければいけません。使用後は罐、蓋、攪拌器を熱湯に浸し、桶をよく乾燥してから納ひます。使用には罐の受臺と廻轉器の齒車とに二、三滴油を差します、多すぎると罐にはいります

◇アイスクリームは澤山のお客の場合には餘分に拵へて保存して置きます、即ち氷の中の水を捨てゝ新に氷と鹽とを補ひ、上から毛布のやうなもので外氣に直接當らないやうに掩ひ、涼しい場所に置けば終日溶けません。

鮑の霜降山葵酢

▲材料——中鮑二個、山葵一本胡瓜二本、酢大匙二杯、鹽少々、醤油茶匙一杯、食鹽茶匙半分、味淋大匙一杯、味の素少々

▲拵へ方——鮑を殼から外し、鹽で揉む樣にして洗ひ、小口から薄くきり小さい笊に入れます、お鍋にお湯を煮立たせその中に鹽を少々入れて火からおろし、前の鮑を笊ごとお鍋の中に入れお箸でかきまはしまして後手早く引き上げ冷水の中に二三分間つけて引き上げます。胡瓜はへたの處を五六分切り棄て俎板の上にをいて鹽をふりかけ手のひらでころがして板摺りにしますそれを水で洗ひ小口から薄く丸打ちして布巾につゝみ絞りまして五つに分け鮑のそばに付け合はしわさび酢をかけますわさび酢は酢味醂醤油食鹽味の素をまぜ合せたものです

胡瓜のぬた

▲材料（五人前）——胡瓜（中）五本油揚三枚、白味噌三十匁、酢二勺、砂糖大匙一杯、鹽少々、うど一本、味の素少々

▲拵へ方——先づ胡瓜の皮をむき竪二つ切りにして蕊を取り捨て小口より薄くきざみ、濃き鹽水につけてをきます、次に油揚は之を竪二つに切り、小口より極く細かに切り、熱湯に投じさつと茹でゝ笊に取つて水氣をかたくしぼり、前の胡瓜もかたく水氣をしぼつておきます、別に擂鉢の中に味噌を入れ、よく擂りながら砂糖と味の素及酢をまぜ合せ、裏ごしになし程よく和へまして器にとります、千にきつたうどを淸水にさらし水氣を切つて此上に少々のせて供します

新進安東軍の力及ばず 凱歌は大商軍にあがる
スコア五對三の接戰を演ず
第三日の滿洲豫選

全國中等學校野球大會滿洲豫選第三日、からりと晴れ渡つた空、炎熱は燒くが樣に中央公園滿倶球場に照りつけてゐる。連日の猛練習にすつかり眞黒になつてしまつた、大連、安東兩校の選手が夫々得意のフリーバツテイングで輕くコツン〱と素晴らしく好いゴロを打つてゐる。安東軍は安東滿倶の選手大連商業は二宮教諭が一々細い注意を與へてゐる。一昨日の一戰によつて新進安東軍にも大分場馴れが現はれて來た。今日の此の快戰を見んものと九十數度の炎熱にもめげず熱心なファン達や兩校關係の人々が早くから續々と球場めがけて繰込んで來る、ファインプレー或は快打のある度毎に敵も味方も惜氣もなく萬雷の樣な拍手をあびせかける兩軍のシートノツクの始まる頃大連商業八百の健兒は校旗を先頭に堂々入場一壘側に陣を取る、戰機今は全く熟し殺氣既に場に滿つ。水も漏らさない綺麗なシートノツク、打つ、取る、投る、走馬燈の樣にクルクルとボールが廻る、ノツクもすんだ戰宣布告だ、時正に三時三十分球審伊藤、壘審竹中兩氏大連軍のベンチに二宮教諭馬場立教大學選手秘術を盡せば安東軍は滿倶吉本選手が得意の采配を振つてゐるプレーボール大連の先攻である

試合經過

▲一回　大商白石二ー三後四球谷口の三個失に走者二進因藤の犧打に白石三進谷口二進梅本四球に一死滿壘工藤三遊間に安打して二者生還其の返球を遊擊二壘に投じ其の失に梅本三壘工藤二壘に達す伊藤三振原田も三球に三振△安中内村三塁側に退き宮岡四球伊藤の中飛を梅本取らんとして落しランナー一二壘に據り續く中原右前に安打して滿壘然し鹽坂高目の球を振つて三振齋藤の右飛に安中の好機空しく去る（大二安零）

▲第二回　大商德永三振飯田も三球に三振し二死後白石四球に出で谷口の三個惡投に二進しダブルスチール成功せしが因藤三個にして安中の危機去る△安中藤本四球に出で二盜牛田三振此の時投手二壘に牽制球を高投し走者三壘に走りしが中堅手の好投に刺され吉塚の二個一壘右翼共トンネルして吉塚三進せしが内村三振して未だ得點せず（兩軍零）

▲第三回　大商梅本の三個野手高投して二壘を與へ工藤四球に出で再び重盜を試みて成功此の時伊藤スクイズプレーを試みて成功し梅本生還原田打者の時三壘の走者工藤スクイズプレーと誤信して本壘に走り原田は見送りて打たず工藤三壘に刺され原田左飛して大商一點を增す△安中宮岡投前伊東二個に二死となり中原遊擊に好打し梅本良く止めたるも投球低くして安打となりしが鹽坂の三個に殘壘（大一安零）

▲第四回　大商德永三個後飯田左翼に快打すれば野手スタートを誤り球は外野塀に達して本壘打となる續く白石赤遊擊に好打せしが野手飛上りて良く之を捕へ滿場拍手、谷口三壘左をゴロに拔き因藤も同じ處に安打して白石一擧三進、此の時因藤二壘を盜みて尚有望なりしが梅本遊個して走者殘壘△安中齋藤左前安打し藤本の投個に封殺牛田の遊個は藤本を封殺吉塚二遊間をゴロに拔き二死走者一二壘を占めしが内村の二個は吉塚を封殺す（大一安零）

▲第五回　大商工藤、三直野手逆に好捕し伊藤は中飛、原田の三個を一壘手落球して生かす原田二盜尚ほ三盜を試みしが成らず△安中宮岡二個内野安打に出で伊東も右前に安打中原三個して走者二三壘に據る時齋藤右翼線近くに三壘打して二走者生還、齋藤右飛藤本打者の時捕手逸球

▲第六回　大商德永左飛飯田中飛白石の三直野手失し二盜の時捕手の投球は二壘ガラ空のため中堅に達す時走者三進し中堅より三壘への投球を三壘手横に轉がす間に一擧本壘に入る谷口三振△安中（此の時大商因藤投手となる）牛田四球に出で吉塚の三個に封殺内村再び遊前に内野安打し好機を迎えしが二壘及一壘の走者共に投手牽制球にかゝりて夫々犬死をなす（大一安零）

▲第七回　因藤三個梅本は遊飛工藤二直して三々凡退す△安中宮岡三振後伊藤三個失に出で中原三振の時に二盜せしも鹽坂二個して空し（兩軍零）

▲第八回　大商伊藤釣球を振りて三振原田遊個德永三振し内村のスローカーブ奏功す△安中齋藤三個藤本カーブを見送りて三振し牛田は空振して三振す（兩軍零）

▲第九回　兩軍此處を最後と眦を決して立つ、大商鈴木（飯田に代る）の三個一壘手日光に妨げられて逃し鈴木二進し次いで三盜白石の遊個野手之を好投して鈴木を本壘に刺し白石は二盜を試みて死し二死となる、谷口二個に倒れ安中實に良く守る△安中代り攻む吉塚惜しくも惡球に手を出して三振内村は捕個に死して二死宮岡選球良くつとめしが遂に投個して空しく五對三にて安東善戰の末恨を呑む附戰五時四十五分

安中——村岡東原坂藤本出塚内宮伊中鹽齋藤牛吉 投遊捕二一右中三左

大商——白石谷口因藤梅本工藤伊藤原田德永飯 捕二投左遊 三右中一

秩父宮兩殿下 キャンプ御成

【東京二十七日發電】秩父宮殿下は來る三十日明治天皇宮中御例祭御參拜後即日妃殿下と御共に日光へ向はせられ四日間御滯在の上輕井澤に成らせられ更に八月九日山梨縣笛吹川キヤンピングへ成らせられるはずである

第二日試合記錄

全國中等學校優勝野球大會出場の滿洲豫選大會第一日の青島中學對奉天中學の試合記錄は左の如くである

（青中）

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
7 平野	5	0	0	0	0	1	0	0
8 三根	5	2	2	0	0	0	0	0
2 上木	3	2	1	0	0	0	2	0
1 小平	5	2	3	0	1	0	0	0
4 山本	5	0	1	0	0	1	0	0
6 岡崎	5	0	0	0	0	0	0	3
9 牧野	4	1	1	0	0	2	1	0
5 杉中	4	0	1	0	2	0	0	0
3 永美	3	0	1	1	1	1	0	1
計	39	7	10	1	4	5	3	4

（奉中）

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
8 針原	5	2	3	0	2	1	0	0
5 岡田	5	0	1	0	2	2	0	0
7 加茂	2	0	0	1	0	0	2	0
1 西村	2	0	0	0	0	1	1	1
1 長坂	2	0	0	0	0	1	0	1
2 布澤	3	0	1	1	0	1	0	0
3 松村	4	0	1	0	0	0	0	1
9 齋藤	4	1	0	0	2	0	0	0
4 城中	3	0	0	0	0	2	1	0
6 梅津	3	1	0	0	0	1	1	2
計	33	4	6	2	6	9	5	5

殘壘數　奉中九　青中九
三壘打　小平一　針原一
七回表奉中西村傷きて退き長坂投手となる

スタンドから

▲奉中遊擊手梅津君はこの日は餘り善鬪は出來なかつたが先日迄病を得て入院中の處此の試合には死んでも出ると病を押して敢然戰場に立つた其意氣を吾人は心から稱したい▲奉中は實に善戰した戰ひは最後まで息づまる樣な大接戰を演じさながら優勝戰の觀があつた、然し六回投手西村右指を痛めて遂に再び立たず精神的に受けた大きな致命傷は遂に同軍の敗因となつた▲然し敢て次の苦言を呈する、奉中西村投手は試合前のウオーミングアツプが不足ではなかつたらうか、一回目肩の調子の整はざる間に遂に不覺の三點を許し隨分試合を苦るしくした、此れと同じ言葉は長坂君にも言ふ事が出來る、然し二回以後西村がアウトコーナーを低目に攻めた作戰は良とする▲青島軍のバツテイングのフオームは決して好くはなかつたがあれだけに打ちこなせたのは實に不斷の練習の賜であらう、殆ど皆の人が左足を後に引いて打つてゐた快打者小平君にも此の弊がある▲奉天軍はショートヌキングにしかもバツトを短く持ち本當に良いフオームに攻めたが悲しい哉、打擊の第一要件である選球が拙く折角の武器を常に不利に葬つてしまつた、▲兩軍の殊勳者は青島軍では小平投手である彼の安打で四點を入れ自分自身二點を占めしかもあれだけの好投をした奉中軍は針原中堅手と西村投手である、針原は己の安打に二點を迎え自分自身では二點を占め同軍の得點の總てに關係し、しかも六回永美の中飛を取つた美技は、大學チームにも見られない程のプレーであつた▲青島小平投手が前半殆ど直球に攻めて後半漸く奉大が己の球に馴れて來てからカーブを適宜に交えて用ひ敵の打力を喰ひ止めた點は鋭いベンチの頭の働きを示してゐた、勝つた青中の力を褒めるは勿論の事不運に災され遂に敗れた奉中の爲に心からの讚辭を呈する

奉撫兩中學軍 廿六日離連

豫選大會における優勝候補として目されてゐた奉天中學は別項のごとく青島中學と善戰して惜敗したが捲土重來を期しつゝ二十六日二十二時發の列車で歸奉の途につき撫順中學は二十一時三十分發列車で離連した

京津方面の赤系露人引揚げ
日本經由歸國のため家族を纒めて來連す

勞農領事館員の引揚げは露支國交の惡化を物語るものとして一般より注目されてゐるが、廿七日早朝は東支鐵路北平代表イヤロフ氏夫妻、令息、同じく大使館員アベル氏夫妻アリノフ氏夫妻、北平總領事館員ロツク夫妻及令息令孃、並に張家口領事ミハイロフ夫妻外數名で何れも家財道具を取纒め倉皇として引揚げたもので一行等廿一名が同じく來連した、一行は長平丸にて勞農代理大使スピルバーナー氏一行入名が入港長平丸にて來連したは

本國

引揚の途來連したは廿七日午後入港の京丸にて殘餘の赤系ロシヤ人

家財

歸還

する豫定で之は本國よりの引揚げ命令に由本國に九日出帆のあめりか丸にて先着者一同と一緒になつてお話したくありません、時局の爲に遲れました、出帆したんですが本國のロフ張家口領事は語る「長平丸の一行と殆どして引揚げたもので一行はこゝの領事等と相談したのです自分等は何處へ知らないつもりです、今天津に居る數のロシヤ人がこの機會に白系露人が居る樣傳へられてゐますが警戒してゐます」一行は上陸と共に領事館へ入つた

本社優勝旗爭奪の 幕下力士決勝戰
けふから大相撲興行

本日より晴天五日間電氣遊園下の廣場に於て相撲協會直營の下に華々しく興行する横綱常の花以下日本大相撲一行は旅順興行を打ち上げ廿七日十九時五十五分大連驛着列車で來連しそれ〲宿屋に分宿したが、今回の滿鮮巡業は花形力士揃ひで非常な人氣を煽つてゐるだけに大相撲の人氣は恒例により幕下力士も多く本社優勝旗及び賞品を得て決勝戰を行ひ本社優勝旗を贈興するが、個人決勝の西幕下より各十六人づゝを選出する番外の個人決勝負で出場力士の意氣込みも物凄く好角家連の血を沸かしめる肉彈相搏つ白熱戰が連日演ぜられるので各方面から大いに期待されてゐる、尚本社優勝旗は五日間の個人勝成績の最も優秀なる

デ盃決勝戰
佛蘭西先づ二勝
コーシエにチルデン敗る

【巴里二十六日發電】佛米デ盃チヤレンジラウンドは本日から當地で擧行シングルス試合あり佛國コーシエの奮鬪物凄くチルデンは景氣なく敗れボロトラも一ポイントを取られたのみで二シングル試合とも佛國のものとなつた

ボロトラ（佛）　六—一、三—六、六—四、七—五　ロット（米）

コーシエ（佛）　六—三、六—一、六—二　チルデン（米）

戶外に飛び出す
箱根以東の列車延着
昨日の東京地方激震

【東京二十七日發電】今朝東京地方に襲來の地震は相當激震で折柄ラツシュアワーで電車、バス等は混雜中の事とて市民の狼狽も一入であつた、氣象臺では大時計が止まつた程で市內外の電信電話は宮內省線を除き他は殆ど故障を生じ鐵道は東海道線箱根以東で何れも二、三十分間の延着を見流石に地震には馴れ切つて居る東京市民も恐れをなし一齊に戶外に飛出した程であつた

中央ビル電氣會社のウインドウに陳列してある

震源地は神奈川縣下田名村

【横濱二十七日發電】神奈川縣高座郡田名村字久所地方では二十七日朝地震と共に高さ數十丈に及び沙塵物凄く立ち昇り住民は非常に恐慌し不安に襲はれてゐたが同村高橋より約百米突の上流の相模川中央に幅三尺長さ五十間に亙る地盤が地震と同時に隆起し河水遂に濁つたため同地が震源地と見られてゐる

アルプス大雷雨
登山者二百名氣遣る

【松本二十七日發電】北アルプス一帶は二十六日午後一時頃より大雷雨となり登山者は附近の小屋及び岩穴等に避難したが其の凄さは近年稀に見るものであつて目下登山中の者は二百名に達してゐるので或は遭難者を出しはせぬかと憂慮されてゐる

断のプロムリー中尉は天候思はしからぬので二十八、九兩日は出發出來ぬと語つた

槍ケ岳で 校長頓死
娘の病氣と大雷雨の爲

【松本二十七日發電】愛知安安城高女生等二十五名の一行は廿六日午前十一時槍ケ岳に向ふ途中燕合戰小屋附近にて一行中の安城農林學校長大森謹平（五三）氏の二女キヨ（一七）は腦貧血で倒れた處一行中なる前記大森氏は娘の急病に心を痛めたのと折柄の大雷雨に突如心臟病を起し遂に午後三時四十分死去した、尚キヨは手當の結果快癒し

横斷飛行延期

【タコマ二十六日發電】太平洋横

九條敏子姫大久保子と結婚

【東京廿七日發電】皇太后陛下の御姪に當る九條敏子姫（二一）と穣小田原藩主大久保忠言（三一）子との結婚式は廿七日午後二時半から大久保子邸にて古式に則り擧行された

山崎博士 逝く

【東京二十七日發電】山崎直方博士は二十六日午後零時半腎臟病で小石川の自宅にて逝去した享年六十六歳

事試驗場などは浸水八尺に達し省城江南間の渡航も小舟では危險となつたといふが江岸中最も被害の多いのは樺甸縣で樺甸の市街は浸水四尺、朝陽鎭は浸水七尺に及び附近との交通杜絶したと

露支斷絶で 馬賊跳梁

【京城二十六日發電】某方面着情報に依れば最近對岸支那地の馬賊は季節的にも横行の時期であるのと露支交險惡に伴つて漸次跳梁の徵あり、九好、鹿好の聯合馬賊隊は移巒溝の根城を發して支那軍隊の虛を衝かんとする光あるので支那官憲は極度に脅威を感して警備力の增援を請電したと

狂犬暴れ廻る

二十六日午後七時ごろ市內沙河口霞町十四丁目通りに突如一匹の狂犬現はれ附近の犬十數匹に咬みつき尚も折から通り掛つた六、七歲の少女に咬みつかんとした際、沙河口署の樋口巡査が現場にかけつけ猛り狂ふ狂犬を棍棒で遂に撲殺したので咬傷を免れたが、小學校も休暇に入つた折柄とてこの際犬を飼養の人々は是非狂犬病豫防注射をして貰ひたいと

自轉車乘り 崖下に顚落

二十六日午後六時ごろ市外老虎灘電車終點汐見橋附近において自轉車にて疾走中の市內西通八番地福利靴下製造工場店員忠鴻章（一七）は折柄運進し來つた市內小崗子大通自動車運轉手梁玉深（二〇）とあわや衝突せんとして誤つて崖下に墜落頭部に全治一週間の負傷した

會屯の郵便物

六月中州內七十一會屯の通常郵便物數は到着四一一五二通差立一〇四九八通にして前年同期中に比し到着は二七五六通增、差立は一二九五を減じてゐる因みに到着數と差立數との差の甚だしいのは住民が郵便局所在地に行く場合を利用して差出す場合が多いからである

Z伯號の試驗飛行
藤吉少佐大使館員等同乘

【フリードリツヒスハーフエン二十六日發電】世界一周計畫中の大飛行船ツエツペリン伯號は新發動機の据え付を完了し來る二十八日試驗飛行を行ふこととなつた、當日は特に藤吉少佐の外日本大使館員數名が同乘を許された

松花江の大增水
沿岸村落浸水

松花江は十數日に亘る降雨のため廿三日頃より增水し平水より二十三尺の增水を見たる爲め同江沿岸部落の浸水せるもの頗る多く農作物其他の被害多大の見込みであるといふ、吉林省城北門外の江南農

けふのラヂオ

昭和四年七月廿八日（日曜日）
自午後〇時三十分　ニユース
自午後三時三十分　ニユース
自午後五時　日本大相撲連盟放送
自午後七時三十分
一、ニユース
二、講話　糧食に就て　大日本糧食研究會　馬場秀吉
三、三曲「若菜」尺八　牟田碧風、三味線　宮森大檢校、箏　三浦とし子
四、笑殺萬歲　キートン木村近衛
五、眞曲　遊園牡丹亭王韻嚴先生、山亭虎拾壹牡丹亭王悅秋先生、琴　桃玉譬記王襲彈王悅秋先生、駕曹四歷猿王昌譬先守怡女士
六、料理獻立
七、天氣豫報

歸國の途來連した赤系露人

愛慾の窓（52）

戸川貞雄作　淺枝次朗畫

金（二二）

退社時刻をやゝ過ぎた頃になつて、小森からの迎への自動車が、日本興信所のビルディングの出入口に來て停つた。

「……何處から來たんだい？　小森君の家からかい？」

と、久彥はその自動車の柔かい椅席に腰をおろしながら、運轉手に訊ねかけた。

「いゝえ、赤坂からです……」

運轉手は靜かにハンドルを廻しながら答へた。

「……赤坂といふと？」

「……待合からですよ、楓といふ待合からです」

運轉手は、煩さそうに答へて、折柄曲角の、ぶう／＼とけたゝましく警笛を鳴らした。

久彥は、もうそれ以上何も訊かうとはしなかつた。學生時代から今日まで、カフエーやレストランやダンス、ホールなどへは、彼も足を踏み入れて來たが、ブルジョア趣味の藝妓遊びなどには、ちつとも誘惑を感じなかつたので、會社の宴會か何かを除いては、彼は所謂紅燈綠酒、柳暗花明の巷へ、足を踏み入れたことはなかつた。さういふ方面の遊蕩の出來る柄でもなかつた。で、赤坂の待合から迎へだと聞くと、こいつは苦手だなと感じたのである。

――それに如何にも小森らしいやり方ぢやないか、如何にも遊蕩兒らしい彼奴のやり方ではないか！

至く、小森英輔は、待合「楓」の奥の一間に陣取つて、天晴れ小森の若旦那然と、今宵はりうとした薩摩上布に、絽の羽織の着流しで、多勢の藝妓たちに取りかこまれてゐるのだつた。

「……惜いことをしたわね、澤正もうあの人の名臺詞も聞かれないのね、冥途へ行かないと、ほツほゝ」

「ヘツ！　澤正がそんなに好きだあ思はなかつたね、一代の名妓榮姐さんが！」

「アラ、名妓はいゝわねえ！……」

「……大河内も日活へ戻ることになつたのね」

「えゝ、やつぱり元の鞘でせう？　でもあの大河内傳次郎つて人、如才はないのね、うちなんかへもわざ／＼日活復歸の挨拶なんか寄越してよ……」

「……わたし、何て云つても、シネマ俳優ぢや、ルデイイが好きだわ！」

「おや、利いた風なことをいふね千代松奴！　何でえそのルーデ何とかつていふのは！」

「ほゝゝゝ！　いやなあコウさんねえ！　ルデイイよ！　ヴレンチノよ！……」

「……ヴレンチノか？」

「死んぢやつたわ、あの人も！　わたし、つまんない」

「……ナベロはどう？」

「……さう、ナベロも一寸いゝわね、でもわたしベン、ライオンが好きだわ」

「……おつと、もう止めてくれ！　お前たちはまるで女學生だね」

英輔は、ビールのコツプを取上げながら、べちやくちや喋り交してゐる姉達を制した。傍に侍してゐた小園といふのが、ビールの壜を取つて、英輔のコツプを滿たした。

「……だつて千代松さんと君香さんと二人が揃つたら、大抵の映畫通まゐるわよ、とても二人ともキ印なんですから、その方にかけちやあ……」

「その方でよかつたよ！　いくら逆上たからつて、相手は寫眞だからな、旦ツグもおつかない顔はしまいからね、はゝ、ところが小園姐さんなんかと來ると……」

「……まあ！　わたしが何うなの？　いやなコウさん！　もう一度ほざいてみい、そのまゝには捨ておかぬぞオ……」

「よう！　紀國屋！……」

「……嬉しい團十郎か！　ハ、……」こいつ背負つてやあがる！

そこへ女中に案内されて、久彥がはひつて來た。

滿日文藝

滿日俳壇　夏雜題

島田青峯選

○　大連　阿部　天潮

悉く蜜蜂人あるベンチかな
旭のさして藻草の青き金魚かな
繪日傘をかざせる人の耳飾り
日燒顔並び立ちたるデツキかな
山鳩の立ちたる岩の清水かな
夕暮の雨にはづせる簾かな

○　營口　天江　雨江

遠雷の轟きに漕ぐ渡舟かな
遠雷に駿馬追ひ急ぐ野道かな
道を這ふ毛蟲を避けて通りけり
掃き出す朝の埃や蚤の宿
青梅に困かぬ竿のありにけり
移り來し隣の庭や落實梅
宵月の歩見晴しや夏座敷
磯の香に庭暮れそめ夏座敷
山峽の月見ゆるなり夏座敷

○　哈爾賓　松本牽牛子

鈴蘭や砂埃せる鉢の水
瀾江する支那客艀や雲の峰
さら／＼と帽子にふれし青葉かな
立札も青葉隠れとなりにけり

○　大連　高木　春藍

打續く高粱畑や土用晴れ
夕顔の一輪咲きて夕迫る
梅干を門に干し厨り油照り

○　金州　福田　宵月

高粱の青葉揺ぐや慈近し
夏祭軒美しき灯かな

○　哈爾賓　玉川　靜波

支那店や蠅拂ひつゝ商へり
四阿へまためぐり來し浴衣かな

○　大連　寬　鳴鹿

蓮の浮ぶ池の端に咲く菖蒲かな

○　鞍山　直江　玄幽

涼み臺取り殘されし夜更かな

○　瓦房店　河野　靜河

なぶられて輕き袂や南風

○　香川縣　高木　宏影

炎天や氷賣る聲遠近に

○　金州　泰花　溪月

ハンモツク欄の間にゆれて晝寢かな

○　大連　日野　攵鳥

薬欄を透いて池面の靜かなる
五月雨や池の街の灯りけり
瀧茶屋の煮たけなわや冷し麥
吹きよする夕風涼し月見草
高原の露營一夜や月見草
船腹に汐の音聞き夏の月
雨晴れて廓灯るや夏柳
支那部落網らす土塀や雲の峰